

日本勤労者山岳連盟 第36期第1回評議会

求め続けよう
平和な社会と安全登山！

2025年2月15(土)～16(日)

会場・ホテルコンチネンタル

決議・決定集



日本勤労者山岳連盟

目 次

表 紙	P 1
目 次	P 2
発刊にあたって	P 3
評議会議案 主な目的と主要な課題	P 4
第36期上期の活動総括と第36期下期の活動方針（1号議案）	P 5～P14
2025年度の全国的な規模の集会・会議予定	P15
2025 国民平和大行進 日程・コース	P16
（財）山岳基金の評議員の補充（3号議案）他	P17～P19
一般会計・特別会計、労山基金会計等の決算報告、安全対策基金活用状況一覧表、監査報告等の資料（2号議案）	P20～ P37
2025年度予算編成方針及び各種予算（2号議案）	P38～P45
連盟費一覧表、都道府県別組織推移表、同組織動向表など	P46～P50
2024年度加盟・脱退団体一覧	P51～P52
加盟団体一覧表	P53～P63
都道府県別・男女別 平均年齢	P64～P65
労山基金2024年度 集計	P66～P70
2024年度 事故の概況（事故一報より）	P71～P75
趣意書	P76～P78
住所・アドレス	P79
裏表紙	P80



第 36 期第 1 回評議会 決議・決定集の発刊にあたって

日本勤労者山岳連盟
理事長 川嶋 高志

戦争を知らない子供たちが産まれはじめて 80 年、「人類最後の日」までの残り時間を象徴的に示す「終末時計」の針は最短となった。権力のある人物が公然と嘘をつき、常軌を逸した発言をする時代に、目の前が真っ暗になった人も多いだろう。正義が必ず勝つとは限らないし、性善説に基づいた判断は間違っているかもしれない。それでも私たちは、平和な世界で陽の当たる山道を、顔をあげて胸を張って登り続けていきたい。

1960 年代に労山組織を作り上げた先輩諸氏が後期高齢者となる中、会員登録のデータによると 70 歳以上が全会員数の 40%を超えている。充実した教育山行を行い、新しい会員を迎えているクラブもあるが、高齢化による会員数の減少から活動が縮小し解散する会もある。新たな登山者を増やすための教育システムと、全会員の半数近くを占める高齢者に対して登山寿命を伸ばす為の方策が今後の重要課題となっている。

海外登山は完全にコロナ前の水準に戻り、円安と欧米のインフレにもめげず、活発に行われている。旅行会社の主催するようなトレッキングではない東南アジアでの登山や沢登りなども行われ、安全確保の意味では詳細な計画書と労山基金の 10 口加入が求められる。特に日本山岳救助機構合同会社（j r o）がココヘリに合流したことにより、海外だけでなく国内でも救助搜索費用と入通院費用を対象としている労山基金の役割が大きくなっている。

登山教育と遭難対策、自然保護と平和運動を中心にして、今期も仲間としっかり話し合いながら、積極的な活動を展開していこう！

日本勤労者山岳連盟 第36期第1回評議会 議案

第36期第1回評議会の主な議題は、次のとおりである

- ・ 1号議案 第36期上期の活動総括と第36期下期（2025年度）の活動方針
- ・ 2号議案 第36期上期の財政活動総括と第36期下期の財政方針、予算案の策定
- ・ 3号議案 その他

今評議会の主な目的と主要な課題は、次のとおりである。

- （1）広範な登山者の要求実現と登山環境整備のための、組織強化と会員拡大を目指す活動について
- （2）コロナ禍後に、増え続ける遭難事故への対策と安全登山教育の拡充について
- （3）環境保全に取り組み、豊かな山岳自然を守る活動について
- （4）紛争の無い平和な社会を実現し、登山文化を継承・発展させる取り組みについて

＜第1号議案＞

第36期上期（2024年）の活動総括と第36期下期（2025年）の活動方針

1. 登山をめぐる情勢

1) 登山をめぐる社会情勢

国内では与党が過半数割れ、韓国では大統領の弾劾、アメリカではトランプ大統領の再選、シリアでは長期政権の崩壊、ヨーロッパ各国でも政権基盤が安定しないなど、政治情勢は流動的になっている。ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによる周辺国への攻撃は深刻な状況が続いており、核兵器廃絶と世界平和の希求をする私たちの願いはかなえられていない。日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞を契機として、安全で平和な社会の実現を諸国民と共に目指していきたい。

2024年は猛暑日が過去最多となるなど、気候変動も大きくなり、正月の能登半島地震と7月から9月にかけての豪雨災害では多くの被害をもたらした。

食品や郵便料金が値上げとなり、収入が増加しない場合は生活を切り詰めなければならない。AIなど新技術が普及する中で、研究・教育機関への公費支出が増えていない。反面、防衛費などが大幅に増えている日本の現状は憂慮すべきものである。

2) 国内登山の情勢

登山やハイキングなどのアウトドアスポーツは団塊の世代が完全リタイアしたためか、増える傾向にある。人気エリアの宿泊施設や駐車場が満杯となり、遭難事故の増加からも登山人口の増加を推測することができる。海外からの旅行客も増え、外国人の登山者やスキー客が目立ってきている。

しかし、諸物価高騰の中で、山小屋などの宿泊施設やアウトドア用品、公共交通機関でも値上げに動きがあり、低所得者層や若い世代には逆風が吹いている。

登山道やトイレ・水場の管理など、多くの人が自由かつ平等に、アウトドアスポーツを楽しむための法律の整備などが必要になってきている。

2. 登山各分野の活動

1) 組織強化・拡大

登山の会員数は2024年11月末の組織数調査で536団体、16,232名となり、前年に比べ384名の減となった。高齢化による団体の解散が多く20団体の減少となった。

第36期上期の方針に基づき下記の通り活動した。

①「平和と登山」全国集会／『NO PEACE NO CLIMBING』を掲げ、6月29～30日、東京都新宿区にてZoom併用で開催し、会場とオンライン合わせて59名が参加した。集会では『放射線と登山道』を監修した野口邦和氏から「核兵器禁止と世界平和への道～核兵器も原発もない世界の実現をめざして～」と題した記念講演、その後は各地方連盟の活動発表を受け交流した。集会後は飯田橋駅前と神楽坂で平和を訴えるピースアクションを行った。

②「登山教室・登山学校の運営」に重点を置いた講座は開催しなかったが、「登山学校アンケート」を実施し、各会が主催する登山学校の開催状況を集約した。

③JWAFフェス in みずがき（若手集会）：「若者の声を直に聞く」ことを目的に、9月7

～8日、瑞牆山荘・瑞牆山にて開催し、32名が参加した。1日目は北平友哉氏の講演があり、夕食後は参加者でディスカッションを行い、「労山に加盟する意義は?」「会で登山学校はどのように開催している?」など率直な声が出された。比較的若い会員層が、地方連盟を超えて横につながる一歩となった。2日目はハイキングとクライミングに分かれ、瑞牆山登山を通して交流した。

④直接的・間接的に労山の歴史・構成・趣意書等、労山の理念を語り、伝えていく活動

⑤平和集会の基調報告(浦添嘉徳会長)を通して、労山が創立当初から平和問題を訴えてきたことを学んだ。

⑥困難な地方連盟との懇談を持ち支援するは、個別に懇談を持つことはできなかった。秋田県連再建に向けては、新日本スポーツ連盟から情報提供を受けた。

⑦HP・リーフレット等の活用推進。HP開設支援(障害対応含む)は、5地方連盟(18会クラブ)で行った。HP登録数は10地方連盟(48会クラブ)となり、新サーバーへ更新を行っている。労山の紹介や会員拡大に有効なリーフレットは、2つの地方連盟と4つの会から依頼があり1,090枚作成したが、活用の、呼びかけが足りず、前年比25%にとどまった。

⑧組織強化・拡大活動に必要な組織部の学習・研修は行わなかった。

2) 遭難対策の現状と課題

①国内の山岳遭難概況

2023年の警察庁による山岳遭難者数は3,568人(前年+62人)。発生件数は3,126件。(前年+111件)遭難者数・発生件数共に統計の残る昭和36年以降最多となった。死亡・行方不明者は335人(前年+8)となり増加した。死亡者は293人(前年-8人)と減少したが、行方不明者は42人(前年+16人)と増加した。負傷者は1,400人(39.2%)。無事救出者は1,833人(51.4%)。遭難者のうち60歳以上が1,762人と全体の49.4%。死亡・行方不明では60歳以上が225人と全体の67.2%を占めている。40歳以上の中高年登山志向は継続し、2,850人が遭難し全体の79.9%を占めている。遭難の原因は、道迷いが最多で1,204人(33.7%)、滑落、転倒、疲労、病気と続いている。2023年は、滑落(617人前年+39人)、疲労(324人前年+38人)の事例が前年より増加した。その他として転倒112人、雪崩事故20人、野生動物による襲撃も45人いた。

②労山内の山岳事故概況と対策

2024年は死亡・行方不明者が7名。事故件数349件、事故者数365人は2023年に次いで過去2番目に多い事故者数となった。

遭難対策部会での行事・集会について、2月の「全国雪崩講習会」、7月の「全国遭難担当者会議」、10月の「若手クライミング講習会」、10月の「登山寿命を伸ばす為の講習会」を開催し好評のうちに終了することができた。7月は「沢の事故現場検証」、11月から12月には「墜落における衝撃荷重の破断試験」を部員研修として行った。

「全国雪崩講習会」は白馬梅池で開催された。参加者は15名(内リモート2名)。一日目は、2班に分かれ行動判断やシャベリング他の検証。二日目は、全員でビーコンパークの活用法・ビーコンの干渉についての検証を行った。ビーコンパークを各地方の講習に繋げる検証ができた。「全国遭難担当者会議」は全国事務所で7月6～7日に開催され、11地区連盟37名が参加した。1日目に、鹿屋体育大学名誉教授山本正嘉氏から「安全・快適・健康的な生涯登山を実現するための3つのポイント～山での上手な歩き方と普段からのトレーニング」の講義を受ける。「登山と身体の科学」から、安全で楽しく登山をする為に運動生理学の見地から疲れにくい歩き方や日常でのトレーニング方法等を分かりやすく説明して頂いた。その後、

各県連より事故事例報告があり課題や教訓などの質疑・応答討論が行われた。2日目は、山岳安全対策ネットワーク協議会のインフカム(株)今史靖氏より、「コンパス登山届の現状と使い方」の報告があり、より使いやすい利用方法を学んだ。その後、追加発表として事故統計による事故の傾向や状況や県連救助隊の活動報告と課題についての発表があった。2日間で学んだ事例教訓を生かし安全登山に繋げることにした。

「若手クライミング講習会」は小川山で10月5～6日に開催され、受講生15名、講師・スタッフ9名の総勢24名だった。今回は20代、30代の登山会員の参加が多く、「若手会員のクライミングの正しい技術・知識を伝える」という講習の目的を果たすことが出来た。初日はあいにくの天候だったが、東屋にて場面ごとに3班に分かれての講習となった。各場面を同じ講師が担当した。この方法は概ね受講生からも好評であった。2日目は好天に恵まれ、岩場で前日の復習をする基礎技術班とマルチピッチ班の2グループに分かれて実施出来た。

「登山寿命を伸ばす為の講習会」は筑波ふれあいの里で、10月19～20日に参加者36名と講師・スタッフ5名の総勢41名で開催。参加者は、短期間の募集にも関わらず青森から広島まで全国各地から筑波山の山麓に来て頂いた。1日目は「登山寿命を伸ばすための考え方と実践」として、山本正嘉氏の机上講習から始まる。3つのポイントを丁寧に分かりやすい説明があった後に、照内明良氏から高齢登山者の為のストレッチと筋力トレーニングの講習が行われた。2日目は、筑波山での実技講習が行われグループ毎に登高スピードを体験する登山が行われた。講習後のアンケートは参加者全員が提出して頂き、好評を得た。今後、全国各地で実施してほしい。楽に上り続けるペースを体験出来て良かった等の意見が多かった。

「墜落における衝撃の破断試験」は兵庫百丈やぐらで11月30日～12月1日に開催した。参加者は、大阪府連より3名、京都府連より3名、全国遭難対策部より4名(北海道1、東京2、千葉1)。アクセサリコードの破断とオーム(確保衝撃軽減器)の支点衝撃荷重の実測を行った。試験の内容は、後日発表予定。日頃より分かっていると事も試験の結果、更に認識を深めた。その他の活動として、各県連での講習会・研修会に遭難対策部員や全国理事を講師派遣し遭難対策活動を行った。

3) 自然保護活動

①7月15～16日千葉県南房総市にて第26回全国自然保護講座を開催した。生物多様性の回復や30by30の実現とSDG'sを達成するための地球温暖化と生物多様性保護を考える講演会を実施した。地方連盟から9件の報告があった。昨今の自然環境破壊や生態系へ及ぼす影響などを鑑みて各地方連盟に於いて問題のある事象などを出してもらうようにアピール要請を行った。

②11月16～17日、徳島県にて第22回全国登山者自然保護集会を実施した。四国における風力発電の問題点と剣山に於ける二ホンジカの食害について講演会を行った。地方連盟から南アルプスの沢調査の動画・京都府を通過する北陸新幹線・滋賀県の風力発電・奈良県から自然保護委員会の活動等(埼玉・神奈川・宮城)報告があった。

③第51回全国一斉クリーンハイクの実施状況は報告書を参照。

④リニア中央新幹線建設：静岡県連盟会員が南アルプス大井川源流蛇拔沢を7月に遡行調査を実施した(自然保護委員会HPに動画アップ・QRコードと併せて参照)。

⑤北陸新幹線延伸計画問題：JWAFジャーナル等で呼びかけ計画見直し要望署名に取り組み、全国から約900筆(全体で9,991筆)を集約した。京都府連の自然保護セミナーへ近畿ブロックから参加してこの問題を学んだ。計画は地下水・残土などの問題点が懸念さ

れ年末までに詳細ルートの決定が出来ず、アセスの準備書もまだ出されていない。

⑥メガソーラー・大規模風力発電被害問題を調査

⑦ライチョウ目撃情報を積極的に取り組み労山HPに33件アップし環境省いきものログに26件投稿、累計は88件です。

⑧山のトイレ問題：奈良県連盟が「山のトイレマナー袋」を作成し、トイレトペーパーの持ち帰りアピールした。

⑨山岳団体自然環境連絡会で隔月開催し情報交換を行った。

4) ハイキング分野の活動

①第35期に10名で設置した「広域ハイキング委員会」は、その後、出身地方連盟からの要望や病気や高齢による退任などが続き、36期後期では8名（うち全国理事兼任が4名）となった。特に複数いた女性委員が一人となり、この回復も喫緊の課題、さらに関東周辺では、神奈川、埼玉県連盟からの委員がいなくなり、千葉、茨城県連盟からの補充も大きな課題となっている。ハイキング委員会の主要な活動のひとつは「各地方連盟、各会・クラブの動向」の収集であり、労山会員数の過半数を優に超える「ハイキング志向者層」の動向を生々の声で聴き、それを全国連盟の活動に反映させることである。限られた予算の中での活動のため北海道や九州からの委員の確保は厳しいが、関東周辺を基軸としながら広域委員会の再確立が当面の課題である。

②2024年10月5日～6日、静岡県連盟主管で「第24回全国ハイキング交流集会」を実施した。まだコロナ禍が終息する前の2022年、山口県連盟主管での集会に続く「コロナ禍を乗り越えた」活動を交流する集会となり、主管団体・静岡県連盟の奮闘もあり、16地方連盟・35団体・55名の参加で成功を収めた。集会では「いまさら聞けない天気常識」と題して気象予報士・野尻英一氏が講演、前橋HC・大田HC・山陽カルチャーマウンテンクラブから、行政からの表彰、高齢化対策、会員拡大と教育などについて前進的な活動報告があった。その後、3分散会に分かれて交流討論、翌日は昼前からの交流ハイキングに多くの参加者が連帯を深めあった。この集会などを経て、コロナ後の会員拡大や高齢化対策などは、まだまだ大きな課題として横たわっていることを再認識した。

③「山筋ゴーゴー体操」や「中高年の筋力アップを目指す兵庫県連盟の取り組み」など、遭対部・山筋ゴーゴー体操推進委員会との協力・共同の取り組みについては、全国連盟理事会で何回かの発言はしたが、具体的な行動にはならなかった。

④ハイキングABCは2000部増刷し、1220部を販売した。また、ハイキングセカンドステップ第5版は837部を販売、爆発的とは言えないが順調な売れ行きである。

5) メディア局

①ホームページ

JWAF公式ホームページはページの更新を年間約80回行なった。全国連盟ホームページの訪問者数は、2024年の年間訪問数は約23.5万人と会員数が減少しているにも関わらず増加した。増加の原因は機関紙のJWAF journalの閲覧と季刊誌の登山時報にアクセスする会員が多かったことによる。多い月は10月の約2.1万人、大体ひと月1.9万人前後が平均して訪れている。夏山を目指してアルプスの山小屋の割引やお得な情報を検索し

てのリサーチだが、最近では山小屋の割引を廃止するケースが増えており、コロナ以降の山小屋の経営環境が厳しくなったためとみられる。最大の要因は登山時報発行時期の4月、7月、10月に訪問者が多く訪れている。

閲覧ページのトップスリーはトップページの新着情報に続き登山基金の各ページがよくみられている結果となっている。

なお、ホームページから投稿された問い合わせメールは、全部で238件、登山基金に関することが120件、次が一般的な事柄・事務連絡が98件、次いで登山時報、ホームページに関する順となっている。毎年登山基金に関する問い合わせが全部の半分を占めている。

この数字はホームページに寄せられた件数だが、このほか事務所の代表電話や直接メールアドレスに寄せられる件数はいとまがない。

②機関誌・紙編集委員会

登山時報、ろうさんニュース、全国連盟メールニュースを統廃合して、月刊「JWAF journal」と季刊「登山時報」の機関誌・紙へ円滑に移行して2年が経過した。このため2024年は登山三役、各専門部長、各委員長から構成される「機関紙誌編集委員会」を年4回開催し、円滑な発行に漕ぎつけた。

○月刊紙「JWAF journal」の位置づけは、全国連盟からのお知らせや全国連盟が何を行っているかを会員に理解してもらうことを目的として、2024年1月号を皮切りに毎月発行した。月刊機関紙の発行形態は原則として電子媒体による配付を行ない、購読料は無料とした。A4版8頁建てで毎月25日に発行し、JWAF公式ホームページに掲載した。経費を抑えるために印刷は事務所で行い、発送は外部業者へ委託した。

※2024年12月号発行部数：各会・クラブ1部配布（505部）、2地方連盟と42会に1807部の印刷版

○機関誌「登山時報」は、機関誌的位置づけと読み物の二律性を担う誌面を心がけた。発行時期は、春号・夏号・秋号・冬号の年4回発行した。発行日はそれぞれ4月25日、7月25日、10月25日、1月25日とし、A4版40ページの総カラー建てで、各会・クラブへ1部を配布した（購読料は連盟費に含む）。JWAF公式ホームページにアップし、誰でも登山時報をダウンロードできるようにした。

なお、登山時報は電子媒体で閲覧する限り無料だが、紙媒体で購読する方には、購読料として年間1,200円（税込み、郵送料込）を徴収することにした。この場合、団体購読制度は採らず、直接購読会員へ送付した。

機関誌「登山時報」の個人購読数は、季刊に移行して無料で閲覧できることもあって183部（秋号）の購読数になっている。発行費用は予算の200万円を約10万円超えたが、購読料収入が約23万円あったので予算内に収まっている。

6) 女性と登山

女性会員を対象に「女性と登山」「女性委員会」に関するアンケートを実施し、581名から回答があった。

7) 国際活動

アジア山岳連盟総会と創立30周年記念行事を7月24日と26日に新潟県長岡市で開催。

大和田国際部長が創立 30 周年記念式典の司会を担当した。

8) 海外委員会

海外委員会を毎月第 2 火曜日に行い、「第 23 回海外山行交流集会」11 月 9 日（土）、10 日（日）に開催することができた。全国連盟参加者は、講師・報告者 7 名、会場一般参加者 16 名、Zoom 参加者 12 名、事務局と海外委員で 7 名、計 42 名となり集会は、成功裏に終わることができた。

全国連盟のドロップボックスの活用で海外委員の意識が高まり、事務局メール配信 2024 年度海外登山計画書一覧のフォルダの確認、作成も委員全員が活用出来るようになった。海外山行計画書提出状況の集約がきちんと理事会へ報告できた。6000m 以上 18 件、6000m 未満 22 件、トレッキング 153 件、クライミング 71 件、山スキー 12 件。山行状況は、6000m 未満は昨年 14 件で今年が 22 件で 8 件増え、トレッキングは昨年 106 件で今年が 153 件と 47 件増えた。円安にも関わらずコロナ禍の時期に比べ圧倒的に増えたと感じる。

9) 山筋ゴーゴー体操推進委員会

- ①山筋ゴーゴー体操サポーター養成講座を佐賀・道央・滋賀で開催し、サポーターが 29 名誕生した。養成講座開催の際に労山作成の DVD を労山 HP から YouTube で見られることを知らせた。
- ②養成講座終了後に懇談会を実施し、今後のサポーター活動等についての色々な声を聞くことができた。
- ③講師退任後の養成講座等の要項を検討した。
- ④山筋テキスト改訂についての議論をした。
- ⑤山筋 T シャツ、テキストを普及した。

10) 登山界の共同の活動

昨年開催を見送った山岳 4 団体役員懇談会は、日本山岳ガイド協会の主管で 2 年ぶり 10 月 17 日に開催され、労山からは 4 名が参加した。「山岳安全対策ネットワーク協議会」が運営する登山届システム「コンパス」は現在、38 都道府県と提携し、全都道府県との提携に向けて活動している。東京で開催された第 8 回「山の日」記念全国大会には 3 名が参加した。9 月 7 日には全国労山事務所で日本山岳 SAR 研究機構の「登山道シンポジウム」を開催した。山岳 7 団体自然環境連絡会も定期的に開催している。

11) 他団体との共同行動、新日本スポーツ連盟など

新日本スポーツ連盟との役員懇談会（定期協議）は 4 月と 9 月に開催し、11 月 16 日には第 35 回全国スポーツ祭典の登山・ハイキング種目として、福岡県勤労者山岳連盟が中心となり開催した。原水爆禁止国民平和行進は例年通り 5 月に東京、6 月に富山と長崎の 3 コースで出発し、8 月 4 日に広島へ着いた。

3. 各分野の活動方針

1) 組織強化拡大をめざす取り組み

- ①2024 年末に集約した「登山学校アンケート」を分析し、地方連盟へ還元する。
- ②登山人口に対する労山組織数の動向を調査する。
- ③会員の増えている会に要因を聞き取り、分析する。
- ④実行委員会を立ち上げ、全国登山研究集会を開催する。日程は11月15～16日、場所は新大阪ユースホステル。
- ⑤平和行進など、平和と登山の活動を継続する。
- ⑥労山の歴史・構成・趣意書等、労山の理念を語り、伝えていく。
- ⑦困難な地方連盟との懇談を持ち、支援する。
- ⑧HP・その他SNS（Instagram・Youtube等）や、労山リーフレットの活用を推進していく。
- ⑨組織強化・拡大活動に必要な組織部の学習・研修を行う。

2) 遭難事故防止の活動と教育活動

1. 地方連盟の遭難対策活動を支援

気象・読図・運動生理学・緊急連絡体制他、講師派遣を継続して充実させる。

2. 救助隊の技術向上と交流を促進する。

百丈ヤグラでの技術交流と安全登山の方向を確認する。

3. 教育体制の充実

中央登山学校「雪崩講習会」、「MFAプロバイダー講習会」を充実させて継続開催する。

4. 健康管理

- ・年代による心身の特性を知り健康状態の把握、健康づくりの必要性を啓発する。
- ・登山の運動生理学とトレーニング方法の啓発を行う。前年に開催された「登山寿命を伸ばすための考え方と実践」を開催する。
- ・新たな筋トレ講習の導入と講師養成の取り組みを行う。

5. 遭難対策に役立つ各種団体・会議・学会「日本山岳サーチ&レスキュー研究機構」、「全国山岳遭難対策協議会」、「日本雪氷学会」「日本山岳文化学会」「日本イカール委員会」「山岳安全対策ネットワーク協議会」などに継続して参加する。

6. 遭難事故の原因分析

労山内外の山岳遭難事故の情報を収集・分析して、その結果を普及・活用していく。クライマーの交流によるレベルアップ・安全意識向上支援、若手クライミング講習会の開催を継続し、登山技術についての交流会も検討する。

7. ココヘリ救助隊の編成組織による研修会を開催し救助活動のより円滑な体制を作り各地方での研修会を広げて行きたい。

8. 遭難対策部会の研修会

各地で登攀や沢登りに関する墜落・転落・溺死等の事故が発生している。事故の検証と遭難対策部員の技術レベルアップを目的とした研修を開催する。

3) 自然保護活動

全国自然保護委員会の活動は講座と集会・担当者会議を交互に年2回行っていたが委員の負担が多く、更に全国労山会員数が減少し予算も切迫しているので今期（2025年度）から年1回にするとともに地方連盟の自然保護活動の状況と問題点を共有する為にアンケート調査を実施すると共に、ネットワークを構築して情報交換する。更にSNSを活用して一般登山者にアピールする。

- ①第52回全国一斉クリーンハイク・清掃登山を6月1日（第一日曜日）に実施する。
- ②第27回全国自然保護講座を開催する。
- ③南アルプスの自然や環境を破壊する「リニア中央新幹線建設」に反対していく。
- ④古都京都の山岳や環境を破壊する「北陸新幹線延伸計画」に反対していく。
- ⑤地方連盟と共同して山岳自然を破壊する大規模風力発電・メガソーラー発電計画に反対し、署名活動など協力していく。
- ⑥秋田県の大規模風力発電で低周波による健康被害が発生している状況を現地在住の元労山会員から投稿があり調査・拡散する。
- ⑦ライチョウ保護の立場から登山者からの目撃情報を写真や動画で収集し実態把握に努め、結果を研究機関や自治体研究機関に提供していく。
- ⑧「排泄物で山を汚染しない」事を実践して、携帯トイレを携行し活用を図るとともに使用済紙の持ち帰りを徹底していく。トイレブースや回収ボックス設置について環境省や自治体に要請していく。
- ⑨山岳団体自然環境連絡会で各会の自然保護活動について情報交換をしていく。
- ⑩自然保護委員研修会を丹沢で開催する（5月連休前後）。

4) ハイキング委員会

- ①広域ハイキング委員会の再確立については当面「関東周辺地方連盟」からの派遣を依頼する。特に空白となった埼玉県連盟・神奈川県連盟には評議会を通じてお願いしていく。さらに女性委員についても早急に複数体制とする方向で進めていきたい。
- ②2025年全国ハイキングリーダー学校は6月7日（土）～8日（日）長野県連盟主管で開催する。この学校では遭対部が進めている「登山寿命を延ばす歩き方とトレーニング」（いわゆる山本正嘉氏の新理論）を柱とした内容の講義と実技を行いたい。
- ③ハイキングABCはこれから登山を始める人にとって分かりやすく、手ごろな価格のテキストとなっている。これに比べると、ハイキングセカンドステップ（第5版）はまだまだ労山全体で認知度が低い。地方連盟や会・クラブでは「前文の労山の歴史をコピーして配布している。」などまだまだ普及の可能性はある。多くの地方連盟や会・クラブでの会員教育で活用されるようを進めていく。

5) メディア局

①ホームページ

ホームページはコンテンツの内容はPC画面对応となっているので、「スマホ対応」の画面を新規に作成する（2年遅れ）。また、トップページの画面を整理し、目的のコンテンツに早く到達できるように階層を浅くしてする。

②機関誌・紙編集委員会

2025 年度も引き続き、機関紙「JWAF journal」の毎月発行、季刊誌「登山時報」の季刊発行を円滑に行う。

○誌面の充実に向けては、地方連盟からの意見を取り入れて「全国連盟の行事・イベント」「地方連盟の行事・イベント」とバランスよく構成していく。さらに「魅力あり、興味のわく機関紙雑誌づくり」として、企画特集は山岳中の事故事例(山岳中における事故補償)、労山基金の優位性、花特集、岩山特集、紅葉などの読者の関心が高いアルパイン層向けの記事とバランスをとった内容を組んでいく。

○機関紙誌のデジタル化での無償配布も軌道にのったことから、次は登山時報の個人購読数の増加に取り組む。

○機関紙雑誌編集委員会の構成として現在の陣容に加え、地方連盟のメンバーを若干名追加して誌面の充実を図る。同じくホームページ委員会の確立を図り運営していく。

○発行費用について予算内での執行に努める。

6) 女性と登山

2024 年度の「女性と登山」「女性委員会」に関するアンケート結果をふまえ、女性と登山に関する活動の具体化、女性委員会の存廃について検討する。

7) 国際部

アジア山岳連盟総会（モンゴル）に参加して、交流だけでない安全対策や技術教育などの活動を積極的に提案する。国際山岳連盟への加盟を検討する。

8) 海外委員会

海外山行交流集会の開催は海外委員会の活動の柱で、最重要視することは「講演」と「山行報告」の内容と捉える。山行交流集会で戴いたアンケートの意見を今後の活動視野に入れて海外委員会を発展させる。

①海外委員会を毎月第2火曜日開催、JWAFジャーナル、季刊誌「登山時報」の原稿作成を委員の輪番制、理事2名の輪番制でレジュメ作成・司会・議事録を担当し、委員会を運営していく。

②開催準備（基調講演の選択の依頼、山行計画書の選択、報告書の依頼、原稿作成資料編集・印刷）に半年くらいかかり各委員や事務局の負担が大きいことを考慮して海外山行交流集会を2026年秋に開催する。

③山行交流集会開催は隔年と決めず、良い山行がいくつもあれば毎年の開催も視野に入れて活動する。

④海外山行計画書のクライミング等から、もっと若者の発表、参加できるように広報活動を普及させる。

⑤山行交流集会の開催方針（高峰登山中心かトレッキングなど広く広げるのか）を委員会で話し合う。

⑥海外委員会で登山計画書を選別し、高峰登山調査用紙ならび海外山行調査用紙を書いて貰いたい山行には早く依頼し、JWAFジャーナルや季刊誌「登山時報」に掲載していく。

9) 山筋ゴーゴー体操推進委員会

①山筋ゴーゴー体操の全会員に普及への取り組み

地方連盟の要望に基づき講習会を実施し、サポーター養成講座を地方連盟と協力して開催していく。労山制作のDVDについて宣伝していく。

②山筋ゴーゴー体操テキストの改正を推進していく取り組み

現テキストは資料も古く内容も検討する必要がある、これからの登山に適したものにしていく。

③山筋ゴーゴー体操Tシャツの普及をしていく。

10) 自然災害等への支援活動について

災害支援規定と支援基金の設立を検討する。

11) 他団体との共同行動について

山岳4団体は役員懇談会などの機会を利用して連携をしていく。全国山の日協議会では「山岳基本法」について情報を共有する。2025 国民平和大行進に参加する。共済の今日と未来を考える懇話会や新日本スポーツ連盟とは定期的に協議を継続する。

2025 年度の全国的な規模の集会・会議予定

第 36 期下期 (2025 年度)

日本勤労者山岳連盟

機関会議・集会

第 36 期第 1 回評議会	2 月 15 日～16 日 (東京都府中市・ホテルコンチネンタル)
全国登山研究集会	11 月 15 日～16 日 (新大阪ユースホステル)

行事・集会

第 39 回全国雪崩講習会	1 月 31 日～2 月 2 日 (白馬梅池高原)
全国救助技術交流集会	月 日～ 日 ()
全国ハイキングリーダー学校	6 月 7 日～8 日 (長野県)
自然保護講座	9 月 (東北)
若手クライミング講習会	10 月 4 日～10 月 5 日 (長野県小川山)

国際会議・集会

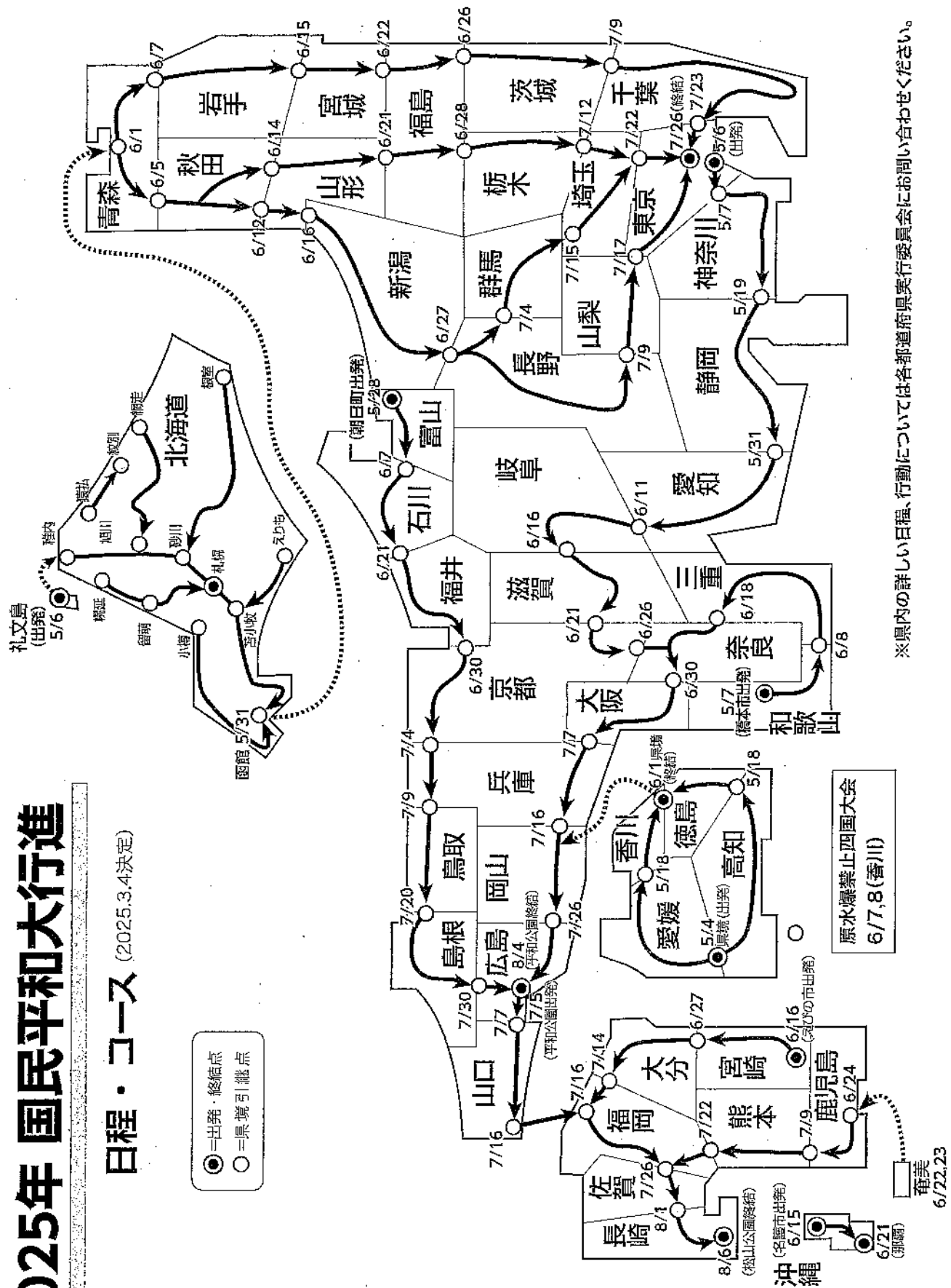
アジア山岳連盟 (UAAA) 理事国会議	開催未定
アジア山岳連盟 (UAAA) 年次総会	モンゴル

友好山岳団体との共同の集会・会議等

全国山岳遭難対策協議会 (文部科学省、環境省、警察庁、消防庁、日本山岳・スポーツクライミング協会などが主催)	7 月 日 (東京・文部科学省)
第 7 回「山の日」記念全国大会 (全国山の日協議会が主催)	8 月 10 日～11 日 (福井県)

2025年 国民平和大行進

日程・コース (2025.3.4決定)



※県内の詳しい日程、行動については各都道府県実行委員会にお問い合わせください。

3号議案 その他

一般財団法人山岳基金役員の追加

	氏 名	年齢	地方連盟	所属団体名
評議員	八木澤 昌通	70	栃 木	宇都宮ハイキングクラブ

2025年2月16日 日本勤労者山岳連盟第36期第1回評議会で選出・信任の提案

日本勤労者山岳連盟は 2000 年に創立 40 周年を迎え、21 世紀に新しい国民的な登山団体に成長するため、活動の拠点となる全国連盟事務所の購入と財産を所有することができる法人化を目指した。

○資産保全を兼ねた不動産の取得は 2005 年 8 月に達成した。

(167 m²の土地を飯田橋駅徒歩 10 分に 7200 万円で取得。2006 年 6 月、重量鉄骨造 3 階建 延べ床面積 285 m²を 5810 万円で建築。それまでの賃貸事務所の 3 倍以上広くなった。)

○2022 年 2 月には法人化も一部達成することができた。

(2022 年 4 月 14 日、一般財団法人山岳基金設立登記が完了。2022 年 12 月 5 日、個人名義から寄付により、土地と建物の所有権移転登記を完了。土地 167 m²、評価額 117,100,000 円、建物の延べ床面積 285 m²、評価額 6,721,280 円)

2024 年 2 月の第 36 回全国総会で所有権のない「労山遭対基金管理委員会」名義で購入している有価証券(国債、公社債、社債など)を償還などに合わせて、順次、一般財団法人山岳基金に寄付していくことを確認した。

日本勤労者山岳連盟の貸借対照表総括表には「一般会計」「安全対策基金会計」「機関誌会計」「労山基金会計」が記載されているが、外部の金融機関への預け入れなどの取引は、「日本勤労者山岳連盟」「労山遭対基金管理委員会」「労山特別基金」などに、代表者の個人名義を付けて行っている。有価証券の購入も同じで、法律的な所有権は存在しない。このため、法律的な所有権のある一般財団法人山岳基金に移していく必要がある。

今後の展望

- ① 現在「山岳事故対策基金会計」にある預貯金と有価証券の約 4 億円を順次「一般財団法人山岳基金」へ寄付し、日本勤労者山岳連盟の基本積立財産とする。
- ② 有価証券にて年間平均運用益(利息・配当金・分配金など) 3%を目標とする。
- ③ 前年度運用益を利用して、一般会計と労山基金会計で負担していた事務所関係費(固定資産税、建物警備費、建物再建築積立金など) 約 400 万円を支出する。これにより労山活動に重要な労山事務所を維持することができる。運用益に残りが出れば元本に繰り入れて翌年の運用益を増やしていく。
- ④ 基本的な考えとしては毎年の運用益の半分を支出に回し、半分を元本に繰り入れる。元本に繰り入れることで、インフレ対策にもなり、元本が目減りすることなく、翌年以降の運用益を増やしていくことができる。
- ⑤ 運用益が増えれば、事務所関係費以外にも事務局関係費(水道光熱費、事務機リース料、通信費、PC 関係費、顧問料、機関誌紙作成費など) 約 900 万円を支出していく。
- ⑥ 一般会計と労山基金会計で支出していた経費を「一般財団法人山岳基金」の運用益で負担することができれば、連盟費収入や労山基金寄付金収入の減少に対応できる。
- ⑦ 「一般財団法人山岳基金」で運用する元本が増えて行けば、将来的には連盟費の値下げに繋げることもできる。

登山文化の継承・発展のための寄付金のお願い

日本勤労者山岳連盟は1960年の創立以来、日本の登山・アウトドア活動の継承・発展のために活動してきました。具体的には技術教育、遭難対策、自然保護、海外登山および国際平和、登山道の維持、山小屋などアウトドア活動施設の保全などです。この活動を継続し、より発展させていくために、広く寄付金を募集します。寄付をしていただいた金額は消費することなく一般財団法人山岳基金の預貯金や有価証券で運用し、その運用益で日本勤労者山岳連盟の目的達成のために、活動していきます。寄付をいただいた個人・団体は日本勤労者山岳連盟の総会で報告し、名称（匿名希望を除く）と日にち、金額を記録し、ホームページなどで公開します。記録は日本勤労者山岳連盟の歴史とともに、永遠に保存していきます。

登山・アウトドア活動を自由・平等にすべての人々が有効に利用する条件と環境を整備するために、日本勤労者山岳連盟は活動を続けていきます。この活動を支援していただける方からの、ご寄付を心からお待ちしています。

一般財団法人山岳基金

一口 5,000 円～

寄付金口座 ゆうちょ銀行

記号 11310

番号 09156271

名称 ザイ) サンガクキキン

2025年2月16日

日本勤労者山岳連盟

2024 年度決算の概要

財政部

<一般会計>

(収入)

- ・連盟費収入やカレンダー収入では、いくつかの地方連盟で入金が遅れている。事務局が年末に多忙であったため、督促が遅れていたが、全額、納入されるよう働きかけを強める。
- ・カレンダー収支では、物価高を反映して作成費・送料が値上がりした一方で、各地方連盟への販売部数が減少したため、若干の赤字を計上することとなった。次年度カレンダーでは、販売価格の見直しなどの対策が必要と思われる。
- ・テキスト類では、「ハイキング A・B・C」で以前に作成した在庫の販売だったので収益をあげているが、「ハイキング セカンド・ステップ」は新たに第5版を作成した費用がかさんだため、単年度では赤字となっている。しかし、販売は好調であり、次年度には収益に転じることが確実である。「山筋ゴーゴー体操」は、注文のある都度、事務所の印刷機で印刷をしているため、若干とはいえ収益を上げているが、2024 年度の年間販売部数は 172 部で、以前のような販売数ではない。
- ・退職給与引当金で、2024 年度当初予算では計上していなかった 35 万円の労山基金会計からの入金が計上されている。これは、従来、労山基金の職員に対する退職引当金を、一般会計を経ずに直接積み立てていたものを、きちんと一般会計経由で計上するよう、見直したものである。(なお、支出の項で記載漏れがあったため、2025 予算で修正する)

(支出)

- ・総会費用(2024/2 東京・府中で開催)では、かなり予算オーバーとなった。参加者数が多かったことに加えて、ホテル代が値上がりしたことによるが、代議員の参加を制限するわけにもいかず、やむをえないこととして、ご承認いただきたい。
- ・部局／委員会活動費では、項目によって節約したものとオーバーしたものがあるが、全体としては予算枠内でおさまった。
- ・事務所関係費では、労山事務所の建物が(財)山岳基金に移管したことに伴い、建物に関する固定資産税および減価償却費支出も移行した。このため、予算は未執行となった。しかし、将来の労山事務所改築を考えると、その際に事務所の一時移転や、資料保管のための倉庫代などが必要となってくる。また、現事務所は来年で築 20 年をむかえ、様々な修繕の必要が予想され、そのための積立金も用意することが求められる。このため、2025 年度予算では、こうした項目を組み込むことが求められる。
- ・新たに発行を開始した JWAF journal、季刊「登山時報」などメディア関係費では、予算の枠内で発行することができた。
- ・退職給与引当預金支出(予算は 70 万円だったが、本来は 3 人分 105 万円)は、

事務多忙のため、事務処理が翌年度（2025 年度）になってしまった。このため、2025 年度会計で 2 年分を計上する予定である。

（全体として）

労山の会員数が前年（2023 年度会計）に比べて約 200 人減少し、連盟費収入も 33 万円の収入減となった。また、物価高による支出増もあったが、全般的に節約に心がけ、さらに、資産管理のために新たに発足した財団法人「山岳基金」での資金運用が順調であることもあり、事務所建物の固定資産税や減価償却費はそちらで処理できた。このため、前年からの繰越金は約 680 万円だったが、2025 年度への繰越金は、支出計上漏れ分を差し引いて約 570 万円に減少したものの、一般会計はとりあえず、安定しているといっていよう。

<特別会計（安全対策基金）>

全体として、予算の枠内での執行を行った。

収入面では、「ココヘリ」からの会費の一部の割り戻しが、年間で約 87 万円の収入と、大きな貢献をしている。

支出面では、「部員研修・資料費」が 10 万円の予算オーバーとなった。これは、2024 年 10 月に筑波で開催した「登山寿命を延ばすための講習会」が大人気（スタッフ含め 41 名参加）で、一人 8000 円の参加費を徴収したが、経費もかさんだことが大きい。

これも含め、もともと 2024 年度予算が前年度からの繰越金を組み込んだ予算編成であったため、次年度への繰越金が 331 万円あったものの、前年度の 442 万円からは 111 万円少なくなった。

<機関誌会計（旧・登山時報）>

以前に購読料を前納していただいた会と連絡をとり、13 万 2452 円を労山に寄付していただき、これを雑収入とした。あわせて、未整理だった残金 2338 円と合計して一般会計に繰り入れ、機関誌会計（旧・登山時報）は閉鎖するものとする。

2024年度 一般会計収支計画

2024年1月1日～12月31日

Ⅰ 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	連盟費収入	27,638,760	27,638,760	0	100%	556団体、16,616名
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,580,000	2,585,000	△ 5,000	100%	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	労山基金より 100,000円×12ヶ月
	労山基金事務消耗費	600,000	600,000	0	100%	労山基金より 50,000円×12ヶ月
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	100%	都連盟より 55,000円×12ヶ月
	会議室分担金	120,000	125,000	△ 5,000	104%	労山団体1回3,000円
4	カレンダー・テキスト収入	2,840,000	2,779,530	60,470	98%	
	カレンダー・連盟	1,730,000	1,642,900	87,100	95%	一部700+送料等
	カレンダー一般	40,000	61,766	△ 21,766	154%	一部1,000+送料等
	ハイキングABC	300,000	333,864	△ 33,864	111%	一部300円、第5版発行
	セカンドステップ	300,000	344,300	△ 44,300	115%	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	120,000	33,350	86,650	28%	一部200円
	バッジ・腕章	0	0	0	-	バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	150,000	131,150	18,850	87%	各種・労山発行の書籍・その他
	登山時報	200,000	232,200	△ 32,200	-	
5	雑収入	0	10,458	△ 10,458	-	
6	退職給与引当金収入	0	350,000	△ 350,000	-	労山基金より職員1名分
7	特定預金取崩収入	0	0	0	-	
	退職給与引当金取崩収入	0	0	0	-	
	財政安定積立金取崩収入	0	0	0	-	
8	機関紙会計繰入収入	0	34,044	△ 34,044	-	機関誌会計を閉鎖し一般会計へ繰り入れ
当期収入合計(A)		35,258,760	35,597,792	△ 339,032	101%	
前期繰越収支差額		6,796,736	6,796,736	0		
収入合計(B)		42,055,496	42,394,528	△ 339,032		

Ⅱ 支出の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	会議費	3,020,000	3,497,286	△ 477,286	116%	
	総会	3,000,000	3,475,456	△ 475,456	116%	会場・宿泊費、決議決定集、栄誉功労賞関連
	評議会	0	0	0	0%	
	理事会	20,000	21,830	△ 1,830	109%	拡大理事会1回
2	部局・委員会活動費	1,670,000	1,285,616	384,384	77%	
	ハイキング委員会	200,000	207,964	△ 7,964	104%	委員交通費、通信費
	海外委員会	70,000	30,104	39,896	-	
	遭難対策部	20,000	0	20,000	0%	
	青年学生委員会	0	0	0	0%	
	女性委員会	0	0	0	0%	
	自然保護委員会	230,000	237,817	△ 7,817	103%	委員交通費、自然保護憲章發送費用
	山筋ゴーゴー体操推進	100,000	968	99,032	1%	委員交通費、通信費、会議費、合宿費用
	メディア局	0	0	0	0%	
	組織部	350,000	132,813	217,187	38%	地方連盟用HP費用、部員学習会
	国際関係	300,000	234,950	65,050	78%	UAAA年会費、総会、創立30周年関係費用
	地方強化会議	400,000	441,000	△ 41,000	110%	地方連盟総会、会議参加交通費と宿泊費
3	渉外費・分担金	400,000	321,308	78,692	80%	新日本スポーツ連盟賛助金30万円、その他

II 支出の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
4	全国集会関係費	2,150,000	1,693,360	456,640	79%	
	ハイキング交流集会	350,000	342,581	7,419	98%	
	比較的若い層の集会	400,000	376,938	23,062	94%	
	自然保護集会	400,000	487,093	△ 87,093	122%	
	海外山行交流集会	300,000	196,957	103,043	66%	
	平和と登山全国集会	400,000	289,791	110,209	72%	
	ガザスタン・トレッキング関係費	300,000	0	300,000	0%	
5	機関担当者会議	0	0	0	0%	
	組織担当者会議	0	0	0	0%	
	自然保護担当者会議	0	0	0	0%	
6	メディア関係費	4,200,000	3,071,351	1,128,649	73%	
	JWAF Journal	1,200,000	970,198	229,802	81%	
	季刊・登山時報	2,000,000	2,101,153	△ 101,153	105%	
	ホームページ	1,000,000	0	1,000,000	0%	ホームページリニューアル費用
7	事務局関係費	6,540,000	5,997,361	542,639	92%	
	水道光熱費	500,000	455,299	44,701	91%	水道代・電気代
	事務機リース料	2,450,000	2,157,949	292,051	88%	コピー印刷複合機×2台、パソコン、電話、LED一式
	事務消耗費	400,000	411,369	△ 11,369	103%	印刷用紙・インク・トナー・文具等
	事務印刷費	650,000	456,927	193,073	70%	封筒・複合機メンテナンス料金・コピー紙
	通信費	250,000	280,011	△ 30,011	112%	郵送料、振込手数料
	電話料	220,000	178,057	41,943	81%	固定電話×1、FAX
	資料費	170,000	161,214	8,786	95%	新聞・書籍・資料購入・NHK受信料
	ホームページ・PC関係費	1,000,000	1,081,075	△ 81,075	108%	プロバイダー費、ホームページ更新費用、WEB会議関連
	顧問料	600,000	583,000	17,000	97%	税理士顧問料、社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	200,000	167,645	32,355	84%	ごみ処理券、蓮柱広告
	会員証製作費	100,000	64,815	35,185	-	作成・発送
8	事務局関係費	2,637,270	427,678	2,209,592	16%	
	固定資産税額分寄付	0	0	0	0%	一般財団法人山岳基金へ、土地・建物分
	建物保険料・警備費	420,000	427,678	△ 7,678	102%	セコム警備費・火災保険料
	減価償却費引当金支出	2,217,270	0	2,217,270	0%	2023年度分減価償却相当額を山岳基金会計へ
9	役員行動費	2,300,000	1,656,891	643,109	72%	会長・副会長・理事交通費・宿泊費
10	職員関係費	14,760,000	14,393,296	366,704	98%	
	職員給与	12,350,000	12,088,399	261,601	98%	職員2名
	法定福利費	2,130,000	2,052,471	77,529	96%	社会保険事業主負担、労働保険料
	福利厚生費	280,000	252,426	27,574	90%	通勤定期、健康診断
	臨時スタッフ	0	0	0	0%	派遣スタッフ
11	カレンダー・テキスト費	2,360,000	2,664,790	△ 304,790	113%	
	カレンダー	1,730,000	1,953,379	△ 223,379	113%	制作費、送料 3,000部
	ハイキングABC	30,000	41,966	△ 11,966	140%	送料
	セカンドステップ	400,000	636,287	△ 236,287	159%	送料
	山筋ゴーゴー体操	100,000	5,398	94,602	5%	送料
	バッジ・腕章	0	0	0	0%	腕章2種
	その他書籍購入費	100,000	27,780	72,240	28%	登山詳細図等仕入れ、その他書籍発行料
12	特定預金支出	700,000	0	700,000	0%	
	退職金引当積立金支出	700,000	0	700,000	0%	
	財政安定積立金支出	0	0	0	0%	
13	予備費	500,000	491,216	8,784	98%	NAS入替費用(基金上折半)297,000円、経路図移写32,186円、防災設備点検140,000円
当期支出合計(C)		41,237,270	35,500,153	5,737,117	86%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 5,978,510	97,639	△ 6,076,149		
次期繰越収支差額(B)-(C)		818,226	6,894,375	△ 6,076,149		

《 一般 会 計 》

貸借対照表

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	12,007,073	
現金	124,680	
普通預金	10,623,981	
郵便振替	1,258,412	
未収連盟費	1,413,480	
未収金	351,160	
前払金	132,910	
立替金	398,780	
仮払金	296,600	
流動資産合計		14,600,003
固定資産		
その他の固定資産		
什器備品	483,298	
みずほ退職積立金	10,829,000	
三菱UFJ財政安定積立金	9,000,000	
その他の固定資産合計	20,312,298	
固定資産合計		20,312,298
資産合計		34,912,301
【負債の部】		
流動負債		
未払金	192,955	
職員預り金	388,590	
預り金	6,944,083	
仮受金	180,000	
流動負債合計		7,705,628
固定負債		
退職給与引当金	10,829,000	
財政安定引当金	9,000,000	
固定負債合計		19,829,000
負債合計		27,534,628
【正味財産の部】		
正味財産		7,377,673
(うち当期正味財産増加額)		(45,547)
負債及び正味財産合計		34,912,301

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2023年12月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	97,639	97,639	
負債減少額			
増加額合計			97,639
【減少の部】			
資産減少額			
什器備品減価償却額	52,092	52,092	
負債増加額			
減少額合計			52,092
当期正味財産増加額			45,547
前期繰越正味財産額			7,332,126
期末正味財産合計額			7,377,673

財産目録

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額		備考
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	12,007,073		
現金	124,680		
普通預金	10,623,981		
三菱東京UFJ銀行	1,985,390		飯田橋支店
ゆうちょ銀行	5,902,973		牛込支店
みずほ銀行	1,589,521		飯田橋支店
ゆうちょ銀行機関誌	1,146,097		
ゆうちょ銀行振替口座	1,258,412		牛込支店
〒連盟	2,990		連盟費
〒行奉会計	621,360		
〒事務局	395,512		事務・カレンダー
〒機関誌	238,550		
未収連盟費	1,413,480		2地方連盟
未収金	351,160		カレンダー
前払金	132,910		
評議会費用	61,440		航空券代
KDDIサーバー費用	58,080		2025年度分
セコム火災保険料	13,390		
立替金	398,780		
東京都連盟	452		郵便代
労山基金	398,328		nas入替費用
仮払金	296,600		
特別会計	1,000		
短期掛け捨てプラン	295,600		概算保険料
流動資産合計		14,600,003	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	483,298		
みずほ退職積立金	10,829,000		
三菱東京UFJ財政安定積立金	9,000,000		
その他の固定資産合計	20,312,298		
固定資産合計		20,312,298	
資産合計			34,912,301
【負債の部】			
流動負債			
未払金	192,955		journalのレンタル・派遣
職員預り金	388,590		社保料・源泉税
預り金	6,944,083		
Amazon登録	1		
労山基金会計	5,666,349		
義援金	608,682		
月刊登山時報購読料	534,960		
アルバイト源泉税	6,091		
短期掛け捨てプラン保険料	128,000		
仮受金	180,000		役員2名
流動負債合計		7,705,628	
固定負債			
退職給与引当金	10,829,000		
財政安定引当金	9,000,000		
固定負債合計		19,829,000	
負債合計			27,534,628
正味財産			7,377,673

2024年度 特別会計収支計算書

2024年1月1日～12月31日

《安全対策基金》

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	労山基金振替収入	11,000,000	11,000,000	0	100%	基金払込金の20%ただし1,500万円を限度とする。(定款第4条11条の5)
2	雑収入	-	260	△ 260	-	預金利息
3	ココヘリ繰入金	870,000	875,963	△ 5,963	101%	ココヘリより
当期収入合計(A)		11,870,000	11,876,223	△ 6,223	100%	
前期繰越収支差額		4,420,865	4,420,865	0		
収入合計(B)		16,290,865	16,297,088	△ 6,223		

II 支出の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	全国雪崩講習会	1,300,000	1,192,968	107,032	92%	
2	技術教育関係費	2,200,000	1,217,915	982,085	55%	
	登山技術講習会	0	0	0	0%	山筋講座・講習会、若手クライミング講習
	役員・講師派遣費用	800,000	639,451	160,549	80%	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	100,000	16,060	83,940	16%	
	全国ハイキング学校	0	0	0	0%	
	学習資料作成費	300,000	0	300,000	0%	
	若手クライミング講習会	500,000	237,142	262,858	47%	
	山筋ゴーゴー体験講習会	500,000	325,262	174,738	65%	
3	救助隊関係費	100,000	0	100,000	0%	
	全国救助技術交流会	0	0	0	-	
	全国救助技術研修会	0	0	0	0%	
	測定器他維持管理費	100,000	0	100,000	0%	
4	遭難対策関係費	2,620,000	1,973,302	646,698	75%	
	遭難対策担当者会議	800,000	835,544	△ 35,544	104%	
	全国山岳遭難対策協議会	20,000	4,050	15,950	20%	
	S&R研究機構	300,000	200,000	100,000	67%	事故調査分担金、研究支援金
	各学会参加費	50,000	5,000	45,000	10%	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	500,000	605,401	△ 105,401	121%	
	器材購入費	200,000	20,240	179,760	10%	
	岩場グレンデ環境整備費	300,000	74,000	226,000	25%	
	ココヘリ補助金労山捜索隊	150,000	0	150,000	0%	
	登山道整備助成金	300,000	229,067	70,933	76%	
5	地方協議会補助費	2,870,000	2,300,000	570,000	80%	
	ブロック雪崩講習会補助	1,650,000	1,550,000	100,000	94%	※1
	ブロック安全対策講習会補助	1,220,000	750,000	470,000	61%	※2
6	地方連盟登山学校・講習会補助	5,130,000	4,165,000	965,000	81%	※3
7	事務費	2,000,000	2,134,665	△ 134,665	107%	振込手数料、アルバイト給与
8	予備費・雑費	70,865	0	70,865	0%	
当期支出合計(C)		16,290,865	12,983,850	3,307,015	80%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 4,420,865	△ 1,107,627	△ 3,313,238		
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	3,313,238	△ 3,313,238		

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック救助隊交流会補助:10万円×10ブロック

※3 20万円×5地方連盟(1,000人以上)+15万円×6地方連盟(600人以上～1,000人未満)
+12万円×5地方連盟(300人～600人未満)+10万円×18地方連盟(100人～300人未満)+8万円×15地方連盟(100人未満)

《 安全対策基金 》

貸借対照表

2024年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	2,088,631		
現金	129		
普通預金	2,044,464		
郵便振替	44,038		
前払金	150,000		
仮払金	1,638,386		
現金	129		
流動資産合計		3,877,017	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	4		
その他の固定資産合計	4		
固定資産合計		4	
資産合計			3,877,021
【負債の部】			
流動負債			
未払金	148,301		
仮受金	415,478		
流動負債合計		563,779	
負債合計			563,779
【正味財産の部】			
正味財産			3,313,242
(うち当期正味財産減少額)			(1,107,627)
負債及び正味財産合計			3,877,021

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2023年12月31日まで (単位:円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額			
負債減少額			
増加額合計			0
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	1,107,627	1,107,627	
負債増加額			
減少額合計			1,107,627
当期正味財産減少額			1,107,627
前期繰越正味財産額			4,420,869
期末正味財産合計額			3,313,242

財産目録

2024年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額		備考
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	2,088,631		
現金	129		
普通預金	2,044,464		
ゆうちょ銀行	2,044,464		牛込支店
ゆうちょ銀行振替口座	44,038		
千中央登山学校	44,038		牛込支店
前払い金	150,000		
地方協議会費庫補助	150,000		宮城県連
仮払金	1,638,386		2026.1月精算済
流動資産合計		3,877,017	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	4		
その他の固定資産合計	4		
固定資産合計		4	
資産合計			3,877,021
【負債の部】			
流動負債			
未払金	148,301		
ブロック援助隊	120,000		
アルバイト給与	28,301		
仮受金	415,478		
一般会計	1,000		
労山基金会計	414,478		
流動負債合計		563,779	
負債合計			563,779
正味財産			3,313,242

2024年 機関誌会計収支計算書

2024年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	購読料	0	0	0	-	
	団体購読	0	0	0	-	
	個人購読	0	0	0	-	
2	編集助成金	0	0	0	0%	一般会計より精算費用
3	雑収入	2,338	132,452	△ 130,114	5665%	受取利息、寄付
当期収入合計(A)		2,338	132,452	△ 130,114	5665%	
前期繰越収支差額		△ 2,338	△ 2,338	0		
収入合計(B)		0	130,114	△ 130,114		

II 支出の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	発送関係費	0	0	0	-	月刊登山時報送送料
2	雑費	0	96,070	△ 96,070		購読料返金振込手数料
	一般会計へ繰出	0	34,044	△ 34,044		
当期支出合計(C)		0	130,114	△ 130,114		
当期収支差額(A)-(C)		2,338	2,338	0		
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0		

《 機関誌会計 》

貸借対照表

2024年12月31日現在 (単位:円)

科目	金額		
【資産の部】			
正味財産			0
(うち当期正味財産増加額)			(2,338)
負債及び正味財産合計			0

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで (単位:円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	2,338	2,338	
負債減少額			
増加額合計			2,338
【減少の部】			
資産減少額			
負債増加額			
減少額合計			0
当期正味財産減少額			2,338
前期繰越正味財産額			△ 2,338
期末正味財産合計額			0

労山基金運営委員会 第36期上期の総括

1. 加入者と運用の概況

労山基金個人の今期加入者数は15,013名（前年度比459名減）で、11月末の会員数に対する加入比率は93.8%（前年93.1%）だった。労山基金の寄付金は、個人が5864万1365円（前年度比約159万円減）、団体81万2000円（前年度比5万2000円減）の入金で、寄付金合計が5945万3365円（前年度比約165万円の減）となった。

交付件数は今年度291件、294名（前年度比28件35名増）で、交付金額は3640万3353円（前年度比約614万円の増）、寄付金の総額に対する交付率は61.3%となり昨年度と比べると増加し、交付率は12%増えて60%越えた。登山活動が活発化した一昨年度と比べても事故が増えた。今期の収入合計は寄付金、受取利息、その他を含め6032万5993円となり、交付金支払いや事務経費の支出合計は6405万0668円となった。

一般財団法人山岳基金の2023年度仮払金と立替金を精算し、1億1000万円を寄付した。

2. 交付内容の内訳と前年度比

死亡・行方不明者の推移は、22年度7名、23年度6名、24年度は7名となり3年連続一桁台後半となった。2024年度の死亡交付者数は7名で、死亡交付金1,060万円（前年度は640万円）だった。死亡交付金額が昨年度と比べて増加したのは10口加入者死亡事故多かったためと思われる。

救助・捜索の交付金額は370万8948円（前年度529万2830円で前年度比70%）前年度より少し減少したが高額が続いている。救援者費用は3件、交付額は6万3205円。

入通院の交付は284名（前年度比24名の増）で、交付金額は3263万1200円（前年度約1,000万円増）

これまで全加入者数に対する登山中の事故交付率の平均は1.2%程度だったが、24年度は1.95%となり加入者の50人に1人が事故者となった。

3. 活動の概要

（1）交付申請の審議

事故一報、交付申請の遅れが数件あり厳正に審議した。遅れるに正当な理由があり、会が今後同じ間違いを起こさない為の対応策を会内に周知徹底することを条件に受理したものと、改善策がたてられない為受理出来ないものに明暗がわかれた。

また、3倍交付特典申請においては、コースを特定するために多大な労力を要した。昭文社の地図に該当がないものは公的な資料を要求して審査した。

（2）オンライン説明会

2024年11月6日（水）19時～20時半 運営委員8名：ZOOM参加者 161名

（3）地方連盟単位現地説明会

2024年11月20日、兵庫県連

運営委員2名が参加し、基金の説明を行なった。14団体22名が参加した。

2024年11月24日（日）埼玉県連盟

運営委員3名が参加し、基金の説明を行なった。14団体20名が参加した。

2024年12月5日（木）群馬県連盟

運営委員3名が参加し、基金の説明を行なった。9団体25名が参加した。

2024年 労山基金会計収支計算書

2024年1月1日～12月31日

Ⅰ 収入の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	差異	比率	備考
1	個人寄付金	57,995,200	58,641,365	△ 646,165	101%	
	継続	54,216,000	53,670,365	545,635	99%	
	新規	3,148,700	3,870,600	△ 721,900	123%	
	増し口(追加)	293,000	604,000	△ 311,000	206%	
	移籍	337,500	496,400	△ 158,900	147%	
2	団体寄付金	830,000	812,000	18,000	98%	
3	受取利息	800,000	872,628	△ 72,628	109%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
	有価証券	770,000	850,022	△ 80,022	0%	
	その他利息	30,000	22,606	7,394	0%	
4	減価償却引当金収入	0	0	0	0%	
5	その他収入	0	0	0	0%	
6	安全対策引当金繰出収入	90,760,000	113,724,675	△ 22,964,675	125%	
当期収入合計		150,385,200	174,050,668	△ 23,665,468	116%	
前期繰越収支差額		0	0	0	-	
収入合計			174,050,668	△ 23,665,468		

Ⅱ 支出の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	差異	比率	備考
1	交付金	30,330,000	36,434,963	△ 6,104,963	120%	
	交付金	30,300,000	36,403,353	△ 6,103,353	120%	
	交付雑費	30,000	31,610	△ 1,610	105%	交付金の払込手数料
2	行事主催者賠償責任保険	130,000	292,400	△ 162,400	-	
3	安全対策基金支出	11,000,000	11,000,000	0	100%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,552,370	1,561,230	△ 8,860	101%	地方連盟基金加入者数×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	9,600,000	7,033,651	2,566,349	73%	
	職員関係費	5,300,000	4,939,006	360,994	93%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	臨時職員	4,300,000	2,094,645	2,205,355	49%	パート職員1名
8	事務経費	3,772,440	3,728,424	44,016	99%	
	入力作業委託費	750,000	810,073	△ 60,073	-	派遣社員3月まで
	パソコン器材・事務用品費	450,000	520,917	△ 70,917	116%	労山システム機能改善、公益法人会計ソフト保守
	通信費	607,000	469,006	137,994	77%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	150,000	258,752	△ 108,752	173%	基金実務担当者講習会、保険業法PT、委員交通費
	印刷・宣伝費	350,000	221,716	128,284	63%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	264,000	0	100%	パソコンメンテナンス契約 @22,000円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,000円/月×12ヶ月+決算処理101,000円
	弁護士顧問料	736,440	736,440	0	100%	55,686円÷消費税×12ヶ月
	雑費	25,000	7,520	17,480	30%	振り込み手数料他
9	拠出金	90,000,000	110,900,000	△ 20,900,000	122%	財団法人山岳基金へ
10	減価償却引当預金支出	0	0	0	-	事務所減価償却額を定期預金へ
11	安全対策引当金繰入支出	0	0	0		
当期支出合計		150,384,810	174,050,668	△ 23,665,858		
当期収支差額		390	0	390		
次期繰越収支差額			0	390		

《 労山山岳事故対策基金会計 》

貸借対照表

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金	0	
仮払金	6,080,827	
流動資産合計		6,080,827
固定資産		
基本財産		
減価償却引当預金	36,584,955	
基本財産引当預金	13,856,735	
有価証券	148,000,000	
基本財産合計	198,441,690	
その他の固定資産		
安全対策引当定期預金	2,217,270	
安全対策引当有価証券	34,131,263	
安全対策引当普通預金	53,086,655	
構築物	88,912	
什器備品	1	
その他の固定資産合計	89,524,101	
固定資産合計		287,965,791
資産合計		294,046,618
【負債の部】		
流動負債		
預り金	5,685	
固定負債合計		5,685
固定負債		
安全対策引当金	89,435,188	
固定負債合計		89,435,188
負債合計		89,440,873
【正味財産の部】		
正味財産		204,605,745
(うち基本金)		(198,441,690)
(うち正味財産減少額)		(35,878,772)
負債及び正味財産合計		294,046,618

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで (単位:円)

科目	金額	
【増加の部】		
資産増加額		
負債減少額		
安全対策引当預金減少額	77,860,617	77,860,617
増加額合計		77,860,617
【減少の部】		
資産減少額		
当期収支差額	35,864,058	
構築物減価償却額	14,714	
安全対策引当預金繰出額	77,860,617	113,739,389
負債増加額		
減少額合計		113,739,389
当期正味財産減少額		35,878,772
前期繰越正味財産額		240,484,517
期末正味財産合計額		204,605,745

財産目録

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	備考
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	0	
現金	209,614	
普通預金	32,795,015	
さわやか信用金庫	9,976,765	日本橋中央支店
ゆうちょ銀行	5,775,847	牛込支店
みずほ銀行	15,361,418	
三菱UFJ信託銀行	1,680,982	
大和ネクスト銀行	3	
郵便振替	6,718	
干・新特別基金	5,718	
安全対策現預金	△ 33,010,347	
仮払金	6,080,827	
一般会計	5,666,349	
特別会計	414,478	
固定資産		6,080,827
基本財産		
減価償却引当預金	36,584,955	みずほ銀行定期預金
基本財産引当預金	10,000,000	さわやか信金
基本財産引当預金	3,856,735	三菱東京UFJ
投資有価証券	148,000,000	野村・大和・日興コ
基本財産合計	198,441,690	
その他の固定資産		
安全対策引当定期預金	2,217,270	
みずほ銀行定期	2,217,270	ホテイ支店
安全対策引当有価証券	34,131,263	野村・大和
安全対策引当現預金	53,086,655	
現預金	33,010,347	
ゆうちょ銀行	3,934,540	飯田橋駅東口支店
三菱東京UFJ	6,141,768	
三菱UFJ信託銀行	10,000,000	日本橋中央支店
構築物	88,912	外構
什器備品	1	資産台帳参照
その他の固定資産合計	89,524,101	
固定資産合計		287,965,791
資産合計		294,046,618
【負債の部】		
流動負債		
預り金	5,685	源泉税
流動負債合計		5,685
固定負債		
安全対策引当金	89,435,188	
固定負債合計		89,435,188
正味財産		89,440,873
正味財産		204,605,745

2024年 一般財団法人山岳基金収支計算書

2024年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	受取利息	0	2,992,204	△ 2,992,204		
	有価証券	0	2991928	△ 2,991,928		
	その他利息	0	276	△ 276		
2	受取寄付金	90,000,000	110,000,000	△ 20,000,000	122%	労山からの寄付金(固定資産税相当額)
3	その他の収入	0	128,300	△ 128,300		東京都税還付金
当期収入合計(A)		90,000,000	113,120,504	△ 23,120,504	-	
前期繰越収支差額		△ 1,938,980	△ 1,938,980	0	-	
収入合計(B)		88,061,020	111,181,524	△ 23,120,504		

II 支出の部

科目	補助科目	2024年予算	2024年決算	予算残	執行率	備考
1	固定資産税	950,000	934,600	15,400	98%	土地・建物
2	その他の税金	64,000	70,000	△ 6,000	109%	不動産取得税、東京都税
	東京都税	64,000	70,000	△ 6,000	109%	
3	事務費	5,000	10,120	△ 5,120	202%	振込手数料
4	事務所積立	398,720	398,720	0	100%	199,360円×2年分
当期支出合計(C)		1,417,720	1,413,440	4,280	100%	
当期収支差額(A)-(C)		88,582,280	111,707,064	△ 23,124,784		
次期繰越収支差額(B)-(C)		86,643,300	109,768,084	△ 23,124,784		

《 一般財団法人山岳基金 》

貸借対照表

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金	7,752,084	
流動資産合計		7,752,084
固定資産		
基本財産		
基本財産引当預金	3,000,000	
基本財産合計	3,000,000	
その他の固定資産		
土地	117,100,000	
建物	6,521,920	
投資有価証券	102,016,000	
みずほ建物積立	398,720	
その他の固定資産合計	226,036,640	
固定資産合計		229,036,640
資産合計		236,788,724
【負債の部】		
固定負債		
建物積立金	398,720	
固定負債合計		398,720
負債合計		398,720
【正味財産の部】		
正味財産		236,390,004
(うち基本金)		(3,000,000)
(うち正味財産減少額)		(213,821,400)
負債及び正味財産合計		236,788,724

正味財産増減計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで (単位:円)

科目	金額	
【増加の部】		
資産増加額		
当期収支差額	111,707,064	
建物積立定期増加額	398,720	112,105,784
負債減少額		
増加額合計		112,105,784
【減少の部】		
資産減少額		
建物減価償却	199,360	199,360
負債増加額		
建物積立繰入	398,720	398,720
減少額合計		598,080
当期正味財産増加額		111,507,704
前期繰越正味財産額		124,882,300
期末正味財産合計額		236,390,004

財産目録

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	金額		備考
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	7,752,084		
現金	100		
普通預金	7,751,984		
ゆうちょ銀行	7,751,704		
みずほ銀行	280		
流動資産合計		7,752,084	
固定資産			
基本財産			
基本財産引当預金	3,000,000		ゆうちょ定期貯金
基本財産合計	3,000,000		
その他の固定資産			
土地	117,100,000		
建物	6,521,920		
投資有価証券	102,016,000		
野村証券	80,000,000		
大和証券	22,016,000		
みずほ建物積立	398,720		
その他の固定資産合計	226,036,640		
固定資産合計		229,036,640	
資産合計		236,788,724	
【負債の部】			
固定負債			
建物積立金	398,720		
固定負債合計		398,720	
負債合計		398,720	
正味財産		236,390,004	

日本勤労者山岳連盟貸借対照表総括表

2024年12月31日現在

(単位:円)

科目	合計	一般会計	安全対策基金会計	機関誌会計	労山基金会計	財)山岳基金
【資産の部】						
流動資産						
現金	334,523	124,680	129	0	209,614	100
普通預金	53,215,444	10,623,981	2,044,464	0	32,795,015	7,751,984
郵便振替	1,308,168	1,258,412	44,038	0	5,718	0
未収連盟費	1,413,480	1,413,480	0	0	0	0
未収金	351,160	351,160	0	0	0	0
前払金	282,910	132,910	150,000	0	0	0
立替金	398,780	398,780	0	0	0	0
仮払金	8,015,813	296,600	1,638,386	0	6,080,827	0
安全対策現預金	△ 33,010,347	0	0	0	△ 33,010,347	0
流動資産合計	32,309,931	14,600,003	3,877,017	0	6,080,827	7,752,084
固定資産						
基本財産						
減価償却引当定期預金	36,584,955	0	0	0	36,584,955	0
基本財産引当定期預金	16,856,735	0	0	0	13,856,735	3,000,000
有価証券	148,000,000	0	0	0	148,000,000	0
基本財産合計	201,441,690	0	0	0	198,441,690	3,000,000
その他の固定資産						
土地	117,100,000	0	0	0	0	117,100,000
建物	6,521,920	0	0	0	0	6,521,920
什器備品	483,303	483,298	4	0	1	0
構築物	88,912	0	0	0	88,912	0
安全対策引当有価証券	34,131,263	0	0	0	34,131,263	0
安全対策引当定期預金	2,217,270	0	0	0	2,217,270	0
安全対策引当普通預金	53,086,655	0	0	0	53,086,655	0
有価証券	102,016,000					102,016,000
退職積立金	10,829,000	10,829,000	0	0	0	0
建物積立金	398,720	0	0	0	0	398,720
財政安定積立	9,000,000	9,000,000	0	0	0	0
その他の固定資産合計	335,873,043	20,312,298	4	0	89,524,101	226,036,640
固定資産合計	537,314,733	20,312,298	4	0	287,965,791	229,036,640
資産合計	569,624,664	34,912,301	3,877,021	0	294,046,618	236,788,724
【負債の部】						
流動負債						
未払金	341,256	192,955	148,301	0	0	0
職員預り金	388,590	388,590	0	0	0	0
預り金	6,949,768	6,944,083	0	0	5,685	0
仮受金	595,478	180,000	415,478	0	0	0
流動負債合計	8,275,092	7,705,628	563,779	0	5,685	0
固定負債						
安全対策引当金	89,435,188	0	0	0	89,435,188	0
退職給与引当金	10,829,000	10,829,000	0	0	0	0
財政安定引当金	9,000,000	9,000,000	0	0	0	0
建物積立金						398,720
固定負債合計	109,264,188	19,829,000	0	0	89,435,188	398,720
負債合計	117,539,280	27,534,628	563,779	0	89,440,873	398,720
【正味財産の部】						
正味財産	451,686,664	7,377,673	3,313,242	0	204,605,745	236,390,004
負債及び正味財産合計	569,225,944	34,912,301	3,877,021	0	294,046,618	236,788,724

固定資産台帳 兼 減価償却額明細書

2024年1月1日から12月31日まで

《一般会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	人工壁	旧定率	2006.7	1,447,000	25	535,390	52,092	483,298	963,702
	建物 合計			1,447,000		535,390	52,092	483,298	963,702
	合計			1,447,000		535,390	52,092	483,298	963,702

《特別会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	ウインチ式	旧定額	2002.5	588,735	10	1	0	1	588,734
2	ウインチ式	旧定額	2002.5	588,735	10	1	0	1	588,734
3	AED ハートスタートFR2 M3861A	旧定率	2006.7	399,000	5	1	0	1	398,999
4	プロジェクター EMP-1715	旧定率	2007.2	241,500	5	1	0	1	241,499
	什器備品合計			1,817,970		4	0	4	1,817,966
	合計			1,817,970		4	0	4	1,817,966

《労山山岳事故対策基金会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	新事務所 外構工事	旧定額	2006.7	1,507,150	15	103,626	14,714	88,912	1,418,238
	構築物 計			1,507,150		103,626	14,714	88,912	1,418,238
1	セコム設置費用	旧定率	2006.07	2,106,800	6	1	0	1	2,106,799
	器具及び備品 計			2,106,800		1	0	1	2,106,799
	合計			3,613,950		103,627	14,714	88,913	3,525,037

《一般社団法人山岳基金会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	事務所家屋		2022.4	7,120,000	37	6,721,280	199,360	6,521,920	598,080
	期中 除却・売却資産 以外 計			7,120,000		6,721,280	199,360	6,521,920	598,080
	期中 除却・売却資産 計								
	構築物 計			7,120,000		6,721,280	199,360	6,521,920	598,080
	期中 除却・売却資産 以外 計			7,120,000		6,721,280	199,360	6,521,920	598,080
	期中 除却・売却資産 計								
	合計			7,120,000		6,721,280	199,360	6,521,920	598,080

特別会計/地方協議会補助・地方連盟登山学校補助 2024年

ブロック	適用	地方協議会雪崩講習会	地方協議会安全対策講習会	地方登山学校・講習会補助					実施内容
				会員数	予算	送金日	補助金額		
北海道	道央	北海道30万円他15万円 11/28 ¥300,000 第30回 北海道雪崩講習会	10～20万円 11/28 ¥100,000 道央地区連盟救助隊2024年 度春季訓練・冬季訓練	707	150,000	11/28	150,000	第53回北海道登山研究集会 開催	
	道北			32	80,000	11/28	80,000	第53回北海道登山研究集会 開催	
	道東			83	80,000	11/28	80,000	第53回北海道登山研究集会 開催	
奥羽	青森県	5/9 ¥100,000 岩手県連盟雪崩講習会2022 5/9 ¥50,000 岩手県連盟安全対策講習会 12/20 ¥50,000 青森県連盟雪崩講習会 12/20 ¥50,000 青森県連盟救助隊交流会		170	100,000	12/25	100,000	第21回登山教室	
	岩手県			242	100,000				
	秋田県			0	80,000				
東北	山形県	2/1 ¥150,000 東北雪崩講習会2024 11/28 ¥150,000 東北雪崩講習会2025	7/3 ¥100,000 沢救助搬出技術研修会、クライ ミングレスキュー技術研修会、ク ライミング技術、雪山搬出技術研 修会	31	80,000				
	宮城県			135	100,000	5/9	100,000	初めての人のためのクライミング教室、初級沢登り教室、入門冬山登山学校	
	福島県			83	80,000	11/28	80,000	岩登り講習会、雪山教室、沢登り講習会	
関東	群馬県	11/28 ¥150,000 第32回関東雪崩講習会		324	120,000	7/3	120,000	ロープワーク、地図読、遭難防止講習会	
	栃木県			338	120,000	12/20	120,000	岩の登り下り練習会、アルパインクライミング講習会	
	茨城県			124	100,000	12/20	100,000	安全登山教室	
	埼玉県			590	120,000	11/28	120,000	登山学校、各専門委員会講習会	
	東京都			2,351	200,000	12/20	200,000	2024年度「ハイキングリーダー」「クライミングリード」	
	千葉県			637	150,000	11/28	150,000	岩山訓練、初級クライミング講習会、登山講習会、事故防止経験交流集会	
	神奈川県			508	120,000	11/28	120,000	安全登山、気象、渡渉、読図、岩トレ基礎講習会	
	山梨県			80	80,000	5/9 8/30	80,000	転倒防止研究会、登山講座「なくそう！クマ遭難」	
北信越	新潟県	12/27 ¥150,000 第27回 北陸雪崩講習会		230	100,000	10/23	100,000	安全登山教室	
	富山県			102	100,000	7/3	100,000	労山県連登山セミナー2024	
	石川県			267	100,000	9/3	15,000	2024年度 ステップアップ講習会	
	福井県			75	80,000	7/3	80,000	無雪期登山講習会	
	長野県			259	100,000	11/28	100,000	初級岩登り講習会、初級沢登り講習会等	
東海	静岡県	11/28 ¥250,000 第24回東海ブロック雪崩講習会		341	120,000	7/3	120,000	安全登山講習会、クライミング講習会	
	愛知県			861	150,000	11/28	150,000	第56期登山学校、雪山安全講習会	
	岐阜県			287	100,000	12/25	100,000	無雪期搬出訓練、安全登山講演会、雪山歩行技術講習会、積雪期搬出訓練	
	三重県			4	80,000				
近畿	滋賀県	12/20 ¥150,000 第30回近畿ブロック雪崩 事故を防ぐための講習会	12/20 ¥180,000 第43回搬出技術講習会	177	100,000	7/3	100,000	安全登山講習会	
	京都府			922	150,000	11/28	150,000	各種教室・講座	
	奈良県			223	100,000	5/9	100,000	テーピング講習会、広域捜索訓練、ハイカーのための搬出講習会、山筋講習会	
	和歌山県			322	120,000	12/20	120,000	50周年記念講演会(いつまでも安全に山に登るために必要なこと)	
	大阪府			935	150,000	12/20	150,000	ハイキングセミナー、山の教室、初級・中級登山学校、岩登り体験教室他	
	兵庫県			2,014	200,000	12/20	200,000	山での応急手当、女性のための山登り講座、キネシオテープ教室	
中国	鳥取県	12/20 ¥150,000 第33回中国ブロック雪崩 事故を防ぐための講習会	未払い ¥120,000 安全対策講習会(大山)	4	80,000				
	島根県			156	100,000	9/3	100,000	安全対策講習会	
	岡山県			854	150,000	12/20	150,000	2024年度安全登山講習	
	広島県			212	100,000	4/12	100,000	第5回初級登山学校	
	山口県			87	80,000	11/28	80,000	安全登山講座	
四国	香川県			265	100,000	7/3	100,000	登山学校、登山講習会	
	徳島県			224	100,000	12/20	100,000	県民登山教室、まさかのときの対処法研修、岩登り教室、冬山登山教室	
	高知県			94	80,000				
	愛媛県			32	80,000	12/20	40,000	安全登山講習会他	
九州	福岡県			682	150,000	11/28	50,000	登山学校 大山の雪崩事故から学ぶ講習会	
	佐賀県			67	80,000	12/26	80,000	「雪山訓練」「遭難救助訓練」「クライミング講習」他	
	長崎県			235	100,000	12/26	100,000	沢登り講習会、岩場歩行訓練、雪山講習会、安全登山講習会他	
	熊本県			61	80,000				
	大分県			52	80,000				
	宮崎県			39	80,000				
	鹿児島県			74	80,000	11/28	80,000	登山学校、安全対策講習会	
	沖縄県			24	80,000				
総合計		1,500,000	700,000				4,165,000	※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック ※2 ブロック安全対策講習会補助:18万円×2ブロック(4000～5000人 未満)+12万円×3ブロック(1000～2000人)、10万円×5ブロック(1000 人未満)	
予算額		1,650,000	1,220,000		5,210,000			※3 20万円×2地方連盟(1000人以上)+15万円×7地方連盟(600人 以上～1000人未満)+12万円×6地方連盟(300人～600人未満)+10 万円×16地方連盟(100人～300人未満)+8万円×18地方連盟(100人未 満)	
%		90.1	57.3				79.9		

会計監査報告書

2024 年度（自 2024 年 1 月 1 日 至 2024 年 12 月 31 日）日本勤労者山岳連盟の監査を、
2025 年 1 月 29 日に当該全国連盟事務所内において行った結果、下記決算についてすべて
公正妥当であり、適正に処理がなされていることを認めます。

記

1 一般会計

2 特別会計

3 機関誌会計

4 労山基金会計

2025 年 1 月 29 日

日本勤労者山岳連盟

監事

田村 廣史



渡辺 三男



2025 年度予算案編成方針

財政部

<一般会計>

2025 年度も、全国の会員数が 536 団体 16,232 人と、前年より加盟団体数で 20 団体、会員数で 384 人の減少となった。連盟費では年間で約 67 万円の減少が見込まれる。

また、(財) 山岳基金が立ち上がり、労山事務所の土地・建物をなど不動産が移管され、有価証券などの資産も順次、移管が進められている。新しくスタートした機関誌＝JWAF journal と季刊「登山時報」も順調に発行が続けられている。

各項目については、前年実績および活動計画に基づき、算定した。

また、全国連盟の小池・事務局長退職が予定され、替わって新しい職員が採用されるため、職員関係費にやや減少が見込まれる。他方で、秋に予定される第 19 回全国登山研究集会（全登研）を一般会計で計上し、2025 年度末に有効期限を迎える労山会員証の更新に必要な金額も計上した。

あわせて、労山事務所の建物を保全するための新しい枠組みを策定した（後述）

<安全対策基金>

安全対策基金会計も、各部署からの必要額を見込んで、例年通り算定した。

ただ、前年（2023 年度）からの繰越金が 442 万円だったのに対して、2024 年度の繰越金は 331 万円と 111 万円減少した。安全対策基金の予算は、結果として全額が支出されない場合もあるが、規定上必要な額を計上し、収入に前年からの繰越金を考慮に入れて編成している。このため、2025 年度予算では、各項目を精査して切り詰めたうえで、労山基金払込金からの繰入額を目いっぱい（労山基金払込金額の 20%が上限）の 1170 万円と、2024 年度に比べて 70 万円増額して、予算編成した。

●労山事務所の保全に向けての考え方

現在の新宿区・新小川町にある労山・全国連盟事務所は、労山基金の一部を有価証券等で保有するのではなく、不動産に形態を変えて保有するという考えで、2006 年 6 月に新築したものである。建物建設に要した金額は 6,159 万円であった。その際に、この金額を 30 年かけて積み立てる（減価償却費）計画を作り、毎年、一般会計から 221 万円余を積み立てておた。2023 年度末で、その積立金総額は 3658 万円余となっており、最終目標金額まで、あと 2501 万円となっている。

しかし、現在、労山事務所はすでに(財) 山岳基金に移管され、税理士事務所によると、その資産価値の見積もりは 652 万円余とされ、それを 32 年償却で年約 20 万円の減価償却を行うことになっている。しかしこれでは、(財) 山岳基金での減価償却分の積立が完了し

でも資金は 3658 万+652 万=4310 万円にしかならず、元の 6159 万円にはほど遠い。このままでは、かつての労山会員が積み立てた資金を食いつぶすことになる。したがって、今後も当初の減価償却費 221 万円と、(財) 山岳基金での減価償却費 19 万円の差額 202 万円を毎年積み立てることが必要である。

これについては、2025 年度は一般会計から 100 万円を「事務所改築引当金支出」として (財) 山岳基金に繰り入れ、(財) 山岳基金会計での繰越金のうち 100 万円と合わせて、口座に積み立てることとする。

また、将来、事務所を建て替える際には、仮事務所への移転や、書籍などの保管倉庫を借りる必要がある。現事務所への 2006 年移転時には、かかった移転経費が 1223 万円で、これを一般会計と基金会計で折半し、さらに一般会計分では、負担分 611 万円余を 10 年半で分割して毎年 57 万円を繰り延べで負担した。

今度、事務所の改築を行なう際には、移転費用だけでなく、一時的な仮事務所も必要となる。一方、全国の労山会員数減少はこれからも続くと思われる。このため、改築にかかわるし諸経費をどうやって確保するかが大問題となる。幸い数年前のコロナ流行時に、活動縮小に伴って余裕のできた経費を、「財政安定引当金」として 900 万円、積み立ててある。これを今後も取り崩すことなく、将来に見込まれる事務所改築・関連費用の財源にあてていきたい。

2025年度 一般会計予算案

2025年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	増減	備考
1	連盟費収入	27,638,760	26,967,720	△ 671,040	536団体、16232名
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,585,000	2,580,000	△ 5,000	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	労山基金より 100,000円×12ヶ月
	労山基金事務消費費	600,000	600,000	0	労山基金より 50,000円×12ヶ月
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	都連盟より 55,000円×12ヶ月
	会議室分担金	125,000	120,000	△ 5,000	労山団体1回3,000円
4	カレンダー・テキスト収入	2,779,530	2,680,000	△ 99,530	
	カレンダー・連盟	1,642,900	1,600,000	△ 42,900	一部700+送料等
	カレンダー一般	61,766	50,000	△ 11,766	一部1,000+送料等
	ハイキングABC	333,864	330,000	△ 3,864	一部300円、第5版発行
	セカンドステップ	344,300	340,000	△ 4,300	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	33,350	30,000	△ 3,350	一部200円
	バッジ・腕章	0	0	0	バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	131,150	100,000	△ 31,150	各種・労山発行の書籍・その他
	登山時報	232,200	230,000	△ 2,200	
5	雑収入	10,458	0	△ 10,458	
6	退職給与引当金収入	350,000	350,000	0	労山基金より35万円×1名分
7	特定預金取崩収入	34,044	0	△ 34,044	
	退職給与引当金取崩収入	0	0	0	
8	機関紙会計繰越収入	34,044	0	△ 34,044	機関誌会計閉鎖
当期収入合計(A)		35,597,792	34,777,720	△ 820,072	
前期繰越収支差額		6,796,736	6,894,375	97,639	
収入合計(B)		42,394,528	41,672,095	△ 722,433	

II 支出の部

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	増減	備考
1	会議費	3,497,286	3,020,000	△ 477,286	
	総会	3,475,456	0	△ 3,475,456	
	評議会	0	3,000,000	3,000,000	2023評議会費用を参考に、値上がりも見込む
	理事会	21,830	20,000	△ 1,830	拡大理事会1回
2	部局・委員会活動費	1,285,616	2,160,000	874,384	
	ハイキング委員会	207,964	200,000	△ 7,964	委員交通費、通信費
	海外委員会	30,104	200,000	169,896	
	遭難対策部	0	20,000	20,000	
	青年学生委員会	0	0	0	
	女性委員会	0	0	0	
	自然保護委員会	237,817	200,000	△ 37,817	委員交通費、自然保護憲章発送費用
	山筋ゴーゴー体操推進	968	90,000	89,032	委員交通費、通信費、会議費、合宿費用
	メディア局	0	50,000	50,000	
	組織部	132,813	250,000	117,187	
	国際関係	234,950	600,000	365,050	UAA入年会費、総会
	趣意書検討委員会	0	100,000	100,000	項目新設
	地方強化会議	441,000	450,000	9,000	地方連盟総会、会議参加交通費と宿泊費
3	渉外費・分担金	321,308	350,000	28,692	新日本スポーツ連盟賛助金30万円、その他

II 支出の部

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	増減	備考
4	全国集会関係費	1,693,360	1,200,000	△ 493,360	
	ハイキング交流集会	342,581	0	△ 342,581	開催予定なし
	若い層の集会	376,938	0	△ 376,938	開催予定なし
	自然保護講座	487,093	400,000	△ 87,093	自然保護集会と講座を一本化
	海外山行交流集会	196,957	0	△ 196,957	ZOOMで開催予定
	平和と登山全国集会	289,791	0	△ 289,791	開催予定なし
	第21回全国登山研究集会	0	800,000	800,000	10月 大阪
5	機関担当者会議	0	0	0	
	組織担当者会議	0	0	0	開催せず
	自然保護担当者会議	0	0	0	開催予定なし
6	メディア関係費	3,071,351	4,100,000	1,028,649	
	JWAF journal	970,198	1,000,000	29,802	
	季刊・登山時報	2,101,153	2,100,000	△ 1,153	
	ホームページ	0	1,000,000	1,000,000	HP全面リニューアル
7	事務局関係費	5,997,361	8,150,000	2,152,639	
	水道光熱費	455,299	500,000	44,701	水道代・電気代
	事務機リース料	2,157,949	2,200,000	42,051	コピー印刷複合機×2台、パソコン、電話、LED一式
	事務消耗費	411,369	450,000	38,631	・印刷用紙・インク・トナー・文具等
	事務印刷費	456,927	600,000	143,073	封筒・複合機カンター料金・コピー紙
	通信費	280,011	350,000	69,989	郵便料金改定分を見込む
	電話料	178,057	200,000	21,943	固定電話×1、FAX
	資料費	161,214	200,000	38,786	新聞・書籍・資料購入・NHK受信料
	ホームページ・PC関係費	1,081,075	1,150,000	68,925	プロバイダー費、ホームページ更新費用、サーバリニューアル
	顧問料	583,000	600,000	17,000	税理士顧問料、社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	167,645	200,000	32,355	ゴミ処理券、電柱広告
	会員証関係費	64,815	1,700,000	1,635,185	全会員の会員証を一斉更新
8	事務所関係費	427,678	1,500,000	1,072,322	
	固定資産税額分寄付	0	0	0	一般財団法人山岳基金へ、土地・建物分
	建物保険料・警備費	427,678	500,000	72,322	セコム警備費・火災保険料
	事務所改築引当金寄付	0	1,000,000	1,000,000	(財)山岳基金に繰り入れ
9	役員行動費	1,656,891	2,000,000	343,109	会長・副会長・理事交通費・宿泊費
10	職員関係費	14,393,296	13,650,000	△ 743,296	
	職員給与	12,088,399	11,000,000	△ 1,088,399	職員2名(うち1名は交代)
	法定福利費	2,052,471	2,170,000	117,529	社会保険事業主負担、労働保険料
	福利厚生費	252,426	480,000	227,574	通勤定期、健康診断
11	カレンダー・テキスト費	2,664,790	2,150,000	△ 514,790	
	カレンダー	1,953,379	2,000,000	46,621	制作費、送料
	ハイキングABC	41,966	50,000	8,034	送料値上げを見込む
	セカンドステップ	636,287	60,000	△ 576,287	送料値上げを見込む
	山筋ゴーゴー体操	5,398	10,000	4,602	送料値上げを見込む
	バッジ・腕章	0	0	0	腕章2種
	その他書籍購入費	27,760	30,000	2,240	書籍購入等
12	特定預金支出	0	2,100,000	2,100,000	
	退職金引当積立金支出	0	2,100,000	2,100,000	35万円×3名×2年分
	財政安定積立金支出	0	0	0	
13	予備費	491,216	500,000	8,784	諸雑費
当期支出合計(C)		35,500,153	40,880,000	5,379,847	
当期収支差額(A)-(C)		97,639	△ 6,102,280	△ 6,199,919	
次期繰越収支差額(B)-(C)		6,894,375	792,095	△ 6,102,280	

2025年度 特別会計予算案

2025年1月1日～12月31日

《安全対策基金》

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	増減	備考
1	労山基金振替収入	11,000,000	11,700,000	△ 700,000	基金払込金の20%ただし1,500万円を限度とする。(定款第4章11条の3)
2	雑収入	260	0	260	預金利息
3	ココヘリ繰入金	875,963	870,000	5,963	ココヘリより
当期収入合計(A)		11,876,223	12,570,000	△ 693,777	
前期繰越収支差額		4,420,865	3,313,238	1,107,627	
収入合計(B)		16,297,088	15,883,238	413,850	

II 支出の部

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	増減	備考
1	全国雪崩講習会	1,192,968	1,300,000	107,032	
2	技術教育関係費	1,217,915	2,220,000	1,002,085	
	役員・講師派遣費用	639,451	700,000	60,549	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	16,060	20,000	3,940	
	全国ハイキングリーダー学校	0	300,000	300,000	6月 長野県
	学習資料作成費	0	0	0	
	若手クライミング講習会	237,142	400,000	162,858	
	山筋・筋トレ講習関係	325,262	800,000	474,738	
3	救助隊関係費	0	900,000	900,000	
	全国救助技術交流集会	0	800,000	800,000	
	全国救助技術研修会	0	0	0	開催予定なし
	測定器他維持管理費	0	100,000	100,000	兵庫・百丈やぐら
4	遭難対策関係費	1,973,302	1,270,000	△ 703,302	
	遭難対策担当者会議	835,544	0	△ 835,544	開催予定なし
	全国山岳遭難対策協議会	4,050	10,000	5,950	
	S&R研究機構	200,000	200,000	0	事故調査分担金、研究支援金
	各学会参加費	5,000	20,000	15,000	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	605,401	300,000	△ 305,401	
	器材購入費	20,240	100,000	79,760	
	岩場グレンデ環境整備費	74,000	300,000	226,000	
	登山道整備助成金	229,067	300,000	70,933	
	ココヘリ補助金労山搜索隊	0	40,000	40,000	会議・研修費
5	地方協議会補助費	2,300,000	2,870,000	570,000	
	ブロック雪崩講習会補助	1,550,000	1,650,000	100,000	※1
	ブロック安全対策講習会補助	750,000	1,220,000	470,000	※2
6	地方連盟登山学校・講習会補助	4,165,000	5,150,000	985,000	※3
7	事務費	2,134,665	2,100,000	△ 34,665	振込手数料、アルバイト給与
8	予備費・雑費	0	79,528	79,528	
当期支出合計(C)		12,983,850	15,889,528	2,905,678	
当期収支差額(A)-(C)		△ 1,107,627	△ 3,319,528	△ 2,211,901	
次期繰越収支差額(B)-(C)		3,313,238	△ 6,290	△ 3,319,528	

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック安全対策講習会補助: 18万円×2ブロック(4000人以上)、12万円×3ブロック(1000人～2000人未満)、10万円×5ブロック(1000人未満)

※3 20万円×2地方連盟(1,000人以上) + 15万円×7地方連盟(600人以上～1,000人未満)

+ 12万円×6地方連盟(300人～600人未満) + 10万円×17地方連盟(100人～300人未満) + 8万円×16地方連盟(100人未満)

1. 基金加入者の要望や利益を考えて、引き続き制度の改善に取り組む。
2. 地方連盟単位に、会・クラブ基金担当者へ説明会を開催する。開催方法は、Zoom を用いたオンライン会議及びリアル対面方式によるハイブリッド開催とする。
年一回、全国単位で会・クラブ基金担当者へのオンライン説明会を開催する。
3. ココヘリと共同した労山基金の加入を促進していく。
4. 短期掛け捨て保険については現行制度を維持していく。
同じく、行事主催者賠償責任保険も引き続き現行制度を維持し、加入に伴う掛け金は全額労山基金が負担する（無料）。
個人賠償責任保険を必要とする会員にはココヘリへの加入促進、または自身の生命保険や自動車保険に付属する保険で対応するように訴えていく。
5. 一般財団法人山岳基金へ運営資金として1億1000万円を拠出（寄付）する。
なお、現在の債権償還による損失を被らないことを条件としてさらに運営資金を増額して移行を早期に完了させる。
6. 前年度の引当金は一般財団法人山岳基金に組み込まずに、当該年度の一般会計及び安全対策基金に繰り入れることとし、その細目は総会で決定する。
7. 共済を考える懇話会などの共同活動を進める。また、山岳共済や民間保険などの情報について広く収集し、労山基金の優位性につなげていく。

2025年 労山基金会計予算書

2025年1月1日～12月31日

I 収入の部

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	差異	比率	備考
1	個人寄付金	58,641,365	56,014,100	△ 2,627,265	96%	
	継続	53,670,365	52,833,000	△ 837,365	98%	2024年末、登録口数より算出
	新規	3,870,600	2,755,600	△ 1,115,000	71%	
	増し口(追加)	604,000	185,000	△ 419,000	31%	
	移籍	496,400	240,500	△ 255,900	48%	
2	団体寄付金	812,000	824,000	12,000	101%	
3	受取利息	872,628	600,000	△ 272,628	69%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
4	減価償却引当金収入	0	0	0	-	
5	その他収入	0	0	0	-	
6	安全対策引当金繰出収入	77,860,617	113,024,278	35,163,661	-	
	財団法人山岳基金拠出金	77,860,617	110,000,000	32,139,383	-	
	労山基金運営費用	0	3,024,278	3,024,278	-	
	当期収入合計	138,186,610	170,462,378	32,275,768	123%	
	前期繰越収支差額	41,939,200	6,075,142	35,864,058		

II 支出の部

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	差異	比率	備考
1	交付金	36,434,963	36,532,000	97,037	100%	
	交付金	36,403,353	36,500,000	96,647	100%	
	交付雑費	31,610	32,000	390	101%	交付金の払込手数料
2	行事主催者賠償責任保険	292,400	350,000	57,600	120%	
3	安全対策基金支出	11,000,000	11,700,000	700,000	106%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,561,230	1,508,300	△ 52,930	97%	地方連盟基金加入者数15,013名×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	7,033,651	9,200,000	2,166,349	131%	
	職員関係費	4,939,006	5,200,000	260,994	105%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	パート職員	2,094,645	4,000,000	1,905,355	191%	給与費・法定福利費・福利厚生費
8	事務経費	3,728,424	3,247,220	△ 481,204	87%	
	事務入力委託費	810,073	0		-	
	パソコン器材・事務用品費	520,917	550,000	29,083	106%	労山システム追加・修正、公益法人会計ソフト
	通信費	469,006	600,000	130,994	128%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	258,752	450,000	191,248	174%	基金実務担当者講習会・地方連盟説明会交通費、保険費法PT
	印刷・宣伝費	221,716	250,000	28,284	113%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	264,000	0	100%	労山システムメンテナンス契約@22,000円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,500円/月×12ヶ月+決算処理110,000円
	弁護士顧問料	736,440	668,220	△ 68,220	91%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	7,520	25,000	17,480	332%	振り込み手数料他
9	減価償却引当預金支出	0	0	0	-	事務所減価償却額を定期預金へ
11	財団法人拠出金(寄付)	110,000,000	110,000,000	0	-	一般財団法人山岳基金への拠出(寄付)
12	安全対策引当金繰入支出	0	0	0	-	
	当期支出合計	174,950,668	176,537,520	2,486,852		
	当期収支差額	△ 35,864,058	△ 6,075,142			
	次期繰越収支差額	6,075,142	0			

2025年 一般財団法人山岳基金予算書

2025年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	差異	比率	備考
1	受取利息	2,992,204	3,000,000	△ 7,796	100%	労山からの寄付金(固定資産税相当額)
2	受取寄付金	110,000,000	110,000,000	0	100%	労山基金会計より
3	建物積立繰入収入	0	1,000,000	△ 1,000,000		一般会計より
4	その他の収入	128,300	0	128,300	0%	東京都税還付金
当期収入合計(A)		113,120,504	114,000,000	△ 879,496	101%	
前期繰越収支差額		△ 1,938,980	△ 1,938,980	0		
収入合計(B)		111,181,524	109,768,084	1,413,440		

II 支出の部

科目	補助科目	2024年決算	2025年予算	予算残	執行率	備考
1	固定資産税	934,600	950,000	△ 15,400	102%	土地・建物
	東京都税	70,000	64,000	6,000	91%	
2	建物減価償却積立	398,720	199,360	199,360	50%	建物1年分
2	建物再建積立	0	2,000,000	△ 2,000,000		
4	事務費	10,120	5,000	5,120	49%	振込手数料等
当期支出合計(C)		1,413,440	3,218,360	△ 1,804,920		
当期収支差額(A)-(C)		111,707,064	110,781,640			
次期繰越収支差額(B)-(C)		109,768,084	106,549,724			

第36期上期(2024年)連盟費一覽表

連盟費	団体数	加入人数	2025年度・連盟費		合 計	1期 納期 3/31	2期 納期 6/30	3期 納期 9/30	4期 納期11/30
			一律分担金	比例分担金					
道 央	19	734	68,400	1,145,040	1,213,440	303,360	303,360	303,360	303,360
道 北	2	31	7,200	48,360	55,560	13,890	13,890	13,890	13,890
道 東	3	89	10,800	138,840	149,640	37,410	37,410	37,410	37,410
青森県	4	152	14,400	237,120	251,520	62,880	62,880	62,880	62,880
岩手県	7	225	25,200	351,000	376,200	94,050	94,050	94,050	94,050
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	2	27	7,200	42,120	49,320	12,330	12,330	12,330	12,330
宮城県	5	114	18,000	177,840	195,840	48,960	48,960	48,960	48,960
福島県	6	88	21,600	137,280	158,880	39,720	39,720	39,720	39,720
群馬県	12	348	43,200	542,880	586,080	146,520	146,520	146,520	146,520
栃木県	12	360	43,200	561,600	604,800	151,200	151,200	151,200	151,200
茨城県	8	120	28,800	187,200	216,000	54,000	54,000	54,000	54,000
埼玉県	30	564	108,000	879,840	987,840	246,960	246,960	246,960	246,960
東京都	100	2,295	360,000	3,424,800	3,784,800	946,200	946,200	946,200	946,200
千葉県	15	632	54,000	985,920	1,039,920	259,980	259,980	259,980	259,980
神奈川県	19	508	68,400	792,480	860,880	215,220	215,220	215,220	215,220
山梨県	2	108	7,200	168,480	175,680	43,920	43,920	43,920	43,920
新潟県	9	213	32,400	332,280	364,680	91,170	91,170	91,170	91,170
富山県	3	85	10,800	132,600	143,400	35,850	35,850	35,850	35,850
石川県	6	254	21,600	396,240	417,840	104,460	104,460	104,460	104,460
福井県	4	63	14,400	98,280	112,680	28,170	28,170	28,170	28,170
長野県	10	252	36,000	393,120	429,120	107,280	107,280	107,280	107,280
静岡県	13	293	46,800	457,080	503,880	125,970	125,970	125,970	125,970
愛知県	20	809	72,000	1,262,040	1,334,040	333,510	333,510	333,510	333,510
岐阜県	7	266	25,200	414,960	440,160	110,040	110,040	110,040	110,040
三重県	3	4	10,800	6,240	17,040	4,260	4,260	4,260	4,260
滋賀県	5	174	18,000	271,440	289,440	72,360	72,360	72,360	72,360
京都府	18	933	64,800	1,455,480	1,520,280	380,070	380,070	380,070	380,070
奈良県	6	216	21,600	336,960	358,560	89,640	89,640	89,640	89,640
和歌山県	11	322	39,600	502,320	541,920	135,480	135,480	135,480	135,480
大阪府	45	933	162,000	1,455,480	1,617,480	404,370	404,370	404,370	404,370
兵庫県	39	1,954	140,400	2,933,760	3,074,160	768,540	768,540	768,540	768,540
鳥取県	1	4	3,600	6,240	9,840	2,460	2,460	2,460	2,460
島根県	4	142	14,400	221,520	235,920	58,980	58,980	58,980	58,980
岡山県	8	844	28,800	1,316,640	1,345,440	336,360	336,360	336,360	336,360
広島県	9	205	32,400	319,800	352,200	88,050	88,050	88,050	88,050
山口県	2	80	7,200	124,800	132,000	33,000	33,000	33,000	33,000
香川県	8	274	28,800	427,440	456,240	114,060	114,060	114,060	114,060
徳島県	7	223	25,200	347,880	373,080	93,270	93,270	93,270	93,270
高知県	3	95	10,800	148,200	159,000	39,750	39,750	39,750	39,750
愛媛県	3	32	10,800	49,920	60,720	15,180	15,180	15,180	15,180
福岡県	26	646	93,600	1,007,760	1,101,360	275,340	275,340	275,340	275,340
佐賀県	2	65	7,200	101,400	108,600	27,150	27,150	27,150	27,150
長崎県	8	234	28,800	365,040	393,840	98,460	98,460	98,460	98,460
熊本県	3	39	10,800	60,840	71,640	17,910	17,910	17,910	17,910
大分県	2	50	7,200	78,000	85,200	21,300	21,300	21,300	21,300
宮崎県	2	39	7,200	60,840	68,040	17,010	17,010	17,010	17,010
鹿児島県	2	76	7,200	118,560	125,760	31,440	31,440	31,440	31,440
沖縄県	1	18	3,600	28,080	31,680	7,920	7,920	7,920	7,920
合 計	536	16,232	1,929,600	25,052,040	26,981,640	6,745,410	6,745,410	6,745,410	6,745,410

都道府県連盟別組織推移表（2024年11月末日数）

年度 都道府県	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
										団体	会員数
全体	19,985	19,528	19,029	18,802	18,238	17,550	17,106	16,814	16,616	536	16,232
北海道	806	807	822	821	829	806	825	837	822	24	854
青森県	187	165	181	175	160	150	162	163	170	4	152
岩手県	300	290	285	280	265	257	252	244	242	7	225
秋田県	5	5	5	5	2	2	2	0	0	0	0
山形県	17	17	45	35	35	34	31	33	31	2	27
宮城県	113	122	122	122	116	131	135	136	135	5	114
福島県	133	131	130	133	106	113	100	91	83	6	88
群馬県	406	403	394	408	387	364	336	323	324	12	348
栃木県	471	474	470	457	440	391	372	370	338	12	360
茨城県	206	190	179	176	166	149	140	130	124	8	120
埼玉県	661	647	632	621	608	615	620	589	590	30	564
東京都	2,761	2,700	2,613	2,588	2,547	2,466	2,393	2,366	2,351	100	2,295
千葉県	768	756	754	696	694	663	657	628	637	15	632
神奈川県	656	654	635	623	521	507	520	509	508	19	508
山梨県	74	72	69	70	68	82	75	80	80	2	108
新潟県	269	267	277	284	275	254	249	228	230	9	213
富山県	136	128	135	138	123	121	124	113	102	3	85
石川県	295	261	270	275	275	259	255	263	267	6	254
福井県	58	62	76	69	72	68	68	70	75	4	63
長野県	407	373	358	339	313	288	255	253	259	10	252
静岡県	640	570	566	515	445	422	378	375	341	13	293
愛知県	1,175	1,128	1,019	996	976	913	893	870	861	20	809
岐阜県	295	294	298	295	288	278	284	294	287	7	266
三重県	10	10	2	2	2	2	2	2	4	3	4
滋賀県	230	220	216	209	207	171	164	166	177	5	174
京都府	966	1,002	1,019	1,000	954	938	927	914	922	18	933
奈良県	283	275	233	233	224	238	225	222	223	6	216
和歌山県	409	395	366	347	352	350	347	335	322	11	322
大阪府	1,411	1,348	1,275	1,252	1,215	1,140	1,059	973	935	45	933
兵庫県	2,118	2,124	2,043	2,067	2,025	1,967	1,923	1,991	2,014	39	1,954
鳥取県	33	28	24	34	32	32	4	4	4	1	4
島根県	211	213	208	203	196	199	189	156	156	4	142
岡山県	791	806	805	844	867	851	815	851	854	8	844
広島県	254	264	246	255	270	256	258	261	212	9	205
山口県	64	57	74	78	79	80	84	81	87	2	80
香川県	261	255	252	252	261	266	252	261	265	8	274
徳島県	247	225	221	211	217	211	219	213	224	7	223
高知県	140	137	117	128	117	103	98	97	94	3	95
愛媛県	63	65	66	66	57	49	49	30	32	3	32
福岡県	928	873	856	829	807	741	753	730	682	26	646
佐賀県	85	80	78	80	80	80	70	70	67	2	65
長崎県	246	248	261	280	270	251	252	240	235	8	234
熊本県	89	88	85	83	81	79	82	62	61	3	39
大分県	40	48	54	48	42	47	51	51	52	2	50
宮崎県	60	57	62	59	54	49	47	41	39	2	39
鹿児島県	124	123	109	100	100	93	90	78	74	2	76
沖縄県	90	71	22	21	18	24	20	20	24	1	18

2023年、2024年組織数比較表

	2023	2024		増 減		2023	2024		増 減
	会員数	団体数	会員数	増減数		会員数	団体数	会員数	増減数
合 計	16,616	537	16,232	-384	岐阜県	287	7	266	-21
北海道央	707	19	734	27	三重県	4	3	4	0
北海道北	32	2	31	-1	滋賀県	177	5	174	-3
北海道東	83	3	89	6	京都府	922	18	933	11
青森県	170	4	152	-18	奈良県	223	6	216	-7
岩手県	242	7	225	-17	和歌山県	322	11	322	0
秋田県	0	0	0	0	大阪府	935	45	933	-2
山形県	31	2	27	-4	兵庫県	2,014	39	1,954	-60
宮城県	135	5	114	-21	鳥取県	4	1	4	0
福島県	83	6	88	5	島根県	156	4	142	-14
群馬県	324	12	348	24	岡山県	854	8	844	-10
栃木県	338	12	360	22	広島県	212	9	205	-7
茨城県	124	8	120	-4	山口県	87	2	80	-7
埼玉県	590	30	564	-26	香川県	265	8	274	9
東京都	2,351	100	2,295	-56	徳島県	224	7	223	-1
千葉県	637	15	632	-5	高知県	94	3	95	1
神奈川県	508	19	508	0	愛媛県	32	3	32	0
山梨県	80	2	108	28	福岡県	682	26	646	-36
新潟県	230	9	214	-16	佐賀県	67	2	65	-2
富山県	102	3	85	-17	長崎県	235	8	234	-1
石川県	267	6	254	-13	熊本県	61	3	39	-22
福井県	75	4	62	-13	大分県	52	2	50	-2
長野県	259	10	252	-7	宮崎県	39	2	39	0
静岡県	341	13	293	-48	鹿児島県	74	2	76	2
愛知県	861	21	809	-52	沖縄県	24	1	18	-6

会員数 100 人以上の会・クラブ一覧

連盟	団体名	人数	連盟	団体名	人数
道央	札幌中央勤労者山岳会	162	大阪	豊中勤労者山岳会	135
群馬	太田ハイキングクラブ	127	兵庫	神戸中央山の会	153
栃木	宇都宮ハイキングクラブ	160	兵庫	西宮山岳会	150
東京	ぶなの会	148	兵庫	西宮明昭山の会	300
東京	町田グラウス山の会	141	兵庫	摩耶山友会	174
千葉	ちば山の会	104	兵庫	武庫勤労者山岳会	100
千葉	千葉こまくさハイキングクラブ	137	岡山	倉敷ハイキング倶楽部	304
神奈川	藤沢山の会	101	岡山	山陽カルチャーマウンテンクラブ	391
愛知	名古屋山岳同志会	101	徳島	徳島山と友の会	105
愛知	東三河山ぽ会	156	福岡	あだると山の会	128
京都	西山ハイキングクラブ	141	福岡	みどる山の会	119

2025年版労山カレンダー （2025/01/20）

販売（地方連盟・加盟団体扱い）

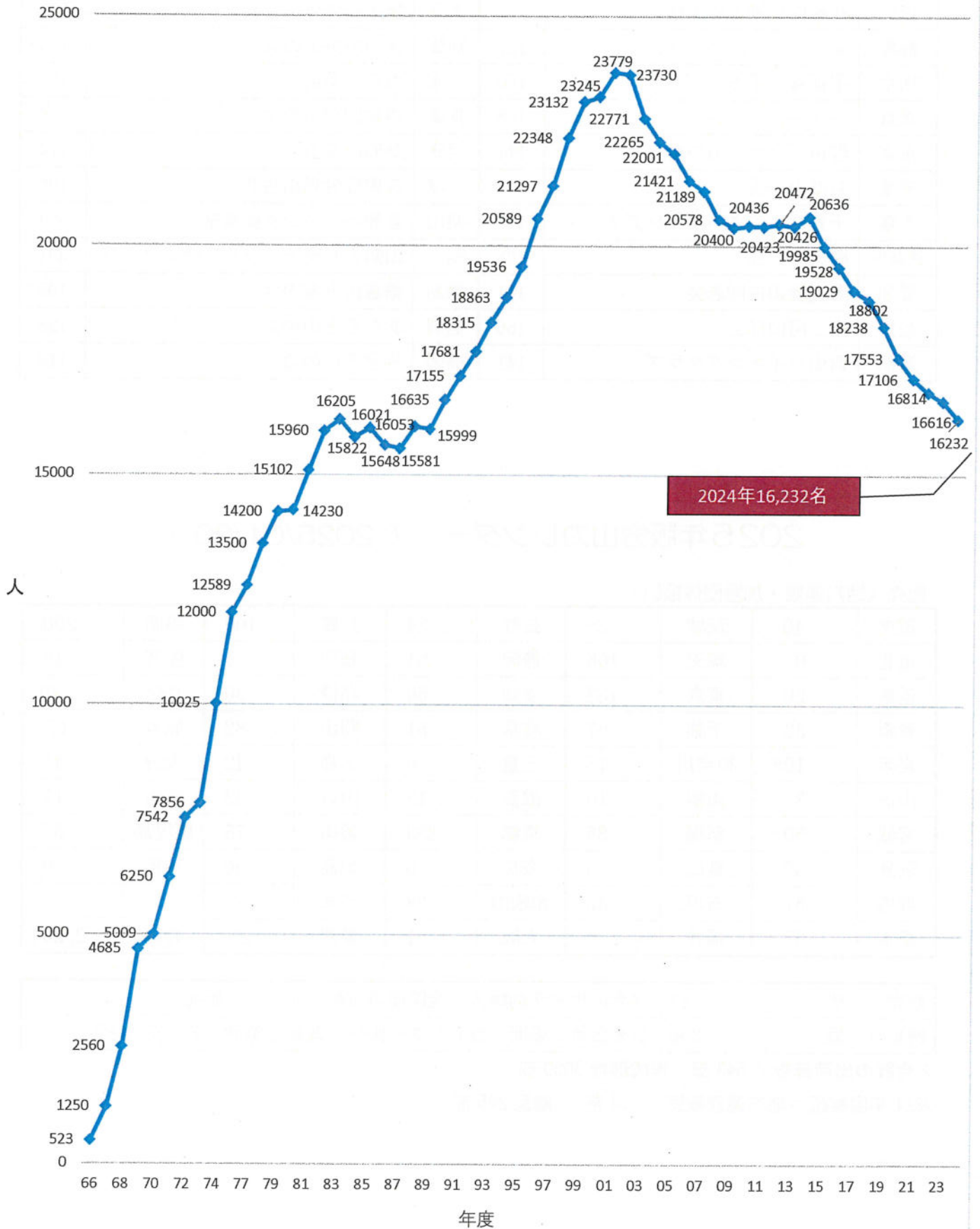
道央	40	茨城	28	長野	24	兵庫	100	福岡	200
道北	0	埼玉	106	静岡	64	鳥取	4	佐賀	15
道東	20	東京	183	愛知	60	島根	30	長崎	40
青森	33	千葉	67	岐阜	51	岡山	82	熊本	17
岩手	105	神奈川	15	三重	0	広島	42	大分	41
山形	3	山梨	10	滋賀	12	山口	33	宮崎	11
宮城	60	新潟	85	京都	233	香川	75	鹿児島	35
福島	32	富山	0	奈良	6	徳島	30	沖縄	10
群馬	67	石川	43	和歌山	28	高知	20		
栃木	57	福井	0	大阪	51	愛媛	26	合計	2,294

販売（一般）	43	写真採用者予約購入、全国連盟直販、イベント販売
贈呈（一般）	306	名誉会員・顧問、カレンダー製作（写真応募者 各1部など）

※合計の出荷部数 2,643 部。作成部数 3000 部。

※24 年度実績＝地方連盟販売 2,414 部、贈呈 285 部

労山会員数の推移



2024年度 第36期上期 (2024年1月以降)加盟団体一覧

加盟団体 2024年1月1日以降受付分

	受理番号	地方連盟	団体名	団体番号	創立年月日	加盟年月日	男性	女性	合計
1	212401	東京	リベロ山の会	120913	2024/02/01	2024/02/29	2	2	4
2	212402	静岡	清水勤労者山岳会CHC	210309	2024/02/20	2024/03/01	5	2	7
3	212403	栃木	山岳同人 野武士	090302	2022/05/01	2024/05/17	3	0	3
4	212404	茨城	茨城やまね会	100105	2024/06/01	2024/06/10	3	0	3
5	212405								
6	212406								
7	212407								
8	212408								
9	212409								
10	212410								
11	212411								
12	212412								
13	212413								
14	212414								
15	212415								
16	212416								
17	212417								
18	212418								
19	212419								
20	212420								

脱退・解散届け 第36期上期(2024年度)

受 理 番 号	地方連盟	団 体 名	加盟年月	脱退年月	会員数	脱 退 の 原 因 ・ 理 由
1 2 1 2 4 0 1	茨 城	笠間おちこち山の会	1972/12	2024/02/13	8	高齢化により会運営が難しく解散する。
2 2 1 2 4 0 2	富 山	迦山会		2024/03/07	3	コロナ禍で活動できず会員数が減ったため。
3 2 1 2 4 0 3	岡 山	玉野ハイキング同好会	1987/03	2024/03/07	4 3	高齢化と役員不足、財政面で困難なため。
4 2 1 2 4 0 4	埼 玉	山ぼうし	2019/02	2024/03/14	3	会員減少のため。
5 2 1 2 4 0 5	広 島	県北山の会	1993/04	2024/03/18	2 4	高齢化で活動について行けないため。
6 2 1 2 4 0 6	熊 本	人吉球磨ハイキングクラブ	2001/08	2024/05/17	1 8	高齢化。
7 2 1 2 4 0 7	東 京	痛恨	2013/03	2024/06/10	4	活動形態の変更によるもの。
8 2 1 2 4 0 8	兵 庫	地球クラブ	2001/04	2024/06/12	2	代表が長野県に移住したため。
9 2 1 2 4 0 9	滋 賀	シヤクナゲ選行クラブ	1995/02	2024/06/19	4	3名が足腰膝の故障で登山できないため。
10 2 1 2 4 1 0	福 岡	久留米山の会	1996/08	2024/10/16	1 1	会員の減少と高齢化で会運営が困難になった。
11 2 1 2 4 1 1	岩 手	宮古勤労者山岳会	1974/11	2024/11/08	5	会員の高齢化で活動ができなかったため。
12 2 1 2 4 1 2	埼 玉	パル・プランチ	2010/10	2024/12/12	2	仕事が忙しくなり脱退。
13 2 1 2 4 1 3	青 森	白神・十二湖ハイキング クラブ	2006/05	2024/12/20	6	高齢化による活動休止に伴う解散。
14 2 1 2 4 1 4	静 岡	清水勤労者山岳会CHC	2024/03	2024/12/26	5	清水勤労者山岳会に合流した。
15 2 1 2 4 1 5	埼 玉	川越ハイキングクラブ・ ピスターリ	1995/12	2024/12/26	3 2	役員の派遣が難しく。連盟費が負担になってき た。
16 2 1 2 4 1 6	神奈川	山ブキの会	2007/04	2024/12/26	8	高齢化で登山ができなくなってきた。
17 2 1 2 4 1 7	福 井	山っ子の会	2000/03	2024/12/26	7	山岳会の形態を維持できなくなったため。
18 2 1 2 4 1 8	東 京	あらかわ山の会	1966/02	2024/12/26	5	2024年11月20日をもって解散。
19 2 1 2 4 1 9						
20 2 1 2 4 2 0						

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労基基金 加入者数
	総計（団体数）			562	557	577			
	総計（会員数）			16,814	16,616	16,232	8,235	8,410	15,013
北海道・道央地区連盟	団体数			17	19	19			19
	小計 会員数			726	707	734	370	364	637
	小樽勤労者山岳会	66.01	011101	36	36	35	22	13	25
	札幌RC GROUPE DE ROCHER	92.04	011201	8	8	8	5	3	8
	札幌中央勤労者山岳会	76.07	011301	153	151	162	90	72	136
	札幌ピオレ山の会	76.08	011302	41	44	38	21	17	38
	札幌北稜クラブ	76.07	011303	40	45	40	30	10	1
	札幌山びこ山友会	81.01	011304	44	43	53	23	30	53
	札幌登攀倶楽部	83.06	011305	9	9	9	8	1	9
	山遊会 ル・レラ	13.03	011311	4	4	4	2	2	4
	さっぽろ山遊会	14.12	011312	55	48	53	18	35	50
	スマイル・マウンテン・クラブ		011313	56	49	52	32	20	50
	同人ラリーグラス	06.10	011402	11	11	12	0	12	13
	同人スング	16.02	011403	4	4	4	2	2	4
新規	地図とコンパスで歩く会	23	011404		2	2	1	1	1
	ハイキングクラブみどりの風	82.04	011601	38	29	34	9	25	33
	百松山岳会	85.12	011602	42	42	43	26	17	34
	ハイキングネットワークこだま倶楽部	90.12	011603	14	13	13	7	6	12
	函館山楽クラブ	97.06	011604	76	72	62	16	46	55
	バビシェ・マウンテン・クラブ	07.04	011605	95	85	98	51	47	98
新規	リベルデ	23	011901		12	12	7	5	13
北海道・道北地区連盟	団体数			2	2	2			2
	小計 会員数			27	32	31	19	12	18
	旭川勤労者山岳会	70.04	012101	23	28	27	16	11	15
	オホーツク山の会	05.06	012103	4	4	4	3	1	3
北海道・道東地区連盟	団体数			3	3	3			3
	小計 会員数			84	83	89	56	33	84
	帯広勤労者山岳会	71.11	013101	43	39	42	24	18	43
	釧路勤労者山岳会	68.12	013201	28	31	36	24	12	30
	北見勤労者山岳会	16.11	013203	13	13	11	8	3	11
青森県	団体数			5	5	4			4
	小計 会員数			163	170	152	79	73	133
	青森勤労者山岳会	71.02	020101	81	82	76	37	39	73
	青森ファミリーハイキングクラブ	83.12	020103	16	22	21	7	14	17
脱退	白神・十二湖ハイキングクラブ	06.05	020301	6	6	脱退			0
	八戸勤労者山岳会		020601	20	21	21	15	6	21
	弘前勤労者山岳会	72.06	020603	40	39	34	20	14	22
岩手県	団体数			9	8	7			7
	小計 会員数			244	242	225	93	132	163
脱退	一関勤労者山岳会	70.04	030101	3	脱退	脱退			0
	アウトドアを楽しむ会	98.06	030102	25	25	23	8	15	27
	いわて生協山の会	98.06	030103	14	14	13	3	10	15
	釜石勤労者山岳会	66.05	030201	33	35	30	15	15	9
	胆江勤労者山岳会	70.01	030401	26	23	28	14	14	16
	花巻山友会	75.09	030601	33	43	36	9	27	3
脱退	宮古勤労者山岳会	74.11	030701	5	5	脱退			0
	盛岡山友会	87.01	030702	85	82	80	36	44	82
	RAM	16.	030901	20	15	15	8	7	11
秋田県	団体数			0	0	0			0
	小計 会員数			0	0	0	0	0	
脱退	TC山ぶどう	13.03	040401	脱退	脱退	脱退			
山形県	団体数			2	2	2			2
	小計 会員数			33	31	27	20	7	10
	やまがた山歩会	96.07	050701	9	9	6	6	0	9
	Rousan鶴岡	17.04	050901	24	22	21	14	7	1
宮城県	団体数			5	5	5			4
	小計 会員数			136	135	114	70	44	132
	石巻山の会	70.08	060101	32	34	34	20	14	38
	同人すばる	86.02	060402	5	5	4	3	1	0
	古川どっほ山の会	79.07	060601	7	6	7	4	3	8
	朋友会	69.06	060602	80	80	56	36	20	72
	みやぎトレッキングクラブ	20.11	060701	12	10	13	7	6	14
福島県	団体数			6	6	6			5
	小計 会員数			91	83	88	58	30	81

加盟団体一覧表 (2024年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
	郡山勤労者山岳会	66.02	070201	46	31	35	26	9	32
	鹿島厚生病院山クラブ	10.12	070204	4	4	4	2	2	0
	相馬山歩会	96.09	070301	18	14	15	7	8	16
	福島勤労者山の会	70.06	070601	9	11	10	6	4	12
	フィエスタの谷	05.04	070605	12	21	22	16	6	19
	山クラブ ぶなの実	22.04	070801	2	2	2	1	1	2
群馬県	小計	団体数 会員数		12 323	12 324	12 348	162	186	12 347
	太田ハイキングクラブ	75.04	080105	111	118	127	49	78	125
	NJKクラブ高峰		080106	3	3	3	1	2	2
	桐生勤労者山岳会	68.01	080202	3	3	3	2	1	3
	甘楽町山の会	86.04	080203	15	17	18	9	9	14
	高崎勤労者山岳会		080401	12	12	12	9	3	12
	ばんぼこ山の会		080601	13	15	16	7	9	21
	PURPLE SNOW & WIND		080602	29	34	37	23	14	37
	前橋勤労者山岳会	68.02	080701	25	20	29	15	14	30
	前橋ハイキングクラブ	81.09	080703	69	60	60	24	36	60
	モンテ アルパインクラブ	00.02	080704	10	9	9	7	2	8
	毛ッく山山の会	10.06	080705	22	22	22	12	10	24
	やまなみ (山脈)	03.12	080801	11	11	12	4	8	11
栃木県	小計	団体数 会員数		12 370	11 338	12 360	153	207	11 393
	宇都宮山の会	75.03	090102	9	8	8	6	2	10
	宇都宮ハイキングクラブ	81.04	090103	190	160	160	66	94	182
	上三川ハイキングクラブ	03.06	090201	13	10	10	5	5	14
新規	山岳同人 野武士	24.05	090302			3	3	0	0
	栃木岳人クラブ	96.04	090401	5	4	4	3	1	4
	つむぎ山悠会	14.04	090403	13	13	14	4	10	14
	野木山想会	92.03	090502	78	85	95	40	55	95
	南那須山楽会	78.06	090701	3	3	3	3	0	1
	マロニエハイキングクラブ	94.04	090702	22	21	28	9	19	28
	マウントアンサンブル	05.04	090703	5	5	5	2	3	6
	山人 (やまんど) クラブ	03.04	090802	30	27	28	10	18	37
	労山かぬま	05.11	090901	2	2	2	2	0	2
茨城県	小計	団体数 会員数		8 130	7 124	8 120	64	56	8 139
脱退 新規	笠間おちこち山の会	72.12	100102	8	脱退	脱退			
	茨城やまね会	24.06	100105			3	3	0	3
	古河青峰山の会	73.02	100202	6	6	5	5	0	3
	取手山の会	76.05	100402	30	24	18	8	10	24
	つくばね山の会	84.01	100403	22	23	21	11	10	24
	チームやまや	11.02	100405	5	5	5	4	1	5
	ハイキングクラブ のんびり	76.09	100601	25	24	25	9	16	27
	水戸っ歩山の会	03.05	100704	27	32	32	16	16	43
	ラリグラス	99.01	100901	7	10	11	8	3	10
埼玉県	小計	団体数 会員数		31 589	32 590	30 564	287	277	30 579
	あすなろ山岳会	68.11	110102	4	4	4	4	0	2
	浦和くまざさ山岳会	70.07	110103	8	15	16	12	4	16
	大宮勤労者山岳会	65.04	110104	83	73	67	38	29	56
	アルパインクラブNP0さいたま	06.07	110112	31	33	34	24	10	31
	熊谷トレッキング同人	96.12	110201	24	22	20	15	5	16
	登山クラブやまなみ	91.07	110205	25	22	22	11	11	27
	北本山の会	00.05	110206	9	9	8	3	5	9
	ハイキングクラブ上里	01.01	110207	7	7	8	4	4	13
	クライミングさいたま		110209	8	8	17	10	7	17
	山の子倶楽部	89.04	110301	9	9	9	3	6	9
脱退	川越ハイキングクラブ・ビスターリ	95.12	110303	19	26	脱退			
	山楽童人グループノジ	13.03	110304	5	5	5	4	1	4
	彩の山友会	13.03	110305	7	7	7	5	2	5
	紫翠山岳会	16.04	110307	12	15	16	6	10	16
新規	指扇山の会	23	110308		5	6	3	3	6
	椋山岳会	66.09	110401	3	3	3	3	0	3
	所沢ハイキングクラブ	70.06	110402	32	32	36	18	18	40
	登攀クラブ岩つばめ	92.11	110403	7	7	5	3	2	5
	秩父アルペンクラブ	05.01	110405	21	21	24	6	18	27
	新座山の会	93.07	110501	40	30	30	10	20	32

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
	日進山岳会	08.02	110602	32	35	33	19	14	34
	飯能勤労者山岳会	76.01	110602	17	19	18	11	7	23
	深谷こまくさ山の会	84.01	110605	26	29	33	13	20	32
	富士見市峠山の会	92.11	110606	35	36	34	10	24	37
	ハイジアルペンクラブ	97.11	110607	22	23	22	10	12	22
	日和田アルパインクラブ	98.12	110609	6	6	6	4	2	6
脱退	パル・ブランチ	10.07	110611	4	4	脱退			
	蓮田山の会	21.05	110612	5	2	2	1	1	3
新規	バッカス山の会	23	110613		7	7	7	0	7
	三郷山の会	94.05	110701	33	27	25	10	15	29
	わらび山の会	66.09	110802	22	20	16	10	6	20
	埜歩富士見山の会	90.04	110804	30	29	31	10	21	32
脱退	山ぼうし	19.02	110805	3	脱退	脱退			
東京都	2,357名	団体数		106	104	100			100
	小計	会員数		2,366	2,351	2,295	1,228	1,067	2,302
東京都・千代田区連盟				195	194	199	134	65	220
	同人クライミングファイト	95.01	120414	45	46	51	34	17	52
	ぶなの会	66.11	120605	150	148	148	100	48	168
東京都・中央区連盟				90	66	61	35	26	58
	銀座山の会	66.11	120207	36	35	31	20	11	28
	山岳会ヤマニテ	73.07	120310	30	31	30	15	15	30
脱退	山の会樹形霧	66.12	120804	24	脱退	脱退			
東京都・港区連盟				51	62	60	25	35	59
	東京みなと山の会	66.11	120417	44	56	55	21	34	56
	東京港区ハイキングクラブ	76.07	120418	7	6	5	4	1	3
東京都・新宿区連盟				77	74	67	40	27	66
	溪嶺会	69.01	120202	8	9	9	7	2	9
	光陽山の会	73.04	120203	7	4	4	4	0	4
	グループ わたすげ	03.04	120220	5	5	5	2	3	4
脱退	新宿山の会		120304	6	6	脱退			
	東京ろうあ者山の会	74.09	120403	15	15	15	7	8	16
	東京岳遊会	66.12	120444	12	12	11	10	1	10
	峰凌倶楽部	75.06	120603	12	12	11	9	2	11
	山の会 さくら草	14.11	120819	5	5	5	1	4	5
	山の会 こぶし	14.11	120820	7	6	7	0	7	7
東京都・東部地区連盟				95	83	82	44	38	85
脱退	あらかわ山の会		120101	5	5	脱退			5
	江戸川山の会	66.04	120102	12	12	15	10	5	13
	墨田山の会	78.02	120301	43	31	33	15	18	25
	東部教職員山の会	76.10	120401	6	6	6	3	3	
	登嶺会	69.01	120402	10	10	10	7	3	12
	らくらくハイキングクラブ	83.07	120901	12	12	11	5	6	9
	わたすげハイキングクラブ	97.04	120904	7	7	7	4	3	21
東京都・みなみ地区連盟				238	230	221	97	124	243
	大田山の会	66.04	120107	52	55	60	34	26	75
	大田ハイキングクラブ	73.08	120108	64	50	50	16	34	47
	大田山友会	90.04	120109	10	9	11	5	6	11
	大田・わたすげの会	00.08	120121	6	6	6	1	5	6
	品川山の会・さんかくてん	85.08	120316	54	58	60	27	33	61
	じょうなんハイカーズ	20.07	120347	2	2	2	1	1	1
	めぐろ山学クラブ・仲間	65.11	120704	18	18	13	5	8	15
	目黒ハイキングクラブ		120705	30	30	17	6	11	25
	山の仲間「山風」	98.01	120813	2	2	2	2	0	2
東京都・渋谷区連盟				22	21	18	11	7	16
	渋谷山の会 ウルスカディ	09.01	120124	22	21	18	11	7	16
東京都・練馬区連盟				191	207	208	104	104	226
	ぐるうぶ山人	74.07	120208	40	41	43	14	29	44
	石神井山の会	93.09	120317	75	85	85	42	43	94
	練馬山の会	71.06	120504	76	81	80	48	32	88
東京都・豊島区連盟				32	31	31	23	8	30
	東京雪稜会	76.06	120410	20	20	20	14	6	20
	目白山岳会	74.12	120701	12	11	11	9	2	10
東京都・北区連盟				69	56	46	32	14	51
	田端雪稜山岳会	79.09	120412	13	11	11	9	2	12
	淡歩歩山の会	05.07	120434	37	41	32	22	10	34
	東京緑峰クラブ	09.03	120439	4	4	3	1	2	5

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
脱退	モンテローザ山の会	80.06	120702	15	脱退	脱退			
東京都・多摩東部連盟				140	140	126	60	66	126
	北多摩山の会		120211	31	33	32	17	15	33
	グループ・どっぺる	78.04	120212	30	31	36	9	27	37
	山座会	70.06	120319	42	40	28	18	10	29
	ふくろうハイキングクラブ	97.02	120608	17	17	11	5	6	11
	むさしの山の会	66.03	120708	16	15	15	8	7	16
	むさしの“どっぽ”	89.12	120709	4	4	4	3	1	
東京都・多摩北部連盟				109	105	97	49	48	97
	多摩みどり山遊会	00.04	120426	11	11	11	6	5	11
	チーム バガボンズ	05.01	120432	2	2	2	1	1	2
	野火止山の会	75.09	120505	61	59	53	20	33	56
	コスモス山の会	91.04	120612	35	33	31	22	9	28
東京都・府中市連盟				36	35	37	17	20	37
	Climbing NAKAMA	03.12	120334	2	2	2	1	1	2
	山の会「かたつむり」	84.07	120809	34	33	35	16	19	35
東京都・町田市（準地区連盟）				142	138	141	64	77	143
	町田グラウス山の会	84.03	120710	142	138	141	64	77	143
東京都（地区連盟無所属）				865	892	885	483	402	819
	板橋勤労者山岳会	66.03	120111	40	39	37	26	11	40
	神楽坂アルパインクラブ	95.06	120112	6	4	4	3	1	4
	八王子おおるり山の会	97.03	120113	95	95	91	40	51	88
	oak	09.07	120125	6	6	6	4	2	6
	MGC	14.12	120127	11	10	10	8	2	9
	AMC	15.04	120128	1	1	1	0	1	
	アルペンブルーメ	20.07	120129	11	10	14	5	9	15
	earth（アース）	22.03	120130	3	3	3	2	1	3
	神田山の会	66.12	120206	48	47	41	18	23	43
脱退	狛江山遊会	87.12	120213	24	脱退	脱退			
	C・C” 昴”	01.04	120218	3	3	2	1	1	3
	クラウドナイン・クライマーズ・ネット	08.04	120222	5	5	4	2	2	
脱退	K9-SAR 岳の会		120224	4	4	脱退			
	杉並勤労者山岳会	66.06	120306	69	69	75	49	26	77
	杉並山の会	78.02	120308	51	57	54	24	30	47
	世田谷山ぞくの会	72.12	120314	3	3	3	2	1	3
	世田谷山友会	00.03	120315	53	86	88	41	47	66
	山岳同人かわせみ	92.01	120324	4	4	4	3	1	4
	新婦人青梅ハイキング 小組・ナイト・班	98.09	120326	10	16	15	1	14	16
	日本ロープレスキュー協会	98.04	120327	2	2	2	2	0	2
	さわらび山の会	00.07	120331	27	40	42	22	20	39
	雲表倶楽部	04.02	120335	31	22	26	21	5	25
	山の会 やまづと	08.06	120339	41	47	47	25	22	60
	山岳同人GRAPPA	08.06	120340	4	4	4	3	1	4
	G登攀クラブ	09.03	120341	22	21	20	13	7	20
	新婦人けやき班ハイキング 小組	12.03	120344	10	11	11	0	11	10
	アルムクラブTokyo	10.11	120346	8	7	7	4	3	7
	登攀クラブNCP	84.04	120408	6	6	6	3	3	6
	チーム 吾亦紅（われもこう）	07.03	120436	4	4	4	2	2	4
脱退	地形図研究会	10.06	120440	5	5	脱退			
脱退	痛恨	13.03	120441	4	4	脱退			
	Team CELL	14.3	120442	9	9	10	5	5	10
	Team Diagonal	14.12	120443	12	10	8	5	3	11
	日本スポーツクライマーズクラブ	04.03	120510	28	27	26	23	3	25
	プリムラ山の会	83.10	120607	10	10	10	7	3	11
	ハイキングクラブ四季	79.06	120609	8	9	8	6	2	8
	ハイキングクラブ・ジャングルム	93.09	120611	13	9	12	5	7	9
	ボーラスター山岳会	01.12	120617	5	5	5	3	2	
	5.10クラブ	04.08	120619	5	2	2	2	0	1
	ポレポレ倶楽部山の子	07.03	120621	20	20	19	10	9	19
	ハルヒラークラブ	15.01	120623	10	11	9	8	1	11
	めぐろ山の会	90.01	120706	19	20	23	10	13	22
	民医連東京共済山の会	90.02	120707	17	15	15	8	7	15
	無想・転生	09.07	120713	4	4	6	5	1	6
	山セミの会	96.06	120807	14	16	17	7	10	17
	山の会ふみあと	73.07	120810	19	18	18	11	7	18
	雪豹同人	13.05	120818	2	2	2	1	1	1
	HC Wild Berry	17.11	120909	22	25	20	10	10	25

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
	ROUSANパートナーズ	17.11	120910	35	39	43	27	16	6
	労山マスターズ	19.06	120911	2	2	2	2	0	
新規	リトルベアー	23	120912		4	4	2	2	1
新規	リベロ山の会	24.02	120913			5	2	3	2
東京都・学生団体				14	17	16	10	6	26
	東京農工大学リバーフォーゲル部	97.05	120506	14	17	16	10	6	26
千葉県	小計	団体数		16	15	15			15
		会員数		628	637	632	294	338	649
	市川山の会	00.10	130101	8	7	7	4	3	5
脱退	君津ケルン山の会	70.02	130201	20	脱退	脱退			
	かがりび山の会	95.08	130202	43	40	37	18	19	37
	岳人あびこ	96.10	130203	52	53	56	23	33	63
	ちば山の会	66.11	130401	103	103	104	57	47	103
	千葉こまくさハイキングクラブ	84.01	130403	117	137	137	58	79	129
	東葛山の会	84.05	130404	53	54	56	26	30	57
	船橋勤労者山の会	77.06	130603	28	26	23	17	6	26
	ふわくハイキングサークル	97.05	130604	62	61	51	12	39	53
	茂原道標山の会	71.04	130701	11	13	19	7	12	21
	松戸山の会	83.04	130702	68	75	78	39	39	81
	まつど山翠会	01.11	130705	19	17	15	9	6	18
	まつど遠足クラブ1年さくら組	04.01	130706	10	14	12	4	8	14
	山の会らんたん	84.12	130802	23	26	24	11	13	28
	千葉民医連山を歩こう会	93.03	130803	4	4	4	2	2	4
	山の会「岳樺クラブ」	94.02	130804	7	7	9	7	2	10
神奈川県	小計	団体数		19	20	19			20
		会員数		509	508	508	266	242	455
	小田原ナーゲル山の会	71.01	140102	20	18	16	10	6	10
	M&C	11.03	140104	21	18	20	13	7	16
	川崎勤労者山岳会	67.01	140201	18	16	17	11	6	17
	川崎ハイキングクラブ	78.02	140202	90	94	90	39	51	63
	川崎柴笛クラブ	74.01	140203	17	16	16	8	8	15
	カモの会	98.03	140209	54	46	47	32	15	33
	Grazie(グラチエ)	13.10	140211	8	14	12	9	3	11
	銀嶺会		140212	4	5	5	0	5	5
	相模アルパインクラブ	74.01	140301	47	41	40	22	18	32
	さがみ山友会	93.03	140304	13	13	17	13	4	15
	山岳素行童人メーグリ家	08.07	140307	7	7	7	4	3	9
	SAWAMAFIA	22.04	140308	10	10	6	5	1	19
新規	山学同人稜風会	23	140309		1	6	5	1	1
	地平線の会	00.04	140401	6	7	7	0	7	7
	藤沢山の会	82.06	140601	88	99	101	36	65	103
	みずなら山の会	88.11	140702	37	31	28	15	13	23
	アルパインクラブ横浜		140801	29	31	36	23	13	38
	雪童山の会	00.01	140807	16	18	17	10	7	17
	やま十十(やまぶらぶら)	03.01	140808	19	18	20	11	9	21
脱退	山ブキの会	07.04	140809	5	5	脱退			
山梨県	小計	団体数		2	2	2			2
		会員数		80	80	108	46	62	101
	彷徨倶楽部関東	20.03	150601	15	10	13	5	8	6
	山梨山の会	98.03	150801	65	70	95	41	54	95
新潟県	小計	団体数		9	9	9			9
		会員数		228	230	214	138	76	236
	糸魚川勤労者山岳会	76.01	160101	24	24	21	10	11	25
	十日町おだまき山の会	82.09	160102	42	41	40	27	13	42
	阿賀山の会	98.06	160103	16	21	18	5	13	21
	清津山の会	76.12	160201	22	22	19	13	6	20
	長岡勤労者山岳会	69.01	160501	33	30	29	24	5	33
	新潟山友会	76.08	160502	10	8	7	5	2	8
	新潟クライミングクラブ	96.07	160503	27	31	33	26	7	33
	新潟岳遊塾	05.01	160504	4	3	3	3	0	4
	みちぐさ山の会	69.07	160701	50	50	44	25	19	50
富山県	小計	団体数		4	4	3			4
		会員数		113	102	85	43	42	90
	富山勤労者山岳会	66.07	170403	26	29	23	16	7	23
	富山ハイキングクラブ	78.01	170404	48	35	32	13	19	35
脱退	湊山会		170407	3	3	脱退			
	三島野スポーツクラブ	99.05	170701	36	35	30	14	16	32

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
石川県		団体数			6	6	6			6
		小計 会員数			263	267	254	142	112	270
	でんでん虫倶楽部		74.12	180201	8	9	9	8	1	9
	小松ブルーベル山の会			180203	74	79	79	47	32	83
	金沢ハイキングクラブ		81.01	180204	105	103	98	42	56	113
	チャムラン山の会		80.01	180401	36	35	30	18	12	27
	めっこ山岳会		66.10	180701	24	25	24	20	4	22
福井県	白山フクロ山岳会		84.10	180702	16	16	14	7	7	16
		団体数			5	5	4			5
		小計 会員数			70	75	62	34	28	68
	あしハイキングクラブ		00.03	190101	22	27	27	13	14	32
	あし山遊会			190102	14	15	16	4	12	16
	ケルン山の会		00.03	190201	13	12	7	7	0	6
	ベルグラ山の会		00.03	190602	13	14	12	10	2	14
脱退	山っ子の会		00.03	190801	8	7	脱退	0	0	
長野県		団体数			11	11	10			11
		小計 会員数			253	259	252	157	95	267
	伊那山仲間		75.01	200102	27	26	21	14	7	13
	大町勤労者山の会		66.08	200103	25	28	27	19	8	28
	駒ヶ根山岳会		66.01	200202	13	13	13	9	4	10
	クライミングメイト山の子		01.07	200205	9	9	9	8	1	12
	上小山の会		66.01	200301	23	23	23	15	8	30
	佐久アッセントクラブ		75.07	200303	46	47	50	28	22	51
	佐久山の会		66.08	200304	33	34	40	15	25	41
	茅野しらびそ山の会		77.07	200306	10	12	13	9	4	13
	山岳会ロック&ブッシュ		80.07	200308	20	20	18	15	3	23
	まみくとい山の会		68.01	200501	32	38	38	25	13	40
	松本勤労者山岳会		66.01	200701	15	9	脱退			6
脱退										
静岡県		団体数			14	13	13			13
		小計 会員数			375	341	293	160	133	319
	天城やまの会（伊豆ハイキングクラブ労山会員グループ）		87.12	210105	35	35	25	12	13	35
	あさぎり山の会		89.11	210104	53	51	50	17	33	52
	静岡勤労者山岳会		66.08	210301	52	51	49	31	18	53
	清水勤労者山岳会		66.08	210302	17	17	10	6	4	9
	静岡安倍っ子山の会		84.04	210303	13	13	6	3	3	5
	裾野麗峰山の会		94.03	210305	12	15	9	6	3	14
	沼津勤労者山岳会		85.01	210501	15	11	10	5	5	10
	ナチュラルマウンテリングクラブ		00.04	210502	11	11	11	6	5	11
	浜松勤労者山岳会		85.04	210604	45	45	42	24	18	45
	浜松山の会フレンズ		87.08	210606	12	12	12	9	3	12
	脱退 ふじ山楽歩 山の会		07.12	210609	31	脱退	脱退			
	三島勤労者山岳会		73.01	210701	46	47	37	22	15	38
	焼津山の会		79.12	210802	7	8	8	3	5	8
	山登歩勤労者山の会		89.01	210803	26	25	24	16	8	27
		団体数			21	21	21			21
		小計 会員数			870	861	809	402	407	809
	あつた勤労者山岳会		69.03	220104	40	46	42	24	18	52
	おやこ山の会		82.09	220111	5	5	5	2	3	4
	犬山勤労者山の会マップ		85.07	220112	54	62	50	19	31	53
	脱退 アリス山の会		97.09	220113	6	脱退	脱退			
	春日井峠の会		74.06	220201	50	48	47	20	27	45
	かわせみ山楽会		82.04	220202	12	12	12	6	6	14
	じねんじょ山の会		82.07	220303	45	45	46	26	20	47
	スルジェ山の会			220304	39	38	36	14	22	24
	東海山岳会		69.03	220403	23	22	23	18	5	20
	ちんぐるま		87.06	220404	5	5	0			0
	名古屋山岳同志会		73.05	220501	104	98	101	62	39	110
	名古屋山歩会		74.05	220502	17	17	7	2	5	7
	低い山を楽しむ会		71.11	220503	11	10	10	6	4	8
	名古屋ありんこ山岳会		81.02	220506	30	31	25	15	10	18
	名古屋アルパインスピリッツクラブ		93.02	220511	24	25	23	16	7	23
	ふわく山の会		79.04	220602	56	37	28	15	13	22
	半田ファミリー山の会		81.12	220603	64	62	60	22	38	62
	東三河山ぼ会		84.07	220604	152	151	156	72	84	158
	みどり山の会		98.11	220703	32	31	30	8	22	30
	若駒山岳会		69.03	220801	26	28	26	15	11	26
	山の会「くらら」		96.01	220802	75	82	79	39	40	81

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
新規	尾張ハイキングクラブ	23	220803		6	3	1	2	5
岐阜県	団体数			7	7	7			7
	小計 会員数			294	287	266	153	113	278
	大垣勤労者山岳会	70.12	230101	57	57	58	36	22	62
	あるばいんKANI	10.04	230102	8	9	8	6	2	9
	岐阜ケルン山岳会	69.04	230201	52	50	45	30	15	58
	多治見勤労者山岳会		230401	44	44	42	22	20	34
	中津川勤労者山岳会	69.05	230501	19	19	17	14	3	19
	瑞浪山の会	74.01	230701	18	18	16	10	6	16
	みのハイキングクラブ	97.11	230702	96	90	80	35	45	80
三重県	団体数			0	3	3			3
	小計 会員数			2	4	4	3	1	4
	伊賀忍NMC	23	240102		2	2	1	1	2
	三重っばりな山の会	23	240103		1	1	1		1
	松阪勤労者山岳会	71.08	240701	2	1	1	1		1
滋賀県	団体数			6	6	5			6
	小計 会員数			166	177	174	88	86	156
	湖南岳友会	78.01	250201	28	30	30	17	13	5
	滋賀山友会	71.11	250301	64	73	78	38	40	82
脱退	シヤクナゲ廻行クラブ	95.05	250302	5	5	脱退			
	ちごゆり山歩会	86.09	250402	18	20	17	6	11	20
	比良雪稜会	79.01	250602	43	40	39	22	17	39
	山の会オフトレイル	01.08	250605	8	9	10	5	5	10
京都府	団体数			20	20	18			18
	小計 会員数			914	922	933	380	553	874
	乙訓山の会		260102	72	98	96	43	53	77
	京都右京勤労者山岳会		260201	60	57	56	25	31	51
	京都左京勤労者山岳会	68.06	260204	26	24	22	13	9	19
	京都明峯勤労者山岳会	78.02	260207	54	59	63	30	33	58
	京都洛中勤労者山岳会		260208	93	94	94	42	52	94
	WAO亀岡		260209	41	39	43	19	24	43
脱退	チーム クラマガチ	97.04	260210	3	2	脱退			0
	京都伏見山の会	09.05	260212	44	50	49	18	31	49
	樹の根17組	17.06	260213	13	13	15	0	15	15
	丹波勤労者山岳会	83.09	260401	16	15	13	8	5	6
	西山ハイキングクラブ	86.11	260501	130	132	141	45	96	150
	福知山山の会	98.08	260603	34	32	34	16	18	34
	舞鶴勤労者山岳会	77.05	260701	15	15	15	6	9	15
	ハイキングクラブ舞鶴山遊会	9801	260702	36	36	34	15	19	33
	京都田辺山友会	80.06	260801	41	40	42	15	27	42
	やましな山の会	86.09	260802	88	86	88	39	49	64
	山城・山の会	96.11	260803	23	22	18	7	11	15
	丹後山の会（与謝山の会）	02.10	260804	59	48	58	18	40	58
	らくなん山の会	01.04	260904	59	55	52	21	31	51
	Lantan	19.04	260905	7	5	脱退			0
奈良県	団体数			7	6	6			6
	小計 会員数			222	223	216	95	121	212
	オオヤマレンゲ山の会	02.05	270103	15	15	14	4	10	18
	山風舎	20.04	270302	5	8	7	3	4	3
	奈良勤労者山岳会	69.04	270501	103	99	94	44	50	89
	奈良ハイキングクラブ	75.08	270502	75	75	75	30	45	72
	西大和山の会	82.05	270504	17	22	22	10	12	26
脱退	山行人山楽会	11.07	270801	3	脱退	脱退			
	やまと山遊会	11.07	270802	4	4	4	4	0	4
和歌山県	団体数			11	11	11			9
	小計 会員数			335	322	322	139	183	275
	有田山の会	75.08	280101	40	45	45	20	25	37
	紀峰山の会	74.01	280201	70	72	66	36	30	67
	紀北亀足会	95.08	280202	3	3	3	2	1	0
	さんぽの会		280301	8	8	8	2	6	8
	はしもと山の会	83.05	280601	6	6	6	6	0	6
	ハハコグサトレッキングクラブ		280602	5	4	3	1	2	3
	紀州山友会	74.11	280701	39	48	47	18	29	47
	みちくさハイキングクラブ	79.06	280702	108	78	85	35	50	56
	やまなみハイキングクラブ		280704	3	3	3	2	1	0
	和歌山アルパインクラブ		280801	6	5	5	4	1	4

加盟団体一覧表 (2024年11月末日現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
大阪府	わかやまハイキングクラブ	75.04	280802	47	50	51	13	38	47
	団体数			49	45	45			44
	小計 会員数			973	935	933	482	451	894
	COWAC	75.02	290102	13	10	8	5	3	10
	大阪たつの子勤労者山岳会	72.04	290104	28	26	27	18	9	27
	大阪志峰会		290107	18	18	17	13	4	12
	大阪ぼっぽ会	75.12	290108	42	36	37	22	15	33
	勤労者山岳会ひまやま		290109	16	15	15	4	11	17
	大阪勤労者登攀クラブ(OWCC)	83.06	290112	6	6	6	5	1	6
	大阪マウンテンクラブ	92.05	290117	3	3	3	3	0	3
	A・T・C(オール・デモン・クライマーズ)	98.02	290118	8	8	6	3	3	6
	大阪スキーハイキングクラブ	01.11	290120	5	4	5	3	2	5
	アウトドア オールラウンダーズ	03.04	290121	13	13	19	9	10	15
	北大阪のぼろう会 (KONK)	75.06	290201	22	22	15	9	6	22
	きたろうハイキングクラブ	76.03	290202	60	60	60	26	34	48
	このはな山の会	77.03	290205	31	32	35	25	10	33
	くすのき山遊会	93.04	290207	11	11	12	7	5	12
脱退	加島ルーズクライミングクラブ	01.04	290210	10	脱退	脱退			
	遡行同人 溪游会	03.02	290212	27	36	37	27	10	11
	山の会こもれび	04.03	290214	26	25	25	8	17	18
	club ALBA	22.03	290216	5	6	7	4	3	7
	吹田勤労者山岳会		290302	46	45	40	16	24	46
	泉州勤労者山岳会		290303	40	35	37	21	16	36
	雑木の会	76.04	290306	27	28	27	15	12	27
	高槻勤労者山岳会	69.09	290401	23	23	24	12	12	34
	豊中勤労者山岳会		290402	135	135	135	60	75	130
	山の会 TENSION	03.12	290408	18	14	14	6	8	14
	西淀川勤労者山岳会	66.06	290502	40	33	29	16	13	30
脱退	虹	10.08	290506	2	脱退	脱退			
脱退	福島勤労者山岳会	71.06	290601	6	脱退	脱退			
	白峰山の会		290605	16	16	15	7	8	16
	女性ハイキングクラブ・ハイジ	92.01	290607	11	11	11	0	11	11
	なにわこぶしの会	96.07	290609	6	6	6	3	3	7
	ハイキングクラブ げんごろう	97.11	290610	16	16	14	4	10	16
	ふれんず	99.01	290611	18	20	31	19	12	18
	山之会バッカス	01.11	290612	9	9	10	8	2	10
	ハイキングクラブELF	05.05	290613	13	13	13	6	7	13
	ピトンの会	06.03	290614	14	16	14	9	5	14
	H. C. teruru	08.05	290615	32	32	31	14	17	31
	H. C. モンテス	11.10	290617	12	12	11	5	6	15
	H. C. JUKE	12.11	290618	12	12	10	5	5	11
	箕面勤労者山岳会		290704	3	3	3	2	1	0
	ももんが山岳会		290706	11	11	11	2	9	11
	八尾山の会	66.04	290801	22	25	24	8	16	31
	山の虫クレマントクラブ	78.12	290804	7	7	7	4	3	7
	淀屋橋勤労者山岳会	67.02	290806	15	14	14	7	7	8
	山の会くまごろう	96.04	290807	20	20	21	15	6	26
	山の会ROCKY	00.03	290808	14	15	14	8	6	14
	山の会Monterey	07.05	290809	12	11	11	6	5	11
脱退	山の会 ポレボレ	10.05	290810	4	脱退	脱退			
	山の会二十渉	14.04	290811	12	10	10	6	4	10
	つりばし		290902	13	12	12	7	5	12
兵庫県	団体数			41	40	39			36
	小計 会員数			1,991	2,014	1,954	912	1,042	1,199
脱退	アルペン芦山		300102	56	54	56	28	28	52
	尼崎山の会		300103	3	脱退	脱退			
	淡路勤労者山岳会	80.01	300104	2	2	2	0	2	0
	伊丹勤労者山岳会	72.08	300105	36	35	29	16	13	21
	尼崎ハイキングクラブ	80.07	300106	81	50	50	17	33	17
	やまぼうし	82.02	300107	23	20	18	4	14	17
	明石山の会	88.01	300109	39	42	42	19	23	15
	甲山勤労者山岳会	71.12	300201	75	80	65	39	26	50
	神戸カタツムリの会	75.08	300205	82	80	70	28	42	1
	神戸勤労者山岳会	71.12	300206	47	50	42	27	15	27
	神戸みなと山友会		300207	49	56	56	31	25	37
	神戸港山の会	76.08	300208	26	24	23	16	7	16
	神戸中央山の会	80.09	300209	142	162	153	71	82	128

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
脱退	北須磨山の会	87.09	300211	8	8	9	4	5	8
	神戸山スキークラブ	12.02	300213	15	20	6	4	2	5
	神戸クワイーズクラブ	13.06	300214	11	11	7	6	1	9
	宝塚山の会	75.01	300301	43	40	43	20	23	30
	山岳会ホワイトピーク	77.01	300302	25	26	28	9	19	29
	須磨勤労者山岳会		300305	27	26	25	17	8	21
	山楽会 七色十色	18.11	300307	8	9	7	5	2	6
	但馬勤労者山岳会	75.12	300401	4	4	4	2	2	3
	垂水ハイキングクラブ	85.08	300404	14	14	12	3	9	0
	垂水勤労者山岳会	76.07	300405	37	44	44	19	25	43
	地球クラブ	01.04	300407	2	2	脱退			
	高御位山遊会	01.07	300408	92	92	87	29	58	92
	西神戸山の会	74.07	300501	63	58	51	20	31	40
	西宮北口勤労者山岳会	75.09	300502	28	27	27	7	20	13
	西宮山岳会	64.02	300503	100	120	150	65	85	129
	西宮明昭山の会	75.12	300504	300	300	300	150	150	0
	東灘勤労者山岳会	75.09	300603	8	7	7	5	2	7
	北摂山の会	00.09	300609	52	57	59	34	25	61
	H.C.はりま	04.02	300610	28	26	30	14	16	30
	はりま明姫修験ネット	20.10	300612	2	2	2	1	1	0
	摩耶山友会	74.07	300701	159	168	174	87	87	122
	武庫勤労者山岳会	72.07	300702	117	110	100	38	62	78
	メラ・ピークKOBÉ	91.04	300703	9	6	5	4	1	5
	山の会かじか	73.03	300801	50	50	50	23	27	18
	山歩溪山岳会	76.08	300802	77	83	71	31	40	41
	山の会アルプ	84.08	300803	25	21	22	7	15	4
	山の会ささやま	09.07	300804	20	23	23	12	11	19
	ハイキングクラブレディバード	04.04	300902	6	5	5	0	5	5
鳥取県	小計			1	1	1			1
	米子勤労者山岳会		310801	4	4	4	3	1	2
島根県	小計			4	4	4			4
	出雲山の会	74.08	320101	13	11	10	4	6	11
	エッサッサ山の会	97.12	320102	23	21	20	9	11	21
	松江アルペンクラブ	74.12	320701	45	44	42	27	15	29
	松江ハイキングクラブ	82.04	320702	75	80	70	30	40	57
	岡山県			9	9	8			9
	小計			851	854	844	348	496	742
	岡山勤労者山岳会	66.12	330101	22	25	27	17	10	27
	倉敷勤労者山岳会	70.05	330201	15	14	13	10	3	12
	倉敷ハイキング倶楽部	90.06	330202	269	283	304	106	198	302
	クラブMONTATA	10.10	330203	8	7	8	6	2	8
	山陽カルチャーマウンテンクラブ	99.09	330301	380	381	391	154	237	288
脱退	玉野ハイキング同好会	87.03	330402	48	44	脱退			
	新見ハイキングクラブ	05.08	330501	38	29	27	14	13	29
	ピーク・フレンズ・クラブ	98.09	330601	11	11	11	8	3	11
	みまさか山の会	84.08	330701	60	60	63	33	30	65
広島県	小計			11	10	9			10
	安佐岳友クラブ	09.06	340101	6	6	7	3	4	7
	呉勤労者山の会	68.01	340201	40	37	41	19	22	41
	佐伯山の会	79.01	340301	49	50	49	30	19	53
脱退	山岳同人RAIZ	14.03	340304	7	7	脱退予定			7
	福山とんど	02.04	340401	4	4	4	2	2	4
	桃源郷クラブ	14.03	340402	11	12	11	5	6	11
	広島勤労者山の会	83.01	340601	25	10	9	5	4	12
	広島勤労者H.C.やまぼうし	88.05	340602	60	59	56	25	31	54
	ひろしま令峰クラブ		340604	26	25	26	5	21	26
脱退	県北山の会	93.04	340701	31	脱退	脱退			
	山の会 道	00.09	340801	2	2	2	1	1	0
山口県	小計			2	2	2			2
	登山・ハイキングサークル コンパス	83.02	350201	44	44	45	13	32	46
	山口県教職員登山サークル「ぼれぼれ」		350801	37	43	35	10	25	32
	香川県			8	8	8			8

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
	小計 会員数			261	265	274	139	135	259
	観音寺あけぼの山の会	75.01	360201	43	50	51	25	26	49
	観音寺ハイキングクラブ	79.09	360202	21	22	22	5	17	22
	丸亀しわく山の会	76.06	360303	61	60	66	37	29	61
	善通寺山の会	81.07	360304	56	55	60	36	24	52
	山岳同人・五色の峰	16.03	360306	10	7	4	3	1	4
	高松勤労者山の会	67.04	360401	29	31	28	17	11	28
	高松ハイキングクラブ	72.11	360402	4	4	4	1	3	4
	さぬき山歩会	87.06	360403	37	36	39	15	24	39
徳島県	団体数			7	7	7			7
	小計 会員数			213	224	223	103	120	187
	阿波あすなろ山の会	83.05	370102	32	34	36	18	18	38
	小松島ハイキングクラブ	78.11	370203	31	31	31	15	16	41
	徳島市勤労者山の会	73.11	370401	16	16	19	11	8	18
	徳島ハイキングクラブ	80.01	370402	15	17	20	5	15	17
	健生山の会	87.06	370403	8	8	6	5	1	5
	徳島山岳同人倶楽部		370404	6	6	6	3	3	5
	徳島山と友の会	93.03	370405	105	112	105	46	59	63
高知県	団体数			3	3	3			3
	小計 会員数			97	94	95	40	55	75
	あるぷハイキングクラブ	78.11	380101	27	29	29	9	20	15
	高知勤労者山岳会	66.07	380203	53	49	45	24	21	42
	かめのこ山の会	87.11	380205	17	16	21	7	14	18
愛媛県	団体数			3	3	3			2
	(男女比は便宜上記入) 小計 会員数			30	32	32	21	11	26
	南予のぼろう会	74.07	390501	7	7	7	4	3	0
	松山勤労者山岳会	71.05	390702	10	8	8	3	5	8
	山の子	05.04	390801	13	17	17	14	3	18
福岡県	団体数			27	27	26			25
	小計 会員数			730	682	646	296	350	625
	あしび山の会	69.05	400101	31	35	43	11	32	43
	大川山人会		400103	35	37	34	14	20	32
	大牟田勤労者山岳会	64.01	400104	16	16	16	9	7	16
	大牟田ハイキングクラブ		400105	59	34	22	14	8	21
	あだると山の会	80.09	400107	129	135	128	44	84	126
	奥岳山の会	84.12	400108	5	4	4	3	1	2
	往還倶楽部		400109	6	7	6	5	1	4
	小倉勤労者山岳会	73.03	400204	14	11	11	4	7	11
	R K A C	96.04	400208	46	43	32	25	7	29
脱退	久留米山の会	96.08	400209	19	15	脱退			
	すばる山の会	99.04	400301	11	11	11	4	7	11
	山岳チーム 風はるか	18.03	400303	4	4	4	2	2	4
	山学山遊会	21.10	400304	7	8	4	3	1	5
	田川かたつむり山の会	95.11	400401	16	17	15	9	6	15
	チーム・アース	14.04	400403	6	6	4	2	2	3
	ピナクル山の会	71.11	400601	38	40	42	31	11	43
	福岡勤労者山岳会		400603	42	39	47	29	18	49
	フェニックスマウンテンアリングチーム	84.12	400610	7	7	5	4	1	5
	福岡想山会	86.11	400611	44	42	53	22	31	53
	山岳冒険倶楽部 星と焚火	03.05	400616	7	7	9	4	5	9
	Back Country Club-ef	11.05	400619	5	3	2	1	1	2
	マップ山の会	65.06	400701	27	22	19	9	10	17
	門司勤労者山岳会	720.1	400703	2	1	3	3	0	0
	みどる山の会	82.11	400706	145	127	119	38	81	119
	Move (ムーヴ)	98.05	400707	2	2	2	2	0	2
	ゆるパインクラブ	20.01	400802	6	8	10	3	7	4
	若宮山岳会	06.09	400901	1	1	1	1	0	0
佐賀県	団体数			2	2	2			2
	小計 会員数			70	67	65	31	34	75
	からつ勤労者山岳会	88.04	410201	25	20	19	9	10	13
	佐賀勤労者山岳会	71.03	410301	45	47	46	22	24	62
長崎県	団体数			8	8	8			8
	小計 会員数			240	235	234	105	129	223
	オレンジハイキングクラブ	75.12	420103	41	47	50	26	24	40
	長崎あゆみハイキングクラブ	97.04	420104	58	58	50	20	30	55
	佐世保こもればハイキングクラブ	94.08	420301	2	2	2	1	1	2

加盟団体一覧表（2024年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年 月	コード 番号	22末 会員数	23末 会員数	24末 会員数	24末 (男性)	24末 (女性)	労山基金 加入者数
	長崎東部勤労者山岳会		66.08	420502	25	25	26	9	17	22
	長崎へバルナ山の会		75.06	420505	17	16	16	9	7	15
	長崎南稜山岳会		79.08	420506	18	18	18	7	11	16
	長崎朝霧山の会		84.06	420511	33	30	30	14	16	30
	長崎カルチャー山の会		03.11	420513	46	39	42	19	23	43
熊本県		団体数			4	4	3			3
	小計	会員数			62	61	39	17	22	28
	天草山の会		84.05	430101	2	2	2	1	1	2
	熊本勤労者山岳会		72.06	430201	29	28	26	13	13	16
脱退	人吉球磨ハイキングクラブ		01.08	430601	18	18	脱退			
	八代勤労者山岳会		68.12	430801	13	13	11	3	8	10
大分県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			51	52	50	22	28	50
	大分勤労者山岳会			440101	41	42	40	17	23	40
	大分山歩会			440301	10	10	10	5	5	10
宮崎県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			41	39	39	23	16	37
	西都山岳会		99.06	450301	23	22	22	10	12	20
	祝子川山岳会「ほうりがわ」		04.10	450601	18	17	17	13	4	17
鹿児島県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			78	74	76	30	46	78
	鹿児島勤労者山岳会		67.09	460201	49	48	46	21	25	48
	山坂達者の会		96.11	460801	29	26	30	9	21	30
沖縄県		団体数			1	1	1			1
	小計	会員数			20	24	18	4	14	21
	花いかだ コザ			470601	20	24	18	4	14	21

※システムの都合上、基金加入者数には年度途中で退会し未精算の者を含みます。ご了承ください。

労山システム入力データより

データ数: 20,104 (2025/2/12時点)

※除外=会員番号5・7・9番代

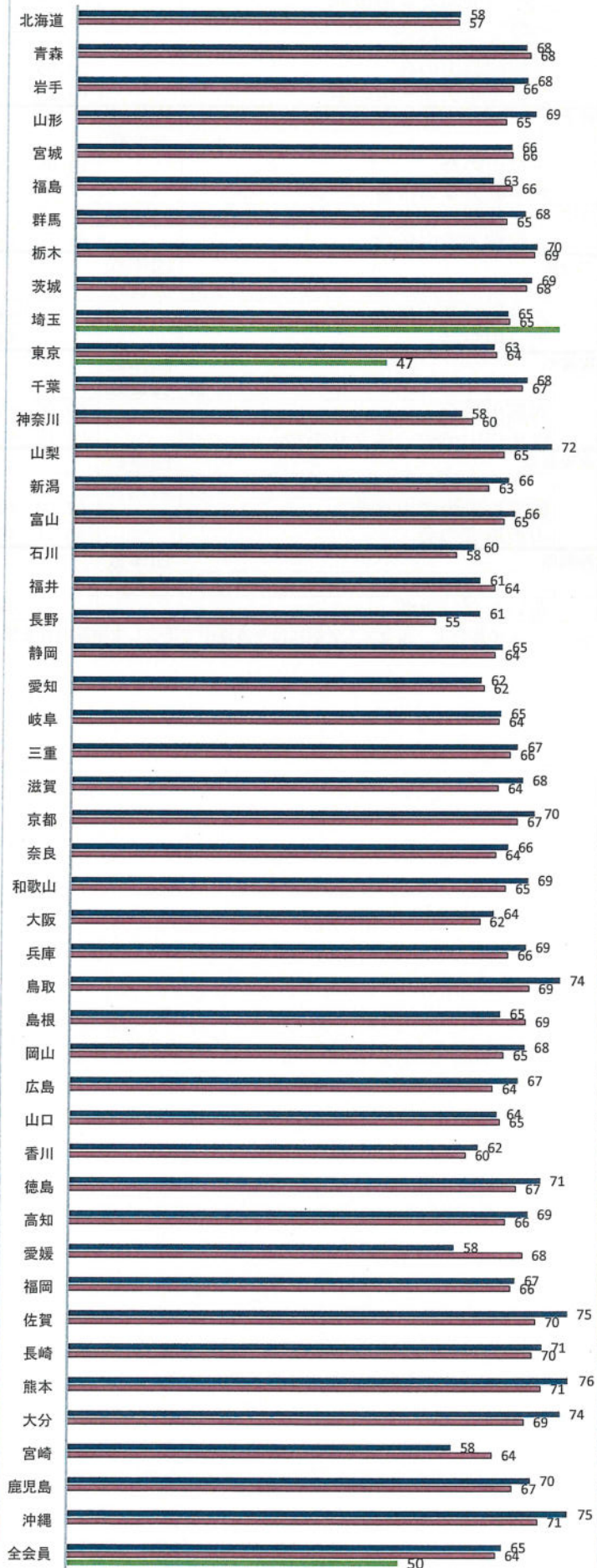
※除外=年齢不明、1905年以前生まれ

平均年齢(才)

都道府県	男性	女性	未選択	全体
北海道	58	57	-	58
青森	68	68	-	68
岩手	68	66	-	67
山形	69	65	-	68
宮城	66	66	-	66
福島	63	66	-	64
群馬	68	65	-	66
栃木	70	69	-	69
茨城	69	68	-	68
埼玉	65	65	73	65
東京	63	64	47	63
千葉	68	67	-	68
神奈川	58	60	-	59
山梨	72	65	-	68
新潟	66	63	-	64
富山	66	65	-	66
石川	60	58	-	59
福井	61	64	-	62
長野	61	55	-	59
静岡	65	64	-	64
愛知	62	62	-	62
岐阜	65	64	-	65
三重	67	66	-	67
滋賀	68	64	-	66
京都	70	67	-	68
奈良	66	64	-	65
和歌山	69	65	-	67
大阪	64	62	-	63
兵庫	69	66	-	67
鳥取	74	69	-	71
島根	65	69	-	67
岡山	68	65	-	67
広島	67	64	-	65
山口	64	65	-	65
香川	62	60	-	61
徳島	71	67	-	69
高知	69	66	-	67
愛媛	58	68	-	63
福岡	67	66	-	67
佐賀	75	70	-	73
長崎	71	70	-	70
熊本	76	71	-	73
大分	74	69	-	71
宮崎	58	64	-	60
鹿児島	70	67	-	68
沖縄	75	71	-	72
全会員	65	64	50	65

平均年齢(才)

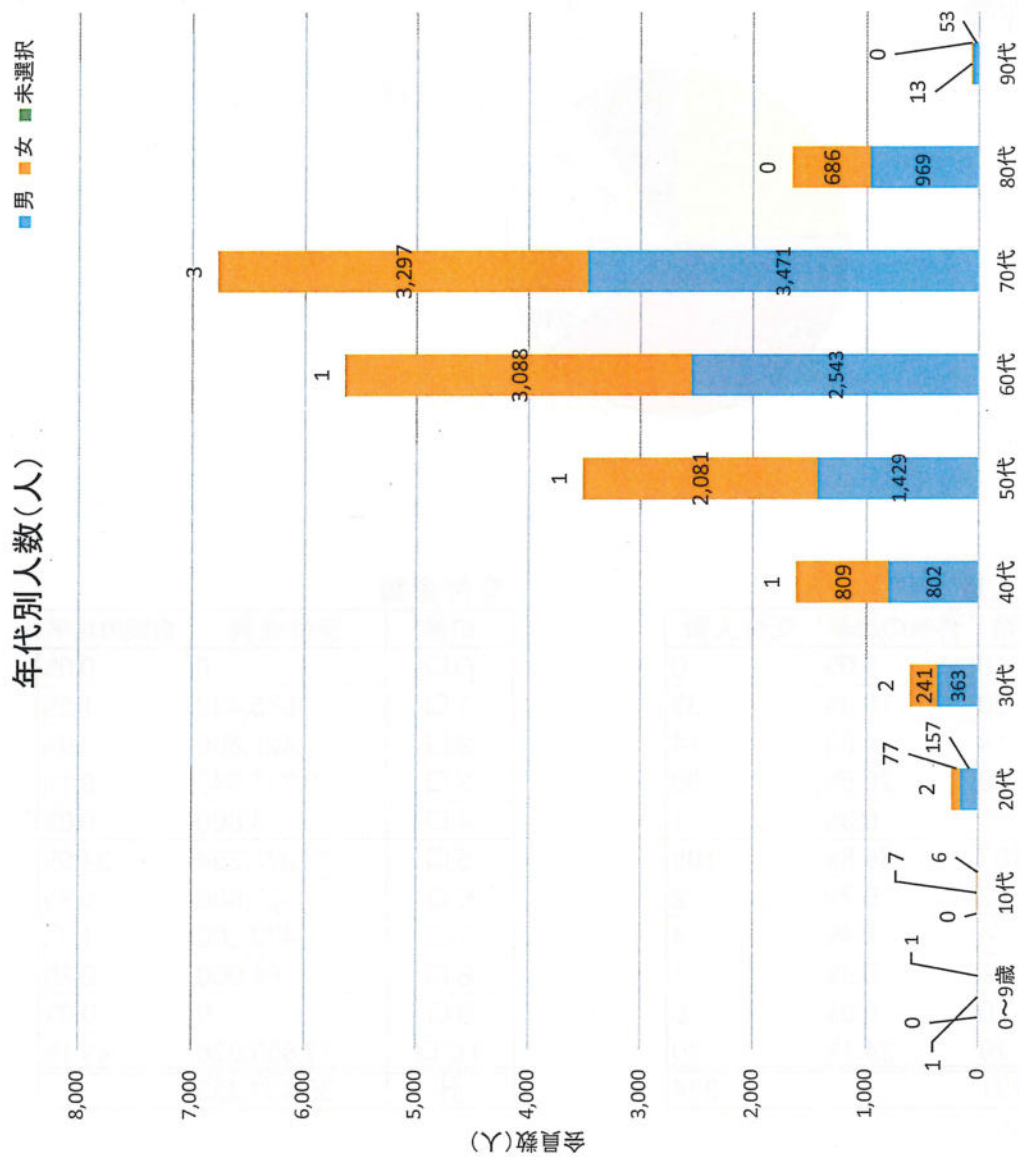
■男性 ■女性 ■未選択



年代別人数 (人)

年代	男	女	未選択
0～9歳	1	1	0
10代	6	7	0
20代	157	77	2
30代	363	241	2
40代	802	809	1
50代	1,429	2,081	1
60代	2,543	3,088	1
70代	3,471	3,297	3
80代	969	686	0
90代	53	13	0
合計	9,794	10,300	10

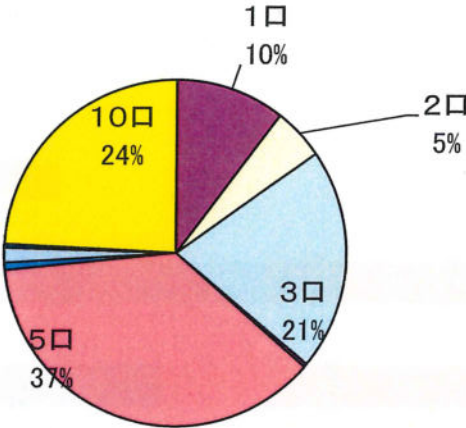
年代別人数 (人)



労山基金 <登録口数と交付件数および交付金額>

2024年12月31日 労山基金交付金データより

交付件数



交付件数／交付人数

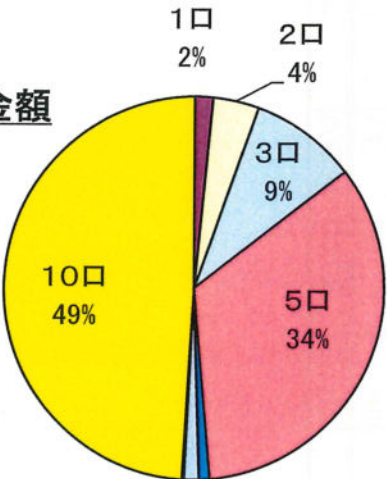
口数	交付件数	件数の比率	交付人数
0口	0	0.0%	0
1口	30	10.3%	33
2口	14	4.8%	14
3口	60	20.6%	60
4口	1	0.3%	1
5口	107	36.8%	109
6口	2	0.7%	2
7口	4	1.4%	4
8口	1	0.3%	1
9口	0	0.0%	0
10口	70	24.1%	70
計	291		294

(重複あり)

交付金額

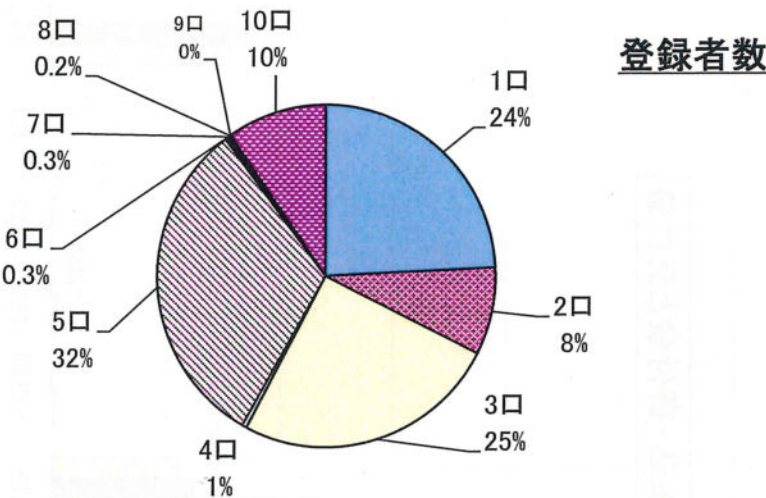
口数	交付金額	金額の比率
0口	0	0.0%
1口	555,433	1.5%
2口	1,425,600	3.9%
3口	3,315,540	9.1%
4口	4,800	0.0%
5口	12,375,254	34.0%
6口	333,600	0.9%
7口	473,200	1.3%
8口	64,000	0.2%
9口	0	0.0%
10口	17,855,926	49.1%
計	36,403,353	

交付金額



労山基金
 <2024年 登録口数と登録者数および寄付金額>

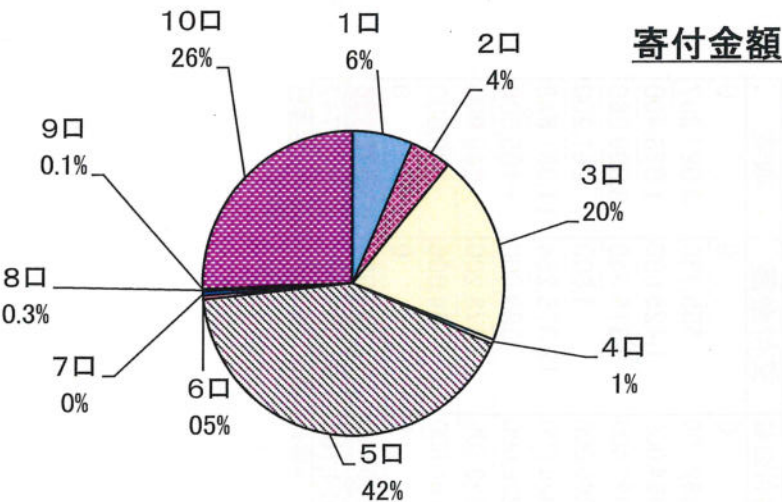
2024年12月31日 労山基金・寄付金データより



登録件数		15,013 人
口数	登録者数	比率
1口	3,632	24.2%
2口	1,237	8.2%
3口	3,807	25.4%
4口	67	0.4%
5口	4,735	31.5%
6口	38	0.3%
7口	32	0.2%
8口	21	0.1%
9口	0	0.0%
10口	1,444	9.6%
計	15,013	

※脱退会を含む

寄付金額		56,014,100 円
口数	寄付金額	比率
1口	3,582,700	6.4%
2口	2,464,000	4.4%
3口	11,325,400	20.2%
4口	266,000	0.5%
5口	23,426,900	41.8%
6口	228,000	0.4%
7口	223,300	0.4%
8口	164,800	0.3%
9口	0	0.00%
10口	14,333,000	25.6%
	56,014,100	



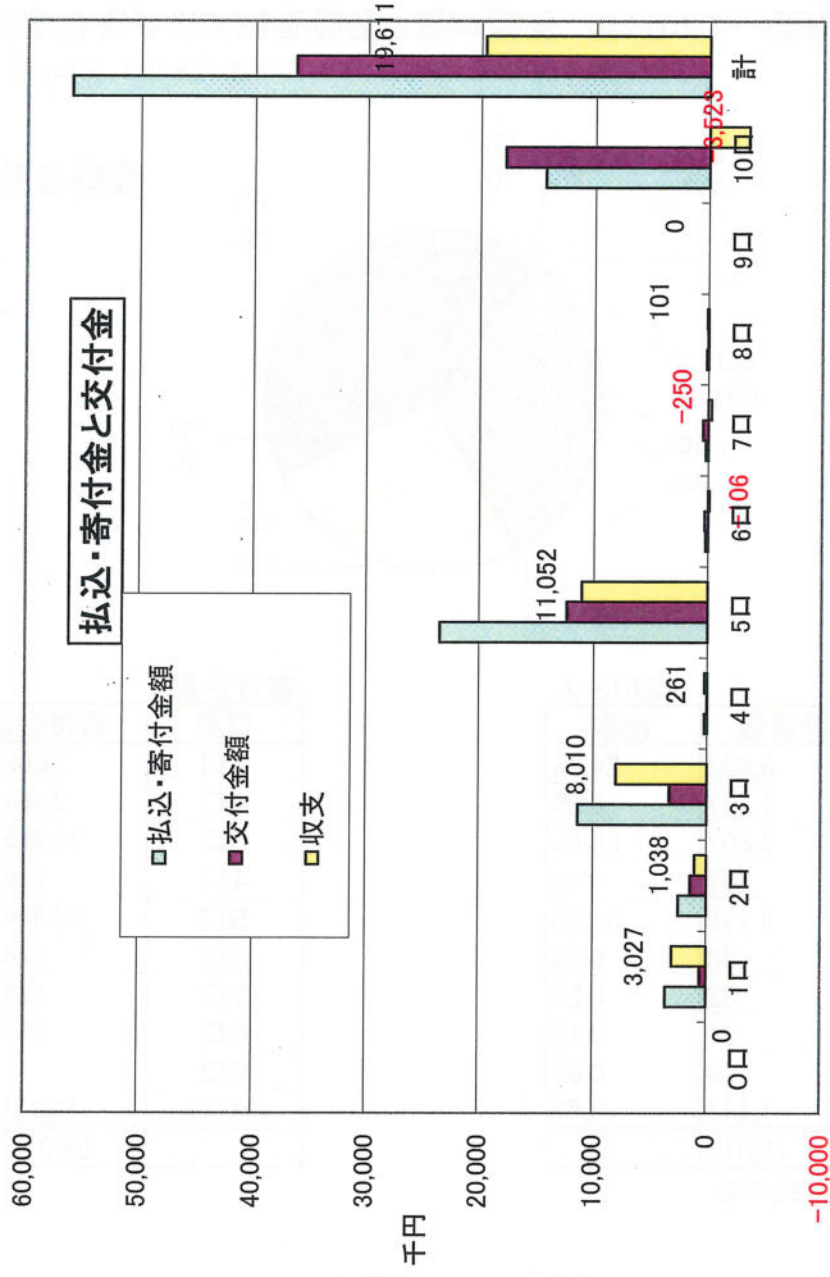
*寄付金額のグラフは、月割りの新規登録の場合も定額計算となっています。

労山基金 <口数ごとの寄付金額と交付金額>

2024年12月31日労山基金・寄付金及び交付金データより

口数	払込・寄付金額	交付金額	収支
0口	0	0	0
1口	3,582,700	555,433	3,027,267
2口	2,464,000	1,425,600	1,038,400
3口	11,325,400	3,315,540	8,009,860
4口	266,000	4,800	261,200
5口	23,426,900	12,375,254	11,051,646
6口	228,000	333,600	-105,600
7口	223,300	473,200	-249,900
8口	164,800	64,000	100,800
9口	0	0	0
10口	14,333,000	17,855,926	-3,522,926
計	56,014,100	36,403,353	19,610,747

※寄付金額は2024年度の申込みから算出



交付金額の分析

2024年12月31日 労山基金・交付金データより

山行形態		無雪期登山	積雪期登山	登攀	冬季登攀	沢登り	氷瀑	人工壁	山スキー・スノー・クローン	海外登山	海外トレーニング・スキー	訓練	その他	計
救助・搜索 交付金額	件数	154,178	76,110	114,308		59,476		16,800	0	2,188,940	1,162,341	0	0	3,772,153
	人数	4人	1人	2人	0件	2人	0件	1件	0件	2件	4件	0件	0件	16件
救助搜索交付額の比率		4%	2%	3%	0%	2%	0%	0%	0%	58%	31%	0%	0%	16人
救助搜索交付の人数の比率		31%	8%	15%	0%	15%	0%	8%	0%	15%	31%	0%	0%	
入院院 交付金額		7,300,400	1,495,200	4,468,800	28,000	1,947,200	136,000	2,071,600	1,676,000	64,000	28,000	531,600	6,000	19,752,800
入院院 交付額の比率	件数	161件	20件	40件	3件	29件	3件	11件	12件	3件	4件	7件	1件	294件
	人数	161人	20人	40人	3人	29人	3人	11人	12人	3人	4人	7人	1人	294人
入院院交付の人数の比率		37%	8%	23%	0%	10%	1%	10%	8%	0%	0%	3%	0%	
入院院交付の人数の比率		57%	7%	14%	1%	10%	1%	4%	4%	1%	1%	2%	0%	
合計 交付金額		7,454,578	1,571,310	4,583,108	28,000	2,006,676	136,000	2,088,400	1,676,000	2,252,940	1,190,341	531,600	6,000	23,524,953
比率		32%	7%	19%	0%	9%	1%	9%	7%	10%	5%	2%	0%	

66

※交付特典額・団体交付を含まない
※救援交付・死亡交付を含まない

交付総額

交付事故件数	交付総人数	交付総金額
291	294	36,403,353

公開山行(見舞金)(再掲)

件数	人数	金額
0	0	0

死亡・行方不明の交付分析(再掲)

死亡事故件数	交付人数	交付総額
7	7	10,775,287

救助・搜索交付(再掲)

件数	人数	金額
13	13	3,708,948

団体交付(再掲)

払込金	交付金
92	0
812,000	0

死亡・行方不明の救助・搜索交付

件数	人数	金額
3	3	175,287

入院院交付(再掲)

件数	人数	金額
284	284	19,752,800

救援者費用(再掲)

件数	金額
3	63,205

死亡交付

件数	人数	金額
7	7	10,600,000

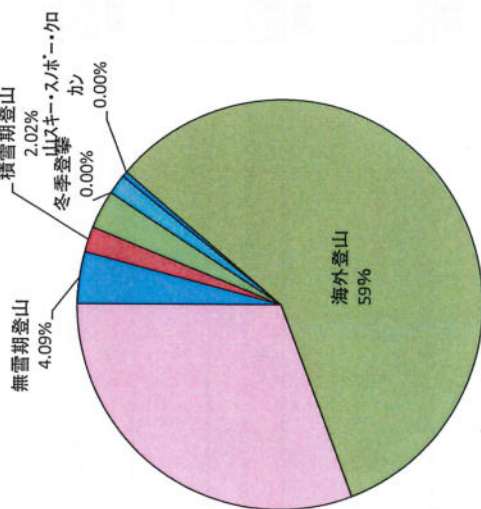
交付の特典(再掲)

件数	人数	金額
41	41	3,695,600

※救助・搜索交付なし。通常交付との重複あり

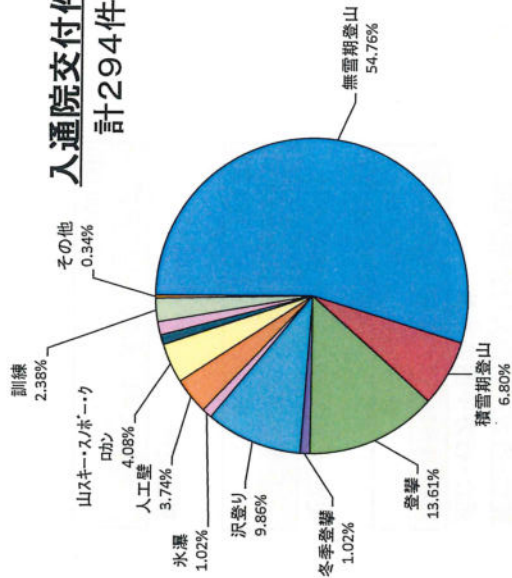
救助・搜索交付金額

16件16名 3,772,153円



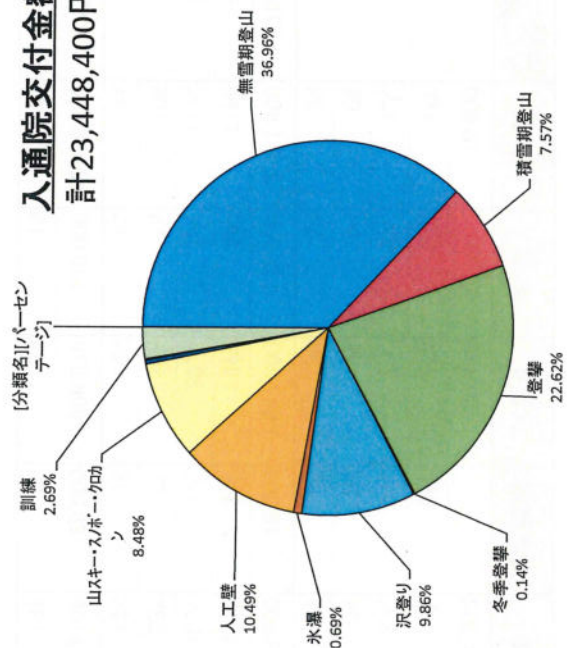
入院院交付件数

計294件



入院院交付金額

計23,448,400円



※交付特典含

1. 全国過去10年間の事故の推移(2015～2024)

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
事故者数	288	299	312	313	329	236	269	334	366	365
死亡行方不明	12	8	6	10	4	5	4	7	7	7

表-1



図-1

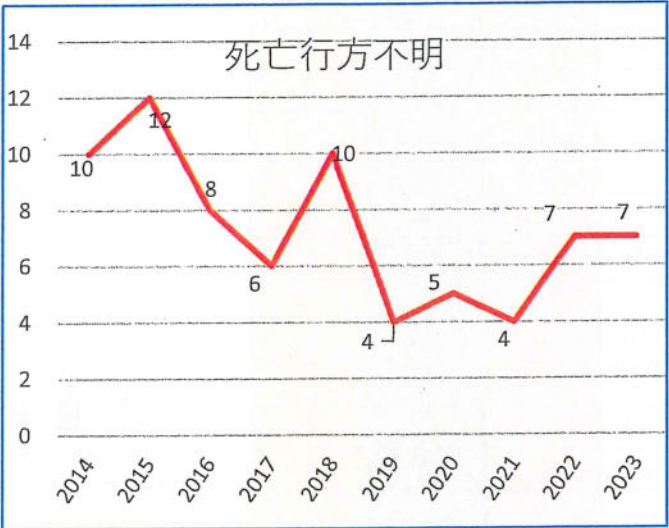
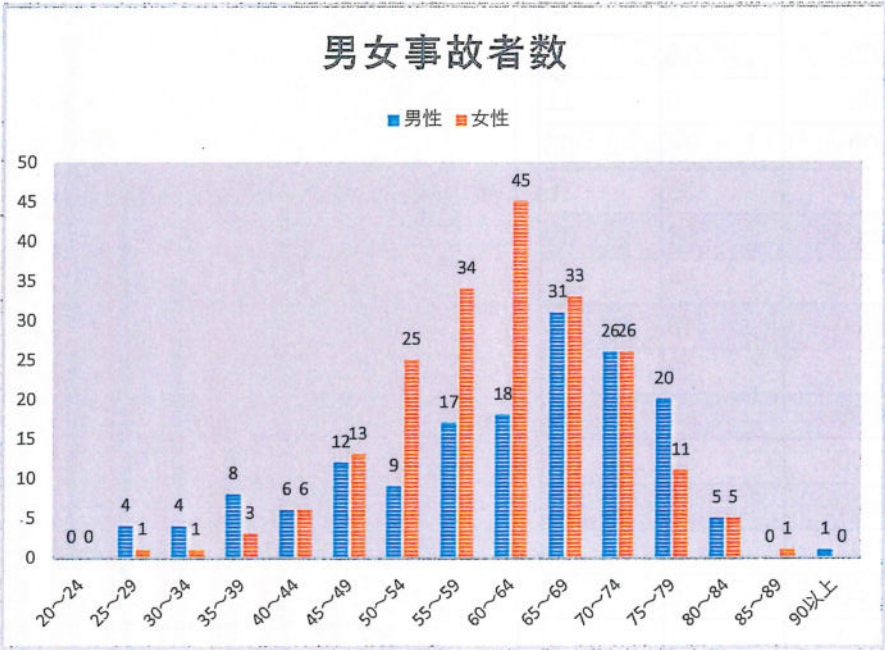


図-2

2004年から2023年の20年間で事故者数は前年最多数366名に次ぐ過去2番目の事故者数。

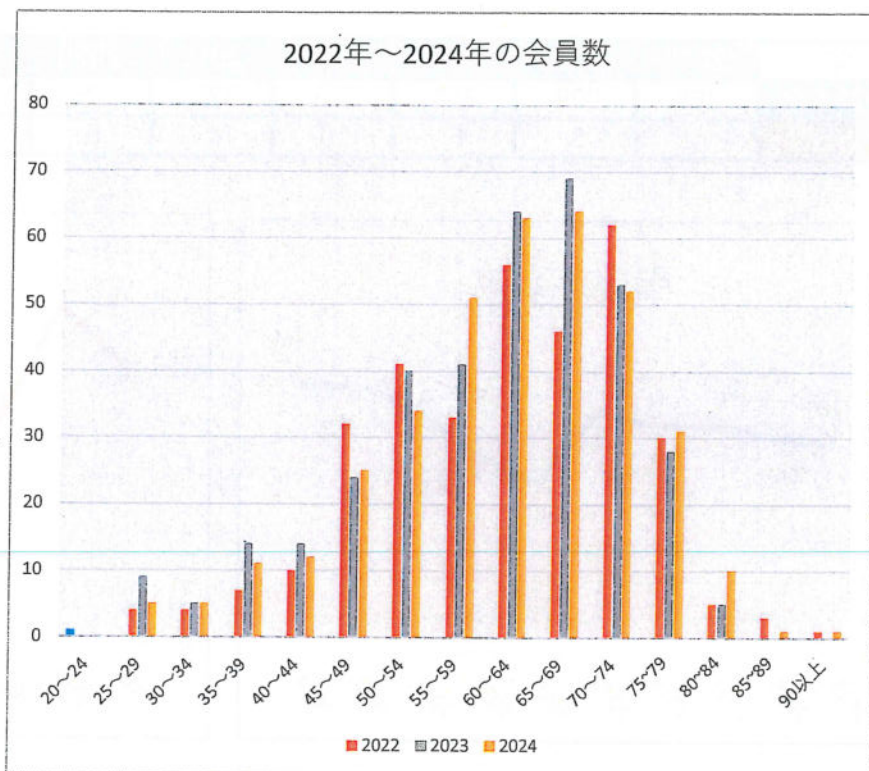
2. 年代別・男女別事故者の状況

年代	男	女	小計
20～24	0	0	0
25～29	4	1	5
30～34	4	1	5
35～39	8	3	11
40～44	6	6	12
45～49	12	13	25
50～54	9	25	34
55～59	17	34	51
60～64	18	45	63
65～69	31	33	64
70～74	26	26	52
75～79	20	11	31
80～84	5	5	10
85～89	0	1	1
90以上	1	0	1
合計	161	204	365



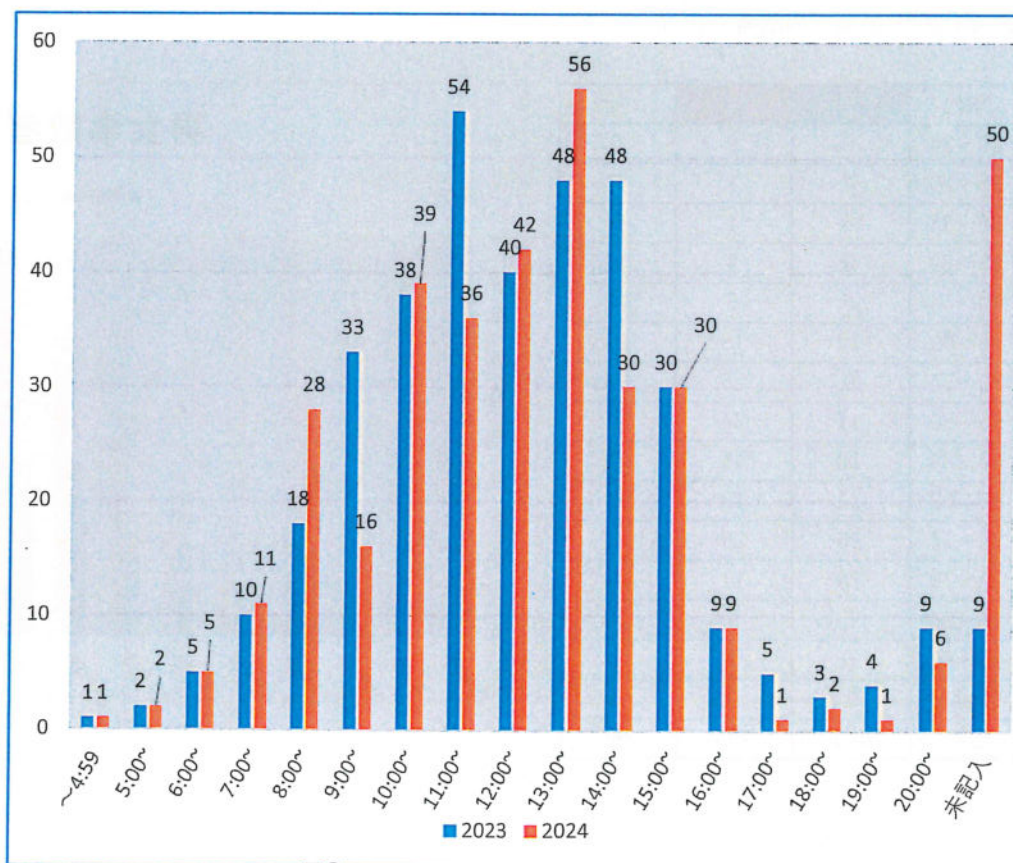
3.2022年～2024年までの年代別

年代	2022	2023	2024
20～24	0	0	0
25～29	4	9	5
30～34	4	5	5
35～39	7	14	11
40～44	10	14	12
45～49	32	24	25
50～54	41	40	34
55～59	33	41	51
60～64	56	64	63
65～69	46	69	64
70～74	62	53	52
75～79	30	28	31
80～84	5	5	10
85～89	3	0	1
90以上	1	0	1
合計	334	366	365



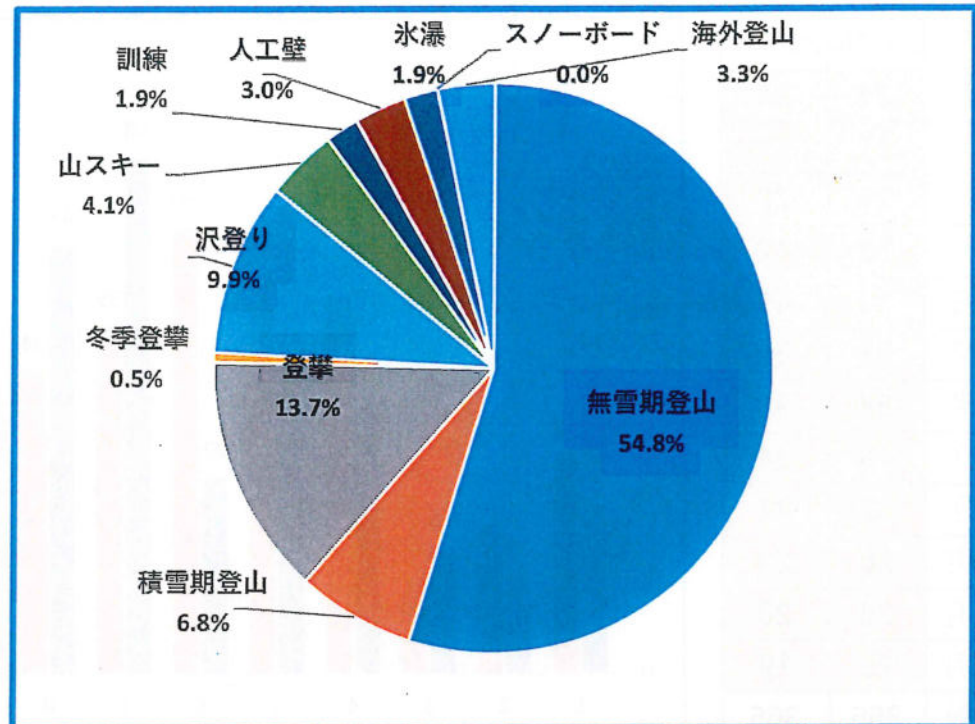
4.時間帯別事故者の状況

時間帯	2023	2024
～4:59	1	1
5:00～	2	2
6:00～	5	5
7:00～	10	11
8:00～	18	28
9:00～	33	16
10:00～	38	39
11:00～	54	36
12:00～	40	42
13:00～	48	56
14:00～	48	30
15:00～	30	30
16:00～	9	9
17:00～	5	1
18:00～	3	2
19:00～	4	1
20:00～	9	6
未記入	9	50
合計	366	365



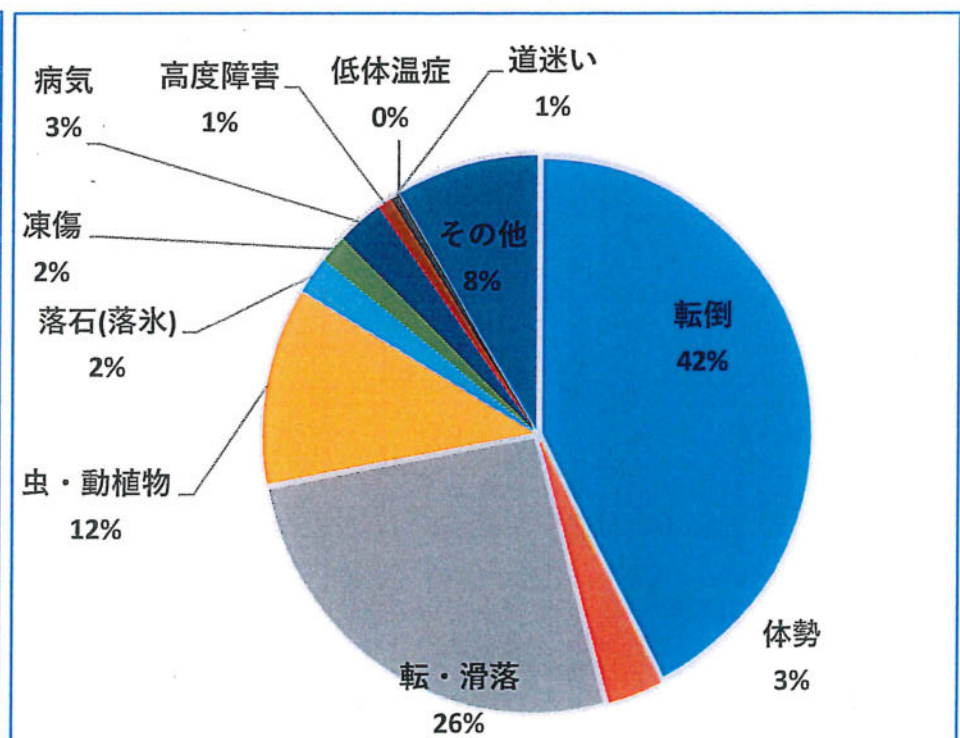
5.形態別事故者の状況

山行状態	事故者数
無雪期登山	200
積雪期登山	25
登攀	50
冬季登攀	2
沢登り	36
山スキー	15
訓練	7
人工壁	11
氷瀑	7
スノーボード	0
海外登山	12
未記入	0
合計	365



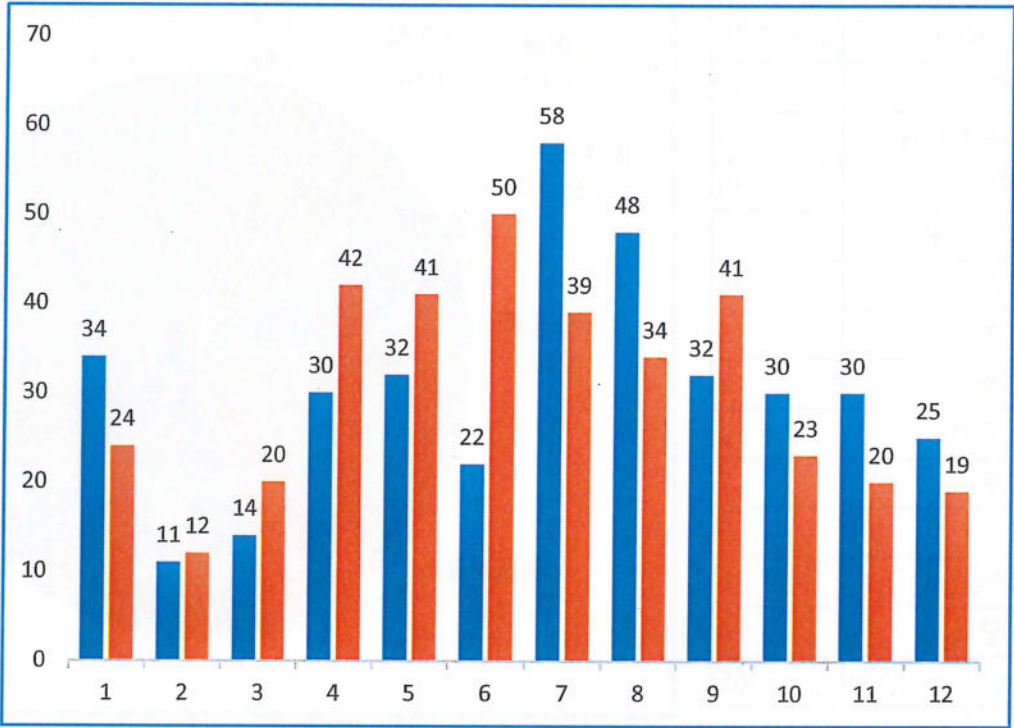
6.原因別事故者の状況

原因名	事故者数	男	女
転倒	155	53	102
体勢	12	5	7
転・滑落	96	21	75
虫・動植物	42	16	26
落石(落水)	8	5	3
凍傷	6	5	1
病気	10	6	4
高度障害	3	3	0
道迷い	2	2	0
低体温症	0	0	0
その他	31	13	18
合計	365	129	236



7. 月間別事故の状況

月	2023年	2024年
1月	34	24
2月	11	12
3月	14	20
4月	30	42
5月	32	41
6月	22	50
7月	58	39
8月	48	34
9月	32	41
10月	30	23
11月	30	20
12月	25	19
合計	366	365



連盟別事故者数

連盟名	事故者数	連盟名	事故者数	連盟名	事故者数
東京都	73 ①	宮城県	8	茨城県	3
2295	3.18%	114	7.02%	120	2.50%
兵庫県	34	新潟県	8	島根県	3
1954	1.74%	214	3.74%	142	2.11%
道央地区	23	長野県	8	道東地区	3
734	3.13%	252	3.17%	89	3.37%
神奈川県	22 ①	和歌山県	7	福井県	2
508	4.33%	322	2.17%	62	
埼玉県	21 ①	静岡県	7	徳島県	1
564	3.72%	293	2.39%	223	0.45%
大阪府	18 ①	石川県	6	岐阜県	1
933	1.93%	254	2.36%	266	0.38%
京都府	15	広島県	6	青森県	1
933	1.61%	205	2.93%	152	0.66%
愛知県	13	滋賀県	5	香川県	1
809	1.61%	174	2.87%	274	0.36%
岡山県	8	福岡県	5 ①	大分県	1
844	0.95%	646	0.77%	50	2.00%
岩手県	11	長崎県	5	佐賀県	1
225	4.89%	234	2.14%	65	1.54%
栃木県	11 ①	鹿児島県	4	道北	1
360	3.06%	76	5.26%	31	3.23%
群馬県	11 ①	奈良県	4	三重県	1
348	3.16%	216	1.85%	4	25.00%
千葉県	10	福島県	3	徳島県	1
632	1.58%	88	3.41%	223	0.45%
				合計	365
				16232	2.25%

※ 赤丸数字は死亡者数、パーセンテージは組織数に対する事故率。

日本勤労者山岳連盟趣意書

わが国の近代登山は、すでに 80 年近い歴史を持っている。その創立期に活躍したのは、社会的・経済的に恵まれた青年たちであったが、1930 年代(昭和初期)には国民的なスポーツ・レクリエーションとして発展する道をたどり始めていた。だが、登山の正常な発展は、軍国主義の支配と侵略戦争の拡大によって著しく阻害された。

戦後、わが国の登山はかつてない発展の時期をむかえた。社会の民主的変革をめざす諸運動の高揚とその成果が、文化・スポーツの分野でも新しい発展をうながしたからである。だが、国や自治体、既存の山岳団体はその新しい状況に有効に対応することができなかった。登山の新しい発展を担うべき新しい理念と組織が求められたのである。

1960 年(昭和 35 年)、登山を愛好する進歩的な人々によって「勤労者山岳会」が結成され、勤労者による新しい登山運動が提唱された。その運動は短期間に全国に広がり、1963 年、「日本勤労者山岳連盟」が結成されるに至った。

「日本勤労者山岳連盟」は、わが国の登山の優れた伝統を継承するとともに創造的な活動を展開し、登山の発展に力を尽くしてきた。そして今日、日本の登山界のなかで揺るがぬ地歩をきずいている。

1. 権利としての登山

今日、登山の真の担い手は勤労者である。したがって勤労者が束縛されているさまざまな社会的制約から解放されないかぎり、登山の真の発展はあり得ない。

登山を楽しむためには、賃金、労働時間など労働条件の改善が不可欠の条件である。また国や自治体による登山者教育、山小屋建設、登山道整備、交通体系の確立など、さまざまな政策の確立が必要である。それらはヨーロッパ諸国にくらべ、わが国ではひどく立ち遅れている。そればかりでなく、国や自治体あるいは企業のなかに勤労者の自主的な文化・スポーツ活動にたいする偏見や敵意がいまなお温存されている。勤労者が求めているのは、「官製」「社製」などの恩恵的にあたえられる文化・スポーツではない。自らの要求に基づく自ら自身のための文化・スポーツである。

すべての国民は“人間らしく成長し、人間らしく生きる権利”を持っている。登山をはじめ文化・スポーツは、その権利の重要な構成部分である。国や自治体はその権利を保障する義務がある。それを実現するため登山者は、広く国民との共同行動を発展させるための力をつくさなければならない。

2. 登山の多様な発展

わが国の自然は美しく豊かである。山と高原、溪谷、森林、雪溪、岩壁、そして四季それぞれの変化―それは多様な登山を発展させる自然条件である。そればかりでなく、古い時代に成立した山岳宗教をはじめ、さまざまな文化的影響を受けてわが国独特の登山が形成されてきた。今日、登山は国民に最も親しまれるスポーツ・レクリエーションとして多様な形で発展している。

最近における経済の「高度成長」とそのもとでの都市人口の急激な増加は、人間と自然の結びつきを弱め、精神と肉体を損傷した。豊かな自然のなかで生活したいという願いは、健康を守ろうとする意識の強まりとあいまっていつそう切実なものとなり、登山にたいする国民の関心と欲求はかつてなく高まっている。

国民の求める登山はけっして同一のものではない。それぞれの意識や年齢、生活条件によって、多様な形態と内容の登山が求められている。その実現に力を尽くすことによってのみ登山の創造的発展もまた可能である。

3. 海外登山の普及

海外登山・トレッキングもまた活発に行われ、ヨーロッパはもとよりヒマラヤ、アラスカ、アンデスなど広範な地域に及んでいる。国内では経験することのできない自然条件下での登山、あるいは風土、言語、習慣などの異なった国々での生活経験は、登山者の人間的成長に大きな影響をもたらす。また登山を通じての親睦・交流の広がり、国際連帯の精神を育てるだろう。海外登山の活発化は歓迎すべきことであり、さらに発展させなければならない。

海外登山の経験と成果は全国的にも地域的にもかなり蓄積されている。だが、その普及は立ち遅れている。海外登山の普及を歓迎しない風潮や登山界の伝統的な閉鎖性がなお残されているからである。それを克服し広範な登山者と海外登山との結びつきを深めなければならない。国内での多様な登山の発展と海外登山を結合させることによって、登山はいつそう内容豊かなものとなるだろう。

確固とした世界平和は、海外登山発展の基礎である。諸国民との相互理解、友好をさらに深めることが強く求められている。

4. 遭難事故の防止

生命の尊厳はなにものにもかえることはできない。それにもかかわらず多くの生命が山で失われている。われわれもまた少くない仲間を失った。

厳しい自然のなかで行われる登山においてその安全性が確保されるためには、登山者の教育・訓練が不可欠の前提となる。山岳団体の多くはそのことを自覚しており、真剣に取り組んでいる。だが、その努力は必ずしも十分な成果をあげ得ていない。

また、注目しなければならないのは、広範な登山者が山岳会に組織されていないことである。その登山者の教育・訓練は、有力な山岳団体の善意の努力だけでは解決できない。国や自治体の積極的な取り組みが必要である。

だが国や自治体はその責任を回避して、登山規制を強化するなど消極的な対策に終始してきた。もとより登山における安全性は登山者の日常的な努力によって確保される。そのためにも、国や自治体によってすべての登山者に教育・訓練を受ける機会があたえられなければならない。また遭難救助のための人員、資材、資金などを保障する制度の確立は、国や自治体の責任である。

それぞれの山岳団体における教育・訓練の改善、救助体制の確立は、さしせまった課題である。現実には少なくない遭難事故が起こっている以上、放置することができないからである。それぞれの山岳団体が独自に努力するばかりでなく、有力な山岳団体の相互協力が必要となっている。

遭難事故を考えていくうえでけっして忘れてならないことは、現代社会の退廃的風潮の影響である。それは生命を軽視する傾向をつくりだしている。その傾向とたたかうことが重要な課題となっている。

5. 自然を守る

わが国の自然は、過去十数年の間にかつてなく大規模に破壊された。それは国民の生存そのものが憂慮されるほど深刻な事態をつくりだしている。

山岳自然の破壊もはなはだしく進んだ。国や自治体はそれを規制するどころか先導的役割さえ果たした。登山者をはじめ広範な人々がそれに反対し、少なくない成果をあげた。だが、山岳自然の大がかりな破壊をおしとどめることはできなかった。

「過疎対策」「観光開発」「水資源開発」などの美名をかかげて進められてきたこれまでの開発は、山村生活を深刻な危機におとしめている。それらの開発が、山村の犠牲のうえに大資本の利潤増大を追求するものにほかならなかったからである。自然を守り育ててきたのは、そこに生活する勤労者である。生活に根ざす切実な要求と結びつかない開発は、よりよい結果を生まない。自然を守る運動もその立場を貫かねばならない。

「観光開発」で重視しなければならないのは、「すべての人に山を楽しむ権利がある」という主張で、ロープウェイや観光道路の建設が正当化されていることである。バスやロープウェイによる“観光登山”では風景を眺めることはできても健康を増進することはできないし、自然への愛着を育てることはできない。また、それは山岳自然の荒廃をもたらす誘因ともなっている。山岳自然の荒廃は登山の楽しみを奪うばかりでなく、登山そのものの荒廃と人間の荒廃を導く。

豊かな自然は将来にわたる国民の共有財産である。これを守り育てていくことは登山者の重要な責務である。

われわれはこうした認識と立場に立って、登山の創造的発展のために運動を進めている。そしていま登山の新しい発展のため、心をひとつにして尽力しようと、広く登山を愛好する人々に呼びかけるものである。

日本勤労者山岳連盟
(1978年2月)



〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 日本勤労者山岳連盟
 電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324
 E-mail jwaf@jwaf.jp ホームページ www.jwaf.jp



JWAF